

平成23年度（2011）

**教育委員会の事務の
管理執行状況の点検・評価
報告書**

出雲市教育委員会

平成23年度（2011）

教育委員会の事務の管理執行状況の点検・評価 報告書

出雲市教育委員会

- 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」第27条の規定に基づき実施するものです。

《参考》地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

- この報告書は、教育委員会が所管する事務について総括するとともに、平成23年度(2011)出雲市教育委員会の重点施策の取組と達成状況について、点検・評価したものです。
- 重点施策に関連する事務事業の点検・評価は、「Ⅲ. 平成23年度(2011)出雲市教育委員会重点施策に関連する事務事業一覧」に掲げる事務事業について、それぞれ点検・評価シートを作成して行っています。

目 次

ページ

| | |
|-------------------------------------|----|
| I. 教育委員会の事務の管理執行状況 | |
| 1. 教育委員会の事務の補助執行 | 1 |
| 2. 教育政策審議会の開催状況 | 1 |
| 3. 教育委員会（教育委員）の活動状況 | |
| (1) 教育委員の会議の開催状況 | 2 |
| (2) 教育委員の研修等参加状況 | 2 |
| 4. 教育行政組織・職員体制の状況 | |
| (1) 教育行政組織図 | 4 |
| (2) 教育委員会部局の職員体制 | 5 |
| 5. 小中学校の管理事務 | |
| (1) 児童生徒数等の状況 | 6 |
| (2) 管理経費（人件費を除く。）の状況 | 6 |
| (3) 就学援助の状況 | 7 |
| (4) 遠距離通学対策事業 | 7 |
| (5) 各種大会参加費補助 | 7 |
| (6) 学校保健（児童生徒等の健康管理） | 8 |
| (7) 事故の状況 | 8 |
| 6. 幼稚園の管理事務 | |
| (1) 園児数等の状況 | 9 |
| (2) 管理経費（教育政策課所管分、人件費を除く。）の状況 | 9 |
| (3) 幼稚園における子育て支援 | 9 |
| (4) 幼保一元化への取組 | 10 |
| (5) 学校保健（園児の健康管理） | 10 |
| (6) 事故の状況 | 10 |
| 7. 特色ある幼稚園教育の推進 | |
| (1) 特別な支援を要する幼児への支援 | 10 |
| (2) 保幼小一貫教育の推進 | 11 |
| (3) 特色と魅力ある幼稚園づくり | 11 |
| 8. 学校教育推進体制の強化 | |
| (1) 「地域学校運営理事会」の充実 | 12 |
| (2) 小中一貫教育の推進 | 13 |
| (3) 学校事務の共同実施 | 14 |
| (4) 学校への支援体制の強化 | 14 |
| 9. 学校教育の充実・強化 | |
| (1) 「生命を考える教育」の集中取組 | 14 |
| (2) 学力向上の推進 | |
| ① 学力調査実施事業 | 15 |

| | | |
|-----|------------------------|----|
| ② | TTによる学習力パワーアップ事業 | 15 |
| ③ | ウィークエンドスクール事業 | 16 |
| ④ | 外国語指導助手招致事業 | 16 |
| (3) | 「豊かな心を育む教育」の推進 | |
| ① | 体験学習の充実 | 16 |
| ② | 読書活動の充実 | 16 |
| ③ | 郷土学習事業 | 17 |
| (4) | 児童生徒支援体制の充実・強化 | 17 |
| ① | フレンドシップ事業 | 18 |
| ② | 不登校児童生徒への支援体制の充実・強化 | 18 |
| ③ | 関係機関との連携強化 | 20 |
| (5) | 特別支援教育推進体制の充実・強化 | |
| ① | 支援体制と相談活動の充実 | 20 |
| ② | 指導体制の充実 | 20 |
| (6) | 人権・同和教育の推進 | |
| ① | 学校人権・同和教育の推進 | 21 |
| ② | 帰国・外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実 | 22 |
| 10. | 青少年育成の推進 | |
| (1) | 出雲市放課後子どもプラン | 24 |
| (2) | 青少年ネットワーク事業 | 26 |
| (3) | 子ども・若者総合支援事業 | 26 |
| (4) | 子ども安全センターの取組 | 27 |
| (5) | 成人式・交歓の集いの開催 | 28 |
| (6) | 青少年活動施設の活用 | 28 |
| (7) | 出雲市青少年育成市民会議 | 29 |
| (8) | 奨学事業 | 29 |
| 11. | 学校教育施設の整備、管理の状況 | |
| (1) | 学校施設整備計画策定事業 | 31 |
| (2) | 耐震化対策推進事業 | 32 |
| (3) | 小中学校、幼稚園改築事業 | 37 |
| (4) | 校舎・園舎リフレッシュ事業 | 38 |
| 12. | 理科教育の充実 | |
| (1) | 科学館運営状況 | 40 |
| (2) | 科学館理科学習事業 | 42 |
| (3) | 生涯学習事業 | 43 |
| (4) | 教員研修事業 | 45 |
| 13. | 学校給食の充実 | |
| (1) | 学校給食運営状況 | 47 |
| (2) | 学校給食による食育の推進 | 50 |
| (3) | 食物アレルギー対応給食の推進 | 52 |

| | |
|--|-------|
| (4) 今後の課題—学校給食センター再編の推進 | 5 2 |
| 14. 公民館の管理運営事務 | |
| (1) 公民館運営状況 | 5 4 |
| (2) 公民館の活動内容 | 5 4 |
| (3) コミュニティセンターへの移行 | 5 5 |
| II. 幼稚園・小中学校における学校評価 | |
| 1. 幼稚園における学校評価 | 5 6 |
| 2. 小中学校における学校評価 | 6 4 |
| III. 平成23年度(2011)出雲市教育委員会重点施策に関連する事務事業一覧 | 7 6 |
| IV. 重点施策に関連する事務事業（点検・評価シート） | |
| 1. 学校教育推進体制の強化 | |
| (1) 「地域学校運営理事会」の充実 | 7 9 |
| (2) 小中一貫教育の推進 | 8 1 |
| (3) 学校事務の共同実施 | 8 2 |
| (4) 学校への支援体制の強化 | 8 3 |
| 2. 学校教育の充実・強化 | |
| (1) 学力向上の推進 | 8 4 |
| (2) 「豊かな心を育む教育」の推進 | 8 8 |
| (3) 児童生徒支援体制の充実・強化 | 9 0 |
| (4) 特別支援教育推進体制の充実・強化 | 9 5 |
| (5) 人権・同和教育の推進 | 9 7 |
| 3. 幼児教育の充実 | |
| (1) 幼稚園ヘルパー事業 | 9 9 |
| (2) 幼児通級指導教室運営事業 | 1 0 0 |
| (3) 幼稚園自主企画特別事業 | 1 0 1 |
| 4. 青少年育成の推進 | |
| (1) 出雲市放課後子どもプラン | 1 0 2 |
| (2) 青少年ネットワーク事業 | 1 0 4 |
| (3) 子ども安全対策事業 | 1 0 5 |
| (4) 子ども・若者の総合支援 | 1 0 6 |
| 5. 教育施設の整備 | |
| (1) 学校施設整備計画策定事業 | 1 0 7 |
| (2) 耐震化対策推進事業 | 1 0 8 |
| (3) 小中学校、幼稚園改築事業 | 1 0 9 |
| (4) 校舎・園舎リフレッシュ事業 | 1 1 0 |
| 6. 理科教育の充実 | |

| | |
|-------------------------|-------|
| (1) 科学館理科学習事業 | 1 1 1 |
| (2) 生涯学習事業 | 1 1 2 |
| (3) 教員研修事業 | 1 1 3 |
| 7. 学校給食の充実 | |
| (1) 食に関する指導の充実 | 1 1 4 |
| (2) 地産地消対策 | 1 1 5 |
| (3) アレルギー対応給食推進事業 | 1 1 6 |
| (4) 給食センター再編整備事業 | 1 1 7 |
| 8. 社会教育の充実 | |
| (1) 公民館事業 | 1 1 8 |

V. 参考資料

| | |
|---------------------------------|-------|
| ○ 小中学校の児童生徒数及び学級数一覧表 | 1 1 9 |
| ○ 幼稚園の園児数及び学級数一覧表 | 1 2 1 |
| ○ 小学校施設等一覧表 | 1 2 2 |
| ○ 中学校施設等一覧表 | 1 2 3 |
| ○ 幼稚園施設等一覧表 | 1 2 4 |
| ○ 児童クラブ実施状況一覧表 | 1 2 5 |
| ○ 放課後子ども教室実施状況／子ども会数と支援状況 | 1 2 6 |
| ○ 出雲科学館の施設概要 | 1 2 8 |
| ○ 学校給食センター概要一覧 | 1 2 9 |
| ○ 公民館概要一覧 | 1 3 0 |

I. 教育委員会の事務の管理執行状況

1. 教育委員会の事務の補助執行

本市では、教育委員会の事務のうち、社会教育、芸術文化、文化財及びスポーツの部門については、市長部局の職員が補助執行しています。

これにより、教育委員会が学校教育に専念できる体制が整い、従来以上に学校現場とのコミュニケーションも密になり、多くの成果を挙げています。

一方、社会教育、芸術文化、文化財及びスポーツ行政については、市民の多様なニーズを受け止め、総合的な市行政の中で弾力的、効率的に執行できる体制となり、市民の期待に応えた行政サービスを提供しています。

こうした中、教育委員会と市長部局双方の基本方針や重要施策決定にあたっての協議の場である「**教育行政連絡協議会**」を設置し、市長、副市長、教育委員、及び関係部課長が協議を行い、双方の意思疎通を図るとともに調整に努めています。

平成23年度の協議会の開催状況は次のとおりです。

○平成23年10月14日

1. 報告事項

(1) 合併により生じた諸課題について

- ① 斐川地域の地区公民館のコミュニティセンター化に向けた主な調整事項について
- ② 斐川地域における生涯学習について
- ③ 斐川地域における文化・スポーツ事業について

2. 意見交換

- (1) 幼保一体化について
- (2) 特別支援教育について
- (3) 出雲科学館の運営について
- (4) これまでの補助執行に対する評価と市教育行政の方向性について

2. 教育政策審議会の開催状況

本市では、学識経験者や地域学校運営理事会の理事など、多様な市民代表による常設の審議・提言機関である『**出雲市教育政策審議会**』を設置し、教育に関わ

る幅広い課題等に対し、全市的に取り組むべき方策などについての答申・提言をいただき、市の教育施策に適確に反映していくこととしています。

平成23年度は、平成21年度から引き続き設置されている第2期教育政策審議会（堀江正俊会長；委員15名、任期2年）において、次のとおり審議が行われました。

○平成23年10月19日

1. 協議事項

- (1) 学校再編計画(素案)についての意見交換

3. 教育委員会（教育委員）の活動状況

(1) 教育委員の会議の開催状況

教育委員の会議は、原則として、毎月第4火曜日の午後2時から定例会を開催しています。

また、必要に応じて、臨時会を随時開催しています。

○教育委員の会議の開催状況

| | | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成20年度 |
|-------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 開催回数 | 定例会 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | 臨時会 | 3 | 2 | 3 | 2 |
| | 計 | 15 | 14 | 15 | 14 |
| 議事案件数 | 議 事 | 85 | 35 | 49 | 42 |
| | 報 告 | 34 | 8 | 8 | 4 |
| | 計 | 119 | 43 | 57 | 46 |

○定例会教育委員の会議の傍聴者数

平成23年度の定例会の傍聴者数は、以下の表のとおりです。

開催の周知については、出雲市ホームページに、開催日・場所を掲載して案内しています。

| | | | | | |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 2人 | 2人 | 9人 | 3人 | 5人 | 3人 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 3人 | 4人 | 4人 | 2人 | 1人 | 5人 |

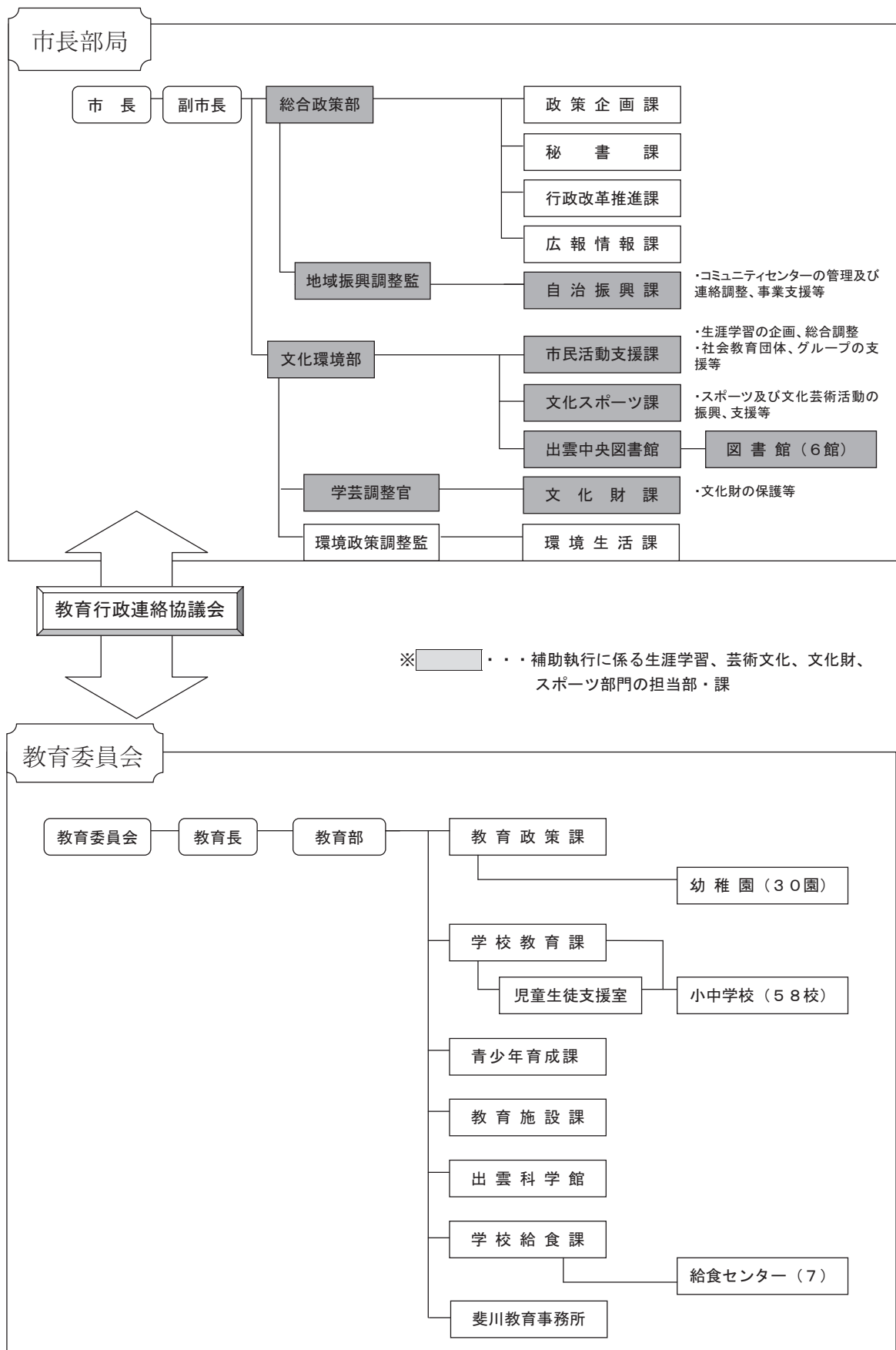
(2) 教育委員の研修等参加状況

教育委員一人一人の資質向上を図るため、研修会や各種会議等へ積極的に参加しています。また、先進地視察も実施したほか、市内の学校訪問を実施しました。

| 区 分 | 会 議 等 名 | 日 程 | 場 所 |
|-----------------|---------------------------|----------------|------------|
| 視察等 | 先進地視察 | 1月25日 1月26日 | 福井市教育委員会 |
| | 学校訪問 49回 | 通年 | 幼稚園・小中学校 |
| 研修会 への参 加 | 島根県市町村教育委員会連合会研修会 | 7月6日 | ホテル宍道湖 |
| | 第8回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会 | 7月28日 7月29日 | 倉吉市 |
| | 島根県東部地区教育委員研修会 | 8月12日 | 島根県庁 |
| | 教育施設訪問（研修） | 10月31日 | 出雲学校給食センター |
| 会議等 への参 加 | 地域学校運営理事会理事長会 | 5月20日 | 出雲市役所 |
| | 出雲市幼稚園教育研究会総会 | 6月22日 | 出雲科学館 |
| | 島根県市町村教育委員会連合会総会 | 7月6日 | ホテル宍道湖 |
| | 島根県東部地区教育懇話会 | 8月12日 | 島根県庁 |
| | 校長会・園長会との意見交換会 | 8月25日 | 出雲市役所 |
| | 教育行政連絡協議会 | 10月28日 | 出雲市役所 |
| | 出雲市幼稚園教育振興大会 | 11月20日 | サンレイク |
| | まちづくり懇談会ティーンズ | 12月15日 | 大社中学校 |
| | 教育委員と地域学校運営理事会理事との語る会（6回） | 12月～2月 | 斐川地域小・中学校 |
| | 小中一貫教育推進会議 | 2月10日 | ビッグハート |

4. 教育行政組織・職員体制の状況（平成23年10月1日現在）

(1) 教育行政組織図



(2) 教育委員会部局の職員体制

[平成23年10月1日現在]

(単位:人)

| 課 等 | 係 等 | 教 育 長 | 職 員 (教 育 職 以 外) | 職 員 (教 育 職) | 非 常 勤 職 員 | 臨 時 職 員 等 | 合 計 |
|----------------------|---------------------------------------|-------------|-----------------------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 教 育 長 | | 1 | | | | | 1 |
| 部 長 | | | 1 | | | | 1 |
| 次 長 | | | 2 | | | | 2 |
| 教 育 政 策 課 | 総務企画係、学校管理係、幼児教育係、 学校支援係 | | 14 | | 8 | 2 | 24 |
| | 幼稚園(30) | | | 98 | 23 | 128 | 249 |
| | 小学校(42)、中学校(16) | | | | 54 | 15 | 69 |
| 学 校 教 育 課 (教育研究所) | 総務人事係、教育研修係 | | 10 | | 14 | | 24 |
| | 小学校(42)、中学校(16) | | 6 | | | 71 | 77 |
| 児 童 生 徒 支 援 室 | 生徒指導係、特別支援教育係、 学校同和教育係 | | 5 | | 9 | | 14 |
| | 光人塾、すずらん教室、コスモス教室 | | | | 8 | 21 | 29 |
| 青 少 年 育 成 課 | 育成係、支援係 | | 6 | | | | 6 |
| | 出雲勤労青少年ホーム、子ども・若者支援 センター、子ども安全センター | | | | 7 | 4 | 11 |
| 教 育 施 設 課 | 管理係、建設係、営繕係 | | 8 | | | 2 | 10 |
| 学 校 給 食 課 | 管理係 | | 6 | | | | 6 |
| | 学校給食センター(7) | | 20 | | 25 | 57 | 102 |
| 出 雲 科 学 館 | 企画管理係、理科・科学班 | | 6 | | 18 | | 24 |
| 斐川教育事務所 | 教育係 | | 3 | | 1 | 5 | 9 |
| 合 計 | | 1 | 87 | 98 | 167 | 305 | 658 |

5. 小中学校の管理事務

(1) 児童生徒数等の状況

(学校基本調査)

| | | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 | 平成 21 年度 |
|----------------|-----|----------|----------|----------|
| 児童生徒数 (人) | 小学校 | 10,145 | 8,375 | 8,432 |
| | 中学校 | 5,043 | 4,276 | 4,386 |
| | 合 計 | 15,188 | 12,651 | 12,818 |
| 学 級 数 | 小学校 | 459 | 397 | 408 |
| | 中学校 | 179 | 150 | 161 |
| | 合 計 | 638 | 547 | 569 |
| 学 校 数 | 小学校 | 42 | 38 | 38 |
| | 中学校 | 16 | 14 | 14 |
| | 合 計 | 58 | 52 | 52 |
| 教 職 員 数 (人) | 小学校 | 793 | 660 | 720 |
| | 中学校 | 426 | 344 | 384 |
| | 合 計 | 1,219 | 1,004 | 1,104 |

※1 教職員数は、教員（校長、教頭、養護教諭、講師）と職員（事務、校務員）の合計です。

※2 平成 23 年度には、平成 23 年 10 月に合併した斐川地域を含みます。

(2) 管理経費（人件費を除く。）の状況

(単位：千円)

| 費 目 | 区 分 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 | 平成 21 年度 |
|----------------|-----|----------|----------|----------|
| 需 用 費 | 小学校 | 179,891 | 164,500 | 177,312 |
| | 中学校 | 101,585 | 89,333 | 95,363 |
| | 計 | 281,476 | 253,833 | 272,675 |
| 役 務 費 | 小学校 | 21,895 | 20,855 | 21,389 |
| | 中学校 | 11,269 | 10,760 | 11,234 |
| | 計 | 33,164 | 31,615 | 32,623 |
| 委 託 料 | 小学校 | 10,514 | 9,593 | 9,268 |
| | 中学校 | 4,526 | 4,114 | 4,328 |
| | 計 | 15,040 | 13,707 | 13,596 |
| 使用料・ 賃 借 料 | 小学校 | 18,127 | 21,055 | 21,083 |
| | 中学校 | 7,238 | 9,769 | 8,276 |
| | 計 | 25,365 | 30,824 | 29,359 |
| 備品購入費 | 小学校 | 79,060 | 70,740 | 76,715 |
| | 中学校 | 55,351 | 40,550 | 43,587 |
| | 計 | 134,411 | 111,290 | 120,302 |
| 負担金補助 ・ 交付金 | 小学校 | 465 | 208 | 502 |
| | 中学校 | 803 | 695 | 684 |
| | 計 | 1,268 | 903 | 1,186 |
| 合 計 | 小学校 | 309,952 | 286,951 | 306,269 |
| | 中学校 | 180,772 | 155,221 | 163,472 |
| | 小中計 | 490,724 | 442,172 | 469,741 |

※1 備品購入費は、教材備品、学校図書、一般備品の購入に要する費用です。

※2 平成 23 年度には、平成 23 年 10 月に合併した斐川地域を含みます。

(3) 就学援助の状況

就学援助は、経済的に就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などを支給する制度です。

近年は、社会経済状況の悪化等により、就学援助の認定者数が、年々増加傾向にあります。

○就学援助認定者数及び決算額の推移

| | | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 | 平成 21 年度 |
|-----|-----|------------|------------|------------|
| 認定者 | 小学校 | 1,099 人 | 952 人 | 905 人 |
| | 中学校 | 605 人 | 558 人 | 530 人 |
| | 合計 | 1,704 人 | 1,510 人 | 1,435 人 |
| 決算額 | 小学校 | 67,025 千円 | 60,529 千円 | 55,815 千円 |
| | 中学校 | 54,768 千円 | 51,972 千円 | 49,086 千円 |
| | 合計 | 121,793 千円 | 112,501 千円 | 104,901 千円 |

※1 認定者数は年度末の数字です。

※2 平成 23 年度には、平成 23 年 10 月に合併した斐川地域を含みます。

(4) 遠距離通学対策事業

児童生徒の遠距離通学（小学校 4 km 以上、中学校 6 km 以上）対策として、スクールバスの委託運行や路線バス等の定期券購入費補助などを実施しています。

スクールバスについては、平成 23 年度は、小学生 104 人、中学生 250 人が利用し、年間経費として約 8,895 万円を支出しました。

また、定期券購入費補助については、小学生 110 人、中学生 88 人に対し、年間約 729 万円の補助を行いました。

これとは別に、小学校 3 km 以上 4 km 未満の児童及び中学校 4 km 以上 6 km 未満の生徒に対しても、通学定期券購入額から 1 か月につき 1,000 円（片道定期的場合は 500 円）を控除した額について、小学生 84 人、中学生 11 人に対し、年間約 121 万円の補助を行いました。

さらに、徒歩通学（4 km 以上）の小学生 31 人、自転車通学（6 km 以上）の中学生 42 人に対し、年間約 30 万円の補助を行いました。

(5) 各種大会参加費補助

スポーツ・文化活動の振興と個性的で活力ある青少年の育成を図るため、部活

動を通して各種大会に出場する児童・生徒について、その派遣団体に対し、交通費、宿泊費など経費の一部を助成しています。

また、保護者負担のさらなる軽減を図るとともに、派遣団体の円滑な運営に資するため、平成19年度から、全国大会への出場が2年連続となるときは、大会参加人数に応じ一定額の加算措置も設けています。

平成23年度は、全国大会25件、中国大会30件、県大会47件の種目に対し、約1,460万円を助成しました。なかでも、第一中学校の吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールにおいて銀賞を、河南中学校の吹奏楽部は日本管楽合奏コンテスト全国大会において優秀賞を、斐川西中学校の合唱部は全日本合唱コンクール全国大会において金賞（文部科学大臣賞及びカワイ奨励賞）を受賞しました。また、平田中学校の卓球部は全国中学選抜卓球大会において、男子団体が3位入賞を果たしました。

(6) 学校保健（児童生徒等の健康管理）

学校保健安全法の規定に基づき、児童生徒や園児、教職員の健康診断等の保健管理やプール水質検査、校内の揮発性有機化合物等の環境衛生検査などを実施しました。

また、各小中学校では、学校医、学校歯科医による学校健診や感染症予防などの学校保健、学校薬剤師によるプール管理・学校照度検査等の環境衛生など、保健・健康管理に取り組んでいます。

さらに、インフルエンザなど感染症流行の兆候をリアルタイムに把握し、感染症への対応や予防に役立たせることを目的に、平成20年9月から国立感染症研究所感染症情報センターで研究開発された「学校欠席者情報収集システム」を市内全小中校で運用し、流行状況の即時把握などに効果をあげています。

【平成23年度決算額】

- ・健康診断経費・環境衛生経費等 36,350千円
- ・学校医等経費 51,336千円

(7) 事故の状況

救急搬送を伴う事故・けがの状況は、次のとおりです。

| | 骨折・けがの発生件数 | | | | 体調不良等の発生件数 | | | | 交通事故の発生件数 | | |
|-----|------------|-------|-------|------|------------|-------|-------|------|-----------|-----|-----|
| | 計 | 授業時間内 | 授業時間外 | 学校以外 | 計 | 授業時間内 | 授業時間外 | 学校以外 | 計 | 歩行中 | 自転車 |
| 小学校 | 14 | 2 | 7 | 5 | 5 | 3 | 2 | 0 | 18 | 10 | 8 |
| 中学校 | 10 | 1 | 5 | 4 | 6 | 3 | 1 | 2 | 16 | 0 | 16 |

6. 幼稚園の管理事務

(1) 園児数等の状況

(学校基本調査)

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成20年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 園児数 (人) | 1,591 | 1,425 | 1,481 | 1,596 |
| 学級数 (学級) | 85 | 76 | 81 | 80 |
| 幼稚園数 (園) | 30 | 26 | 26 | 26 |
| 教職員数 (人) | 211 | 188 | 188 | 187 |

※1 教職員数は、教員（園長、教頭、養護教諭、講師）と職員（事務、校務員）の合計です。

※2 平成23年度には、平成23年10月に合併した斐川地域を含みます。

(2) 管理経費（教育政策課所管分、人件費を除く。）の状況（中央幼稚園を含む。）

単位：千円

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成20年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 報償費 | 604 | 500 | 555 | 555 |
| 旅費 | 1,319 | 1,457 | 1,393 | 1,266 |
| 需用費 | 40,746 | 37,407 | 35,442 | 35,786 |
| 役務費 | 3,551 | 3,335 | 3,381 | 3,438 |
| 委託料 | 4,912 | 4,154 | 4,223 | 4,042 |
| 使用料及び賃借料 | 6,414 | 6,028 | 5,655 | 3,935 |
| 備品購入費 | 5,417 | 5,757 | 5,841 | 5,750 |
| 合計 | 62,963 | 58,638 | 56,490 | 54,772 |

※ 平成23年度には、平成23年10月に合併した斐川地域を含みます。

(3) 幼稚園における子育て支援

幼稚園入園に伴う保護者の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、保護者の所得状況に応じて保育料を軽減する幼稚園就園奨励事業を実施しています。また、平成19年度からは、第3子以降の児童に係る幼稚園保育料（長時間預かり保育負担金を含む。）の無料化を実施しており、平成23年度は、226人の該当者があり、16,332千円を免除しました。

遠距離通園対策としては、多伎幼稚園において通園に路線バス等を利用する園児の保護者に対する定期券の購入助成を実施しており、平成23年度は、17人に対し、約47万円の補助を行いました。また、平田地域においては、通園バスの運行を行い、86人が利用し、年間経費として約1,756万円を支出しました。

一方、保護者の病気や家族の看護その他一時的な延長保育希望に対し、幼稚園の教育時間外に行う一時的な預かり保育を、これまで実施してきた8園に加えて平成23年度から新たに鳶巣幼稚園で開始しました。斐川地域の4園でも合併前

から引き続き実施しており、合計13園（鳶巣、朝山、稗原、平田、東、多伎、湖陵、大社、日御碕、荘原、西野、中部及び出東）で実施しました。

また、近隣に保育所がないなどの地域実情を考慮して実施する保育機能を付加した長時間の預かり保育を、一時的な預かり保育事業と同様に、これまで実施してきた5園に鳶巣幼稚園及び斐川地域の4園を加えた10園（鳶巣、朝山、稗原、東、湖陵、日御碕、荘原、西野、中部及び出東幼稚園）で実施しました。

(4) 幼保一元化への取組

1・2歳児を対象にした中央保育所と3～5歳児を対象にした中央幼稚園を併設する幼保一元化事業を実施し、年齢に応じた一貫した幼児教育の充実に努めるとともに、長時間預かり保育を実施しました。

(5) 学校保健（園児の健康管理）

幼稚園では、園児の健康診断、登園時の健康観察などの保健管理や、飲料水の状況確認などを実施しました。

また、幼稚園教育要領に基づき、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うことをねらいとして、①先生や友達と食べることを楽しむ、②健康な生活のリズムを身に付ける、③身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄を自分でする、④自分の健康に関心をもち、病気の予防を進んで行う、といった活動を通じて園児の健康管理に取り組みました。

(6) 事故の状況

幼稚園での保育中に発生した救急搬送を伴う事故・けがは、1件（転倒し、額に挫創）でした。

7. 特色ある幼稚園教育の推進

(1) 特別な支援を要する幼児への支援

① 特別支援教育の推進

各園で関係機関や保護者との連絡窓口及び教職員間の調整を行う特別支援教育コーディネーターへの研修を積極的に実施するとともに、担任は、対象園児の障がいの状態や発達の状況等に応じて個別の指導計画を作成して適切な指導・支援を行うなど、各園での特別支援教育の充実に努めました。

また、多動傾向など特別な支援を要する園児が在籍する幼稚園においては、担任教諭の保育の補助等を行う特別支援保育補助教諭（11人）や幼稚園ヘルパー（25人）を配置し、それぞれの園児にあったきめ細やかな保育・教育を行いました。

② 幼児通級指導教室における教育相談・指導体制の充実

ことばの遅れや軽度発達障がい等の幼児やその保護者への支援のため拠点開設している今市幼稚園の幼児通級指導教室において、通級幼児の増加と多様な指導・相談内容に対応すべく、担当教諭のほか教育相談員（1人）を配置し、特別支援教育指導員と連携しながらその充実に努めました。

さらに、対象幼児が増加傾向にあるなかで、引き続き神西小、平田小、大社小及び中部小の通級指導教室で幼児を受け入れ、指導・相談を実施しました。

その際、通級指導教室に通う幼児への指導・相談体制の充実を図るため、各教室に幼児担当の通級指導ヘルパー（4人）を配置しました。

(2) 保幼小一貫教育の推進

平成23年7月8日、市内すべての保幼小一貫教育推進担当者を対象とし、保幼小一貫教育の必要性について認識を深める「保幼小一貫教育推進担当者研修会」を開催し、小学校区ごとの意見交換会を行いました。

また、平成23年10月6日には、主任保育士及び教頭を対象に、「保幼小一貫教育講演会・研修会」を開催し、実践発表を交えた研修を行うなど、教職員相互の連携・協力体制を整えるとともに、園児と児童相互の交流学习の充実、接続期の教育内容・指導方法の工夫・改善などを図る取組を行いました。

(3) 特色と魅力ある幼稚園づくり

幼稚園自主企画特別事業

各幼稚園では、感性や創造性を豊かにする活動や地域の特性等を生かした生活力を身につけるような体験を通して、園児の興味・関心を引き出す自由な発想に基づく活動・取組を積極的に支援するとともに、園児が主役となって生き生きと生活する特色と魅力ある幼稚園づくりを進めています。

このような中、平成23年度も、斐川地域の4園を除く全ての幼稚園で、上記の趣旨に沿った事業として、家庭や地域社会と連携した事業、園児たちの心の世界を広げる事業、小学校以降の生活・学習等を視野に入れた継続性のある事業、すなわち幼稚園自主企画特別事業を実施し、2,259千円を支出しました。

【主な事業内容】

- ・ 自然体験（斐伊川での土手すべり、塩づくり体験、地域の川探検 等）
- ・ 栽培活動（地域の人と共に芋苗植え、地域の農園でいちじく収穫、地域の人の指導を受けて田植え 等）
- ・ 地域の生活・文化体験（神戸川太鼓の体験、地域講師の茶道教室 等）
- ・ 食育（収穫した野菜でクッキング、地域の食材で料理 等）
- ・ 音楽活動（コンサート開催・リズム遊び 等）

8. 学校教育推進体制の強化

(1) 「地域学校運営理事会」の充実

平成17年12月の「出雲中央教育審議会」の答申を受けて導入した「地域学校運営理事会（コミュニティ・スクール）制度」については、平成18年度末までに、全国で初めて、市内すべての小中学校（小学校36校、中学校13校）に設置しました。

（斐川地域は除く。）

この運営理事会は、地域や保護者の代表等が学校運営に参画し、地域・学校・家庭の三者が協働して、学校教育活動等に対し積極的に支援・協力する新しい学校運営システムです。

各運営理事会の開催状況については、次のとおりです。

運営理事会の年間の開催回数

| 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 3校 | 17校 | 14校 | 10校 | 4校 | 1校 | 0校 | 49校 |

1校当たり平均4回

協議テーマ

- 基本的な生活習慣の形成
- 三者（地域・学校・家庭）協働による学校運営
- 小中一貫教育 等

① 積極的な情報提供と広報活動の充実

平成23年度も、各学校の地域学校運営理事会だより、中学校区単位における地域学校運営ブロック協議会だよりを積極的に発行しました。

② 運営理事会の活性化

ア 理事長会及び研修会の開催

平成23年度も引き続き、地域学校運営理事会理事長会及び地域学校運営ブロック協議会長会を開催しました。

また、例年開催している教育委員と地域学校運営理事会の語る会は、新たに加わった斐川地域の全ての小・中学校において、教育委員と学校評議員の語る会として開催し、意見交換を行いました。

研修会の実施状況

| 期日 | 実施内容 | 視察内容 協議・研修内容 等 |
|-------------------|------------------------------|--------------------|
| 5/20 | 第1回地域学校運営理事会理事長会 | 出雲市の教育について説明及び協議 |
| 7/7 | 第1回地域学校運営ブロック協議会長会 | 各ブロックからの情報提供及び意見交換 |
| 1/21 | 「地域学校運営理事会」・「子ども・若者公民館活動」研修会 | |
| 12/7 ～ 2/18 | 教育委員と学校評議員の語る会 | 斐川地域の全ての小・中学校で意見交換 |

イ 学校管理費等の予算配分にかかる裁量権の付与

学校管理費等の予算の配分権をそれぞれの運営理事会に付与しています。この制度により平成23年度は、特別支援教育補助者（スクールヘルパー）を小学校6校で計6名増員し、小・中学校6校で15人の配置時間増をしています。

また、小学校4校では読書ヘルパーの配置時間増に活用されました。

ウ 学校評価の充実

平成22年度からは、学校評価の重点目標を20項目から18項目にしぼり、学校関係者の負担の軽減を図りました。また、学校関係者に対して、これまで以上に計画的に学習公開を行う等、評価のための資料を積極的に提供しました。

また、平成23年度は、県外の議会、教育委員会及び学校から、7団体の視察がありました。

視察対応状況

| 期日 | 実施内容・視察先等【視察先学校名】 | 視察内容 協議・研修内容 等 |
|-------|--------------------------------------|----------------|
| 7/21 | 京都女子大学大学院博士課程学生調査協力【出雲一中】【大社小】 | 地域学校運営理事会 |
| 8/2 | 岡山県勝央教育委員会視察【高浜小】【大社小】 | 地域学校運営理事会 |
| 8/4 | 岡山県勝央中学校視察【浜山中】【大社中】 | 地域学校運営理事会 |
| 8/22 | 宮城県登米市議会視察 | 地域学校運営理事会 |
| 10/14 | 大阪府茨木市議会視察 | 地域学校運営理事会 |
| 11/15 | 高知県高岡地区市町村教育委員会連合会・教育委員長教育長合同視察【長浜小】 | 地域学校運営理事会 |
| 11/17 | 香川県坂出市教育委員会視察【出雲一中】 | 地域学校運営理事会 |
| 2/9 | 北海道釧路市議会視察 | 地域学校運営理事会 |

(2) 小中一貫教育の推進

平成18年度から、教育改革の柱の一つとして、「小中一貫教育」を推進しています。これは、「中1ギャップ」の解消を図り、自信をもってたくましく生き抜く力を育成することなどを目的とした教育システムです。

この推進にあたっては、「出雲市小中一貫教育推進基本構想」を基盤に作成した「推進基本計画」に基づき、中学校区ごとに取組を進めています。また、教育研究所内に「小中一貫教育推進研究委員会」を設置し、研究推進状況について協議を行いました。

平成23年度も、同じ中学校に通うことになる小学生同士の交流活動、中学校と小学校での児童生徒交流活動、中学校区のすべての教職員による研修会や協議会等が盛んに行われました。中学校区で設定した「目指す子ども像」実現に向けて、研究の柱となるものを決めて取組を始めた校区もあり、確実に広がりや深まりがみられます。

| | |
|--------------|---|
| 出雲市教育委員会の取組 | ○転任・採用管理職「小中一貫教育研修会」[8/5] ○研究実践発表[2/10] |
| 出雲市立教育研究所の取組 | ○「小中一貫教育推進研究委員会」(30名)による調査研究活動～「推進研究委員会」[年2回]の開催 ・出雲市小中一貫教育の推進状況の把握 ○出雲市小中一貫教育パンフレットの作成 |

また、中学校区ごとに保育所・幼稚園・小学校・中学校が密接に連携し、保護者や地域の理解と協力を得て、学習や生活の基盤となる望ましい基本的生活習慣の定着をめざすなど、地域の子どもを地域で育てる取組が行われています。そして、ふるさと出雲に自信と誇りを持つ子ども、出雲を愛する子どもを育てていきます。

(3) 学校事務の共同実施

平成18年度から、教員の事務負担を軽減し、児童生徒と関わる時間をできるだけ増やすとともに、学校規模により差がある事務量の平準化や経験の浅い事務職員の資質向上を目的に、市内小中学校を5つの地域別に「学校事務支援グループ」を設置(平成23年10月からは斐川地域を加え6つのグループを設置)し、事務職員が連携して各学校の事務・業務の共同処理する「学校事務の共同実施」を行っています。

学校事務支援グループ

- 中部グループ (一中・三中校区)
- 南部グループ (二中・南中・佐田中校区)
- 西部グループ (河南中・湖陵中・多伎中校区)
- 北部グループ (浜山中・大社中校区)
- 東部グループ (平田中・旭丘中・光中校区)
- 斐川グループ (斐川東中・斐川西中校区)

業務実施日は、原則として月1回半日程度としていますが、事務職員の配置状況により、特に新規採用者や期限付き採用者が配置されているグループでは、経験の浅い事務職員に対する支援をより積極的に行うためにさらに1回(半日程度)業務日を増やして活動を行いました。

(4) 学校への支援体制の強化

学校支援地域本部事業の活用

平成20年度からの3年間の委託事業が終了し、平成23年度は補助事業として「学校支援地域本部事業」を実施し、各中学校区の地域学校運営ブロック協議会を「学校支援地域本部」と位置づけ、地域学校運営理事会との連携のもと、「地域・学校・家庭が一体となって地域の子どもを育てる」体制づくりをより強化、推進しています。

平成23年度も、引き続き各中学校区に「地域コーディネーター」を配置し、約15,900人の「学校支援ボランティア」の皆さんの協力を得て、地域からの学校支援体制が整備されました。

9. 学校教育の充実・強化

(1) 「生命を考える教育」の集中取組

平成22年度から、6月、7月及び11月を「生命(いのち)を考える教育」の集中月間とし、すべての小中学校が一斉かつ集中的にその取組を進めました。

具体的には、生命(いのち)の尊さ・人権尊重などをテーマに、道徳の授業や意見発表会などを集中して行い、児童生徒が、生命の大切さを真剣に考えました。さらに、保護者や地域の皆さんにも参加していただき、これらの取組をとおして、次に掲げる地域・学校・家庭をめざします。

- ①児童生徒が心の居場所があると感じるとともに、自らの能力を十分に発揮し、伸ばすことができる学校づくり
- ②児童生徒が安全で安心して過ごせる地域社会づくり
- ③児童生徒が家族の一員として安心して暮らせる家庭づくり

(2) 学力向上の推進

① 学力調査実施事業

児童生徒の学力を総合的に把握することにより、今後の学力向上策や指導の改善に役立てることを目的として、平成23年5月に島根県学力調査を実施しました。

県学力調査では、すべての学年・教科で県平均正答率を上回り、県内でも上位の結果です。

各学校においては、意識調査(生活アンケート)の結果も含めた調査結果を分析し、児童生徒の実態に応じた学習支援を行うとともに、校内研修や授業研究に力を入れ、教員の授業力向上に努めています。

望ましい家庭学習習慣や生活習慣の定着のためには、家庭生活の充実が不可欠であることから、学校とともに家庭に対して、積極的な指導・助言及び情報提供等を行っていきます。

平成23年度 島根県学力調査結果

| 【小学校】 | 4年 | | 5年 | | 6年 | |
|-------|------|-------------|------|-------------|------|-------------|
| | 県 | 市 | 県 | 市 | 県 | 市 |
| 国語 | 67.8 | 68.8 | 70.5 | 72.5 | 70.6 | 71.9 |
| 算数 | 73.4 | 74.0 | 76.8 | 79.0 | 72.5 | 74.4 |
| 理科 | - | - | 71.4 | 73.9 | 78.6 | 81.0 |
| 社会 | - | - | 76.0 | 78.2 | 72.0 | 73.9 |
| 【中学校】 | 1年 | | 2年 | | 3年 | |
| | 県 | 市 | 県 | 市 | 県 | 市 |
| 国語 | 75.2 | 78.1 | 71.1 | 71.9 | 68.6 | 70.3 |
| 数学 | 74.9 | 77.2 | 64.1 | 65.4 | 62.9 | 66.3 |
| 理科 | 72.1 | 74.0 | 57.9 | 60.1 | 57.4 | 59.1 |
| 社会 | 67.3 | 69.5 | 64.4 | 64.8 | 66.3 | 70.0 |
| 英語 | - | - | 74.0 | 75.3 | 65.2 | 68.9 |

② TTによる学習力パワーアップ事業

児童に確かな学力を身につけさせるため、日々の授業において、よりいっそう、きめ細やかな学習支援を行う学習支援員を小学校に派遣し、担任とのTT(チーム・

ティーチング)によって、児童の基礎学力の定着を図るとともに、一人一人の個別課題克服を支援しました。特に、算数における学習支援を中心としました。平成23年度は、17の小学校に学習支援員を派遣しました。

2か年にわたり小学校を支援してきた本事業も、平成23年度をもって終了しました。

③ ウィークエンドスクール事業

平成23年度は、市内10会場で、週末(土曜日)の午前又は午後小学校5、6年生、中学校1～3年生の希望者を対象にした学習の場として、ウィークエンドスクールを開設しました。

このスクールでは、児童生徒の基礎学力及び学習習慣の定着を図るため、指導員(元教員や学生等)の配置により、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな支援を行っています。

塾長・副塾長や学生指導員の指導や熱意ある対応によって、平成23年度は、小学生149名、中学生174名の合計323名が参加しました。

受講した児童生徒からは「とても分かりやすく教えてもらい、分からないところ分かるようになった。」「休憩時間に学生指導員から勉強以外の話も聞けてよかった。」、保護者からは「自ら学習に取り組むようになった。」「他校の児童生徒と友達になることができよかった。」等といった前向きな感想が寄せられており、「来年度も参加したい。」「今後も継続してほしい。」といった意見も多くいただきました。

課題である出席率の向上も年々改善され、平成23年度は平均48%まで向上しました。今後も、より効果的な事業のあり方について検討していきます。

④ 外国語指導助手招致事業

小学校での外国語活動及び中学校での英語授業について、外国語指導助手(ALT)と英語指導助手(AET)を全ての小中学校に派遣しました。

(3) 「豊かな心を育む教育」の推進

① 体験学習の充実

地域の人々や自然とのふれあい、歴史・文化・産業に関する学習等、地域の教育資源を活かした体験学習や集団宿泊学習の充実を図る総合的学習を推進し、心豊かでたくましい児童生徒の育成を図っています。

各学校では、地域の教育資源を活かしたふるさと学習、中学校区単位の小学校合同の宿泊体験学習、市内事業所の協力を得ての中学生職場体験学習など、多様な体験学習を実施しています。

② 読書活動の充実

読解力の向上はもとより、主体的な学習活動や問題解決能力、豊かな感性や情操、思いやりの心などを育む読書活動の充実を図るため、「読書ヘルパー」事業を推進しています。

ア 読書ヘルパーの配置

学校図書館の本の貸出や返却、書架の整理など学校図書館の活動及び運営を支援するため、島根県の学校図書館担当職員配置に係る交付事業に先立ち、平

成20年度から、分校を除くすべての小中学校に「読書ヘルパー」を独自で配置し、児童生徒の読書活動を推進しています。

各学校では、学校図書館への来館児童生徒数及び図書の貸出数が増加してきたとの報告があります。

イ 学校図書館司書の配置

平成23年10月の合併後も、斐川地域の小中学校には、暫定措置として学校図書館司書を引続き配置しました。

③ 郷土学習事業

児童の「ふるさと出雲」への愛着と誇りを培うため、小学校3・4年生の社会科の副読本「わたしたちの出雲市」を活用して、郷土学習を推進しています。

(4) 児童生徒支援体制の充実・強化

平成23年度の不登校、いじめ、問題行動の状況は、次のとおりです。

不登校、いじめ、問題行動ともに増加傾向にあります。特に問題行動においては、平成22年度と比べ全体で1.6倍、中学校では2倍を超えました。中でも、暴力行為、盗み（万引き）、深夜徘徊、無断外泊の増加が顕著でした。

こうした状況を真摯に受け止め、「暴力行為」をはじめとする様々な問題行動、不登校などへの解決に向けて、フレンドシップ事業、不登校対策事業、スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業、スクールカウンセラー活用事業、子どもと親の相談員配置事業等を実施しながら、関係諸機関との連携を強化するとともに、学校全体で組織的な指導がなされるよう校内体制づくり等、児童生徒への支援体制の充実・強化を図りました。

不登校児童生徒数（30日以上の不登校による欠席者）

| 学年別発生数 | H23年度 | H22年度 | H21年度 | H20年度 | H19年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 70 | 62 | 53 | 44 | 50 |
| 中学校 | 168 | 160 | 162 | 178 | 174 |
| 小中学校計 | 238 | 222 | 215 | 222 | 224 |
| 割合 | 1.57% | 1.45% | 1.39% | 1.42% | 1.43% |

いじめ認知件数

| H23年度 | | | H22年度 | | | H21年度 | | | H20年度 | | | H19年度 | | |
|-------|-----|----|-------|-----|----|-------|-----|----|-------|-----|----|-------|-----|----|
| 小学校 | 中学校 | 計 | 小学校 | 中学校 | 計 | 小学校 | 中学校 | 計 | 小学校 | 中学校 | 計 | 小学校 | 中学校 | 計 |
| 11 | 20 | 31 | 9 | 19 | 28 | 20 | 14 | 34 | 10 | 12 | 22 | 20 | 23 | 43 |

問題行動児童生徒数

| 項 目 | | H23 年度 | | | H22 年度 | | | H21 年度 | | | H20 年度 | | | H19 年度 | | |
|-------------------|-------------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|----|-----|--------|----|-----|--------|----|-----|
| | | 小 | 中 | 計 | 小 | 中 | 計 | 小 | 中 | 計 | 小 | 中 | 計 | 小 | 中 | 計 |
| 問題行動計 (いじめを除く) | | 71 | 236 | 307 | 85 | 112 | 197 | 67 | 70 | 137 | 100 | 81 | 181 | 63 | 81 | 144 |
| 1 暴力 行為 | (1) 対教師暴力 | | 6 | 6 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | (2) 生徒間暴力 | 1 | 14 | 15 | | 3 | 3 | 2 | 5 | 7 | 3 | 5 | 8 | | 6 | 6 |
| | (3) 対人暴力 | | 3 | 3 | | | 0 | | | 0 | 1 | | 1 | | | 0 |
| | (4) 器物破壊 | | 20 | 20 | 4 | 12 | 16 | 2 | 6 | 8 | 4 | 3 | 7 | 1 | 12 | 13 |
| 2 | 火遊び・放火類似行為 | 10 | 13 | 23 | 19 | 11 | 30 | 19 | 11 | 30 | 36 | 3 | 39 | 15 | 7 | 22 |
| 3 | 盗み(万引き) | 33 | 63 | 96 | 22 | 30 | 52 | 32 | 20 | 52 | 18 | 15 | 33 | 21 | 15 | 36 |
| 4 | 飲酒 | | 10 | 10 | | 1 | 1 | | 4 | 4 | 2 | 10 | 12 | | 2 | 2 |
| 5 | 喫煙 | | 23 | 23 | | 4 | 4 | | 2 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 12 | 15 |
| 6 | 薬物乱用(シンナー等) | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 7 | 家出 | 3 | 5 | 8 | | 5 | 5 | 1 | 2 | 3 | | 2 | 2 | | | 0 |
| 8 | 深夜徘徊、無断外泊 | 2 | 26 | 28 | | 9 | 9 | | 3 | 3 | 1 | 22 | 23 | | 17 | 17 |
| 9 | 金銭浪費 | 7 | 2 | 9 | 29 | 3 | 32 | 2 | 2 | 4 | 15 | 4 | 19 | | 1 | 1 |
| 10 | その他 | 15 | 51 | 66 | 11 | 34 | 45 | 9 | 15 | 24 | 17 | 16 | 33 | 23 | 9 | 32 |

① フレンドシップ事業

学校生活で起きているいじめ等の問題について、児童生徒が自分たちの問題としてとらえ、いじめを許さない明るく楽しい集団づくり、助けあい支えあう仲間づくりを進め、いじめの未然防止と人権意識の高揚を図る「フレンドシップ事業」を平成19年度から実施しています。平成21年度からは、児童生徒の人間関係と関わって大きな課題となってきた「ケータイ・ネット利用」についての取組も行っています。

平成23年度は、「いじめを未然防止し、よりよい人間関係を築くことができる人間関係づくりについて」という研究テーマのもと、コミュニケーションづくりを中心とした研修を実施し、児童生徒の人間関係づくりとケータイ・ネット利用問題への取組を進めてきました。各校では、話し合いに基づいて、児童生徒によるいじめ未然防止のための具体的な取組が積極的に行われています。

また、各校生徒会や児童会を中心にした人権集会等の取組や小中連携の取組も、積極的に行われました。さらに、東日本大震災で被災した学校との交流を行った学校もありました。

② 不登校児童生徒への支援体制の充実・強化

不登校児童生徒への支援体制の充実・強化を図るため、適応指導教室を設置するとともに、不登校対策指導員や児童生徒支援調整員を配置しました。

ア 適応指導教室「すずらん教室」「光人塾」「コスモス教室」の設置

出雲地域に「すずらん教室」を、平田地域に「光人塾」を、斐川地域に「コスモス教室」を設置し、学習の補充や体験活動を実施するなど、学校復帰をめざす

不登校児童生徒のための指導・支援を行いました。

平成23年度適応指導教室入級児童生徒数

| | | すずらん教室 | 光人塾 | コスモス教室 |
|--------|-----|--------|-----|--------|
| 入級児童生徒 | 小学生 | 5名 | 3名 | 5名 |
| | 中学生 | 16名 | 15名 | 6名 |
| 学校復帰者 | 小学生 | 2名 | 2名 | 4名 |
| | 中学生 | 2名 | 4名 | 2名 |

イ 不登校対策指導員の配置

家庭にひきこもりがちな児童生徒の家庭を訪問する不登校対策指導員3名を配置し、不登校児童生徒及び保護者の実態に応じた適切な支援を行うとともに、「すずらん教室」「光人塾」「コスモス教室」との連携を図り、学校復帰をめざしました。

不登校対策指導員が関わった児童生徒数

| 年 度 | 小学校 | | | | | 中学校 | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | H23 | H22 | H21 | H20 | H19 | H23 | H22 | H21 | H20 | H19 |
| 学校復帰 | 4 | 3 | 2 | 3 | 5 | 5 | 5 | 2 | 4 | 9 |
| 時々学校に登校 | 1 | 0 | 3 | 5 | 6 | 8 | 9 | 7 | 7 | 6 |
| 適応指導教室等への通級 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | 6 | 4 | 0 | 6 |
| 家を出るようになった | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 4 | 7 | 7 | 9 | 2 |
| 会えるようになった | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 8 | 7 |
| かわりが難しい | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 計 | 7 | 5 | 8 | 13 | 16 | 24 | 34 | 29 | 35 | 39 |

ウ 児童生徒支援調整員の配置

不登校及び不登校傾向の児童生徒の見立てを行い、適応指導教室及び不登校対策指導員等の支援を適切に受けられるよう連絡・調整を行いました。

支援内容（件数）

| 支援内容 | H23年度 | | | H22年度 | | |
|----------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 小学校 | 中学校 | 計 | 小学校 | 中学校 | 計 |
| 学校訪問による聞き取り、相談 | 155 | 119 | 274 | 100 | 96 | 196 |
| 児童生徒や保護者との面談 | 12 | 35 | 47 | 4 | 8 | 12 |
| 家庭訪問 | 1 | 3 | 4 | 0 | 3 | 3 |
| 適応指導教室入級に関わるアセスメント | 7 | 22 | 29 | 8 | 22 | 30 |
| 不登校対策指導員との連携 | 5 | 12 | 17 | 4 | 12 | 16 |
| 特別支援教育係との連携 | 1 | 2 | 3 | 6 | 3 | 9 |
| SSW、子ども・若者支援センターとの調整 | 6 | 9 | 15 | 10 | 3 | 13 |

③ 関係機関との連携強化

近年、増加傾向にある児童虐待やDV等に的確に対応するため、学校、児童相談所、関係機関等との児童生徒ケース支援会議を適宜開催しました。また、平成23年度も引き続き、スクール・ソーシャルワーカー（SSW）を各小中学校に派遣し、関係機関と連携を強化するとともに、学校現場への支援体制の充実を図りました。

(5) 特別支援教育推進体制の充実・強化

特別な支援を必要とする児童生徒への支援として、「スクールヘルパー事業」を実施するとともに、「わくわく相談会」、特別支援教育指導員と通級指導教室指導員による相談活動、特別支援教育に関わる各種研修会の実施等、特別支援教育推進体制の充実・強化を図っています。

① 支援体制と相談活動の充実

ア 特別支援教育推進委員及び指導員による支援

出雲市では、平成17年度から、医師、心理判定員等で構成する「特別支援教育推進委員会」を設置しています。これは、個々の実態や教育的ニーズを把握し、各小中学校に望ましい対応や支援体制について専門的意見の提示や助言を行うとともに、発達障がいのある児童生徒の教育のあり方について、協議・検討を行うもので、巡回相談「わくわく相談会」を実施しています。

「わくわく相談会」を活用している学校現場では、専門的な指導・助言に基づいた適切な支援・指導により、「具体的な手立てをいくつも紹介していただき、児童が必要とする支援を探ることができた。」「いただいた助言を少しずつ具体化することで、対象児童の成長がみられた。」「年度途中でも、迅速・柔軟に対応していただきありがたかった。」等、本事業の効果が着実に現れています。

あわせて、学校と関係機関との連携がスムーズに行われるよう、特別支援教育指導員2名と通級指導教室指導員1名による個別の教育相談や、学校訪問を実施しています。

「わくわく相談会」の実施・個別の教育相談

| 実施学校数 | 相談対象児童生徒数 |
|--------------|---------------|
| 小学校21校、中学校6校 | 小学校48人、中学校13人 |

イ 教職員研修の充実

発達障がい等についての正しい理解と支援のあり方は、学校における重要課題の一つです。このため、昨年度に引き続き、特別支援教育コーディネーター研修会では、肥後功一氏（島根大学教授）を講師に迎え、「子どもの育ちを共に考える特別支援教育の考え方」という演題で講演会を実施しました。保育所（園）、幼稚園、小・中学校から123名の特別支援教育コーディネーターが参加し、発達支援の目的や発達障がいを捉えるポイント等について研修しました。

また、特別支援教育コーディネーター研修会の他に、通級指導教室担当者研修会、院内学級担当者会等の各種研修会を実施しました。

② 指導体制の充実

ア スクールヘルパー事業

特別な支援を必要とする児童生徒の支援の充実を図るため、児童生徒の様子や各学校の実態に応じて、特別支援教育補助者を小中学校で99人、特別支援介助者を小中学校で15人、支援員（斐川地域）を27人、合計141人配置し、それぞれの児童生徒に応じたきめ細やかな支援を行っています。

この支援により、学習面、生活面において児童生徒に落ち着きができるなどの効果が表れています。多くの学校から配置の要望があるため、適切な配置を図っていきます。

業務状況

| | |
|-----------|--|
| 特別支援教育補助者 | 発達障がいを含む障がいのある児童生徒や学校に登校していても教室に入りにくかったり、集団になじみにくかったりする児童生徒の支援 |
| 特別支援介助者 | 肢体不自由や自閉症など、日常的に介助を必要とする児童生徒の支援 |

| 種 別 | 小学校 | 中学校 | 合 計 |
|-----------|-----|-----|------|
| 特別支援教育補助者 | 66人 | 33人 | 99人 |
| 特別支援介助者 | 10人 | 5人 | 15人 |
| 支援員 | 23人 | 4人 | 27人 |
| 合 計 | 99人 | 42人 | 141人 |

イ 通級指導教室における支援

通常の学級に在籍し、言語障がい、難聴、情緒障がい、自閉症、LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥多動性障がい）等、障がいのある児童生徒に対して、専門的な指導・支援を行う「通級指導教室」を幼稚園1園、小学校5校、中学校4校に設置しています。

通級による指導が充実するために、通級指導教室指導員による学校訪問を実施するとともに個別の教育相談を実施しています。

| | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 |
|-------------|-------|---|-----------------------------------|
| 設置園・校 | 今市幼稚園 | 今市小学校 神西小学校 平田小学校 大社小学校 中部小学校 | 第三中学校 浜山中学校 平田中学校 斐川西中学校 |
| 通級幼児・児童・生徒数 | 53名 | 199名 | 72名 |

(6) 人権・同和教育の推進

① 学校人権・同和教育の推進

学校における人権・同和教育では、幼児・児童・生徒一人一人の人権を守り、進路を保障するとともに、同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくしていこうとする意欲と実践力の育成に努めています。

そのため、「出雲市人権施策推進基本方針」に基づき、「学校同和教育推進事業」として、地域や関係機関等との連携のもと、学校における人権・同和教育を推進しています。

ア 人権・同和教育推進体制の確立

子どもの発達段階に応じて、人権に関する知的理解を深め、人権感覚を高める取組の推進及び「自分の大切さと共に他の人の大切さを認める」ことのできる幼児・児童・生徒を育成するためには、教職員の人権意識の高揚と指導力の向上を図る必要があります。そのために、管理職や担当教員を対象にした「差別の現実に学ぶ」研修会など各種研修会を開催しました。また、同和問題学習の充実を図るため人権・同和教育主任による「渋染め一揆資料館」研修視察を行いました。

さらに、同和教育をすべての教育活動の基底に据えた取組の徹底と学校における人権・同和教育推進体制を確立するため、同和教育啓発指導員が、すべての小中学校を訪問し、指導・助言を行いました。

各学校においては、同和問題や同和問題学習に関する校内研修会やPTAとの共催による講演会を実施しています。さらに、いじめや言葉づかいなどをテーマとした人権集会が開催されるなど、児童生徒の人権意識を高める取組も行っています。

イ 学校における人権・同和教育の充実

同和問題学習の充実を図るため、「出雲市学校同和教育指導資料・同和問題学習プログラム」を活用した授業実践や研究授業を実施するとともに、各中学校区においては、小中学校が連携し、同和問題学習の小中一貫カリキュラムに基づいた授業研究を行っています。

また、児童生徒や保護者、地域の人権意識の高揚を図るため、人権作文・ポスターコンクールも実施し、人権作文に134点、人権ポスターでは166点の応募がありました。優秀作品は、人権カレンダーや人権作文集「ひまわり」に掲載し、市内幼稚園・小中学校・関係諸機関等に配付し、広く啓発活動を行っています。さらに、保護者の人権意識を高めるため、平成23年度も、人権パンフレット「こころつないで」を作成し、小学校1年生の保護者等1,700人に配付しました。

ウ 社会人権・同和教育との連携

各学校・関係各課・関係諸機関の連携のもと、同和地区児童生徒や不登校児童生徒、特別な支援を要する児童生徒をはじめとするすべての児童生徒の進路を保障するために、人権・同和教育推進員8名を配置し、支援しています。

また、社会人権・同和教育との連携を図るため、出雲市隣保館、人権同和政策課の事業に対して協力・支援を行うとともに、出雲市同和教育・啓発推進会議や各地区の同和教育推進協議会との連携も図っています。

人権・同和教育推進員配置校

| | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 今市小学校 | 塩冶小学校 | 四絡小学校 | 神戸川小学校 |
| 第一中学校 | 第二中学校 | 第三中学校 | 河南中学校 |

② 帰国・外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実

平成23年度も児童生徒支援加配推進者の3名を出雲市日本語指導推進員として委嘱し、日本語指導が必要な児童生徒への支援を行いました。日本語指導が必要な児童生徒が転入してきた際には、推進員が面接し、児童生徒の見立てを行い、一人

一人にあった指導計画を立案しました。また、推進員は、学校に対して日本語指導のための資料提供等を行い、これまで以上に充実した指導を行うことができるようにしました。

帰国・外国籍児童生徒に対する日本語指導や学習支援のため、「帰国・外国籍児童生徒支援事業」により、日本語指導員を3名配置しました。また、県費負担の児童生徒支援加配推進者が、大津小学校、塩冶小学校、第二中学校にそれぞれ1名配置されています。日本語指導員と児童生徒支援加配者が連携しながら、大津小学校、塩冶小学校、高松小学校、四絡小学校、荘原小学校、第一中学校、第二中学校、河南中学校、佐田中学校の日本語指導が必要な児童生徒への指導を行いました。そのほか、両者が定期的に連絡会を行うことにより、日本語指導の充実を図ることができました。

日本語指導が必要な児童生徒数（平成24年1月現在）

| 母語 校種 | ポルトガル語 | 韓国語 | ベンガル語 | 中国語 | フィリピン語 (タガログ語) | 合 計 |
|----------|--------|-----|-------|-----|-------------------|-----|
| 小学校 | 7名 | — | 1名 | 2名 | 3名 | 13名 |
| 中学校 | 5名 | 2名 | — | 2名 | — | 9名 |
| 合 計 | 12名 | 2名 | 1名 | 4名 | 3名 | 22名 |

10. 青少年育成の推進

(1) 出雲市放課後子どもプラン

少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の養育力や教育力の低下など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、放課後児童対策として、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」を行っています。

ここでは、「子どもたちを地域全体で育む」という観点から、地域が主体となって運営組織を設置し、事業の実施を行っています。

① 放課後子ども教室推進事業

放課後や週末等に小学校の利用可能スペースや公共的施設等を利用し、地域の人の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる活動を行っています。

○実施状況

- ・対象者：小学校1年生～6年生
- ・実施教室：25教室
- ・延参加者数：27,697人
- ・委託料：10,804,759円

② 放課後児童クラブ事業

○事業概要

子育てと仕事の両立支援に対するニーズの増大を背景に、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1年生から3年生までの児童に、遊びや生活の場を提供し、健全育成を図っています。

運営にあたっては、地域で運営委員会を組織し、専任の指導員が指導にあっています。ただし、斐川地域は指定管理制度により、運営委託を行っています。

○実施状況

- ・児童クラブ数：42児童クラブ（出雲地域36、斐川地域6）
- ・入会児童数：1,393人（平成23年4月1日現在）
（出雲地域 1,185人 斐川地域 208人）
- ・開所日・時間：月～金曜日 放課後から午後6時まで
土曜日、長期休業期間 午前8時から午後6時まで
- ・委託料：228,040,851円（総合計234,345,851円）
出雲地域児童クラブ運営委託金：225,394,651円
わらべのうち学童クラブ業務委託料：260,000円
（年間1,300,000円）
指定管理料：2,386,200円（年間7,651,200円）

○児童クラブ施設の整備

児童クラブが未設置の小学校区での新規開設、また、入会児童数の増大や施

設の老朽化の改善のため、計画的に施設整備を行っています。平成23年度は、平成24年度に新規開設する稗原児童クラブ、遙堪児童クラブを整備するとともに、西野小第2学童クラブ、湖陵児童クラブ、四絡第1児童クラブ、檜山児童クラブの整備を行いました。

●稗原児童クラブ

平成24年度から新規開設するため、稗原小学校体育館2階の多目的室を拡充整備しました。

- ・床面積：88.3㎡
- ・整備内容：多目的室改造、空調設備、手洗い場の設置
- ・事業費：6,621,900円

●遙堪児童クラブ

平成24年度から新規開設するため、遙堪小学校敷地内に施設整備しました。

- ・構造：木造平屋建て
- ・床面積：117.6㎡
- ・施設内容：学習室、プレイルーム、事務室、休養室等
- ・事業費：32,296,950円

●西野小第2学童クラブ

民家を借用していましたが、施設の老朽化が激しく、また西野小第1学童クラブを含めて入会児童数が増加する見込みであるため、西野小第1学童クラブに隣接して50人規模の施設を新設しました。

- ・構造：木造平屋建て
- ・床面積：183.31㎡
- ・施設内容：学習室、プレイルーム、事務室、キッチン、休養室等
- ・事業費：42,752,850円

●湖陵児童クラブ

入会児童数の増加に伴い、施設が狭隘になったため増築を行いました。

- ・整備内容：増築11.22㎡、改修43.09㎡
(プレイルーム19.91㎡増設、休養室6.23㎡新設)
- ・事業費：9,753,900円
(H22 577,500円、H23 8,996,400円)

●四絡第1児童クラブ

民間保育所施設を活用していたものを、四絡小学校敷地内に移転整備を行いました。

- ・構造：軽量鉄骨造平屋建て
- ・床面積：51.1㎡
- ・リース総額：10,080,000円(月額168,000円)
- ・リース期間：平成23年5月16日～平成28年5月15日

●檜山ひのき児童クラブ

入会児童数の増加に伴い、施設が狭隘になったため増築を行いました。

- ・整備内容：プレイルーム増築15.09㎡

・事業費：2,289,000円

(2) 青少年ネットワーク事業

青少年育成に関わる多様な組織・人脈が連携し、ネットワークを組織し、地域社会挙げて総合的に青少年育成を図るとともに、子ども会の活動を支援し、子ども会組織の結成・活性化を促進しています。また、子ども会活動を指導・支援する子どもサポーターの育成をしています。

① 地区青少年ネットワークへの補助金

地区青少年ネットワークに対し、地区青少年ネットワーク費用（青少年に関する会議費や事業費、子ども会結成支援、子ども会活動指導費用）と子ども会活動支援補助費用（子ども会への補助経費）を補助しています。

決算額：地区青少年ネットワーク費用 1,167,444円
子ども会活動支援補助費用 6,246,380円

② 子ども会数

| 区 分 | H23年度 | H22年度 | H21年度 | H20年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 子ども会数 | 393 | 396 | 389 | 394 |

(3) 子ども・若者総合支援事業

① 出雲市子ども・若者支援協議会

平成23年1月28日、子ども・若者育成支援にかかる福祉、保健・医療、教育、雇用、矯正・更生保護、青少年育成・支援の関係機関・団体が連携した「出雲市子ども・若者支援協議会」を設置し、困難を抱える子ども・若者の育成・支援の検討協議を行っています。

② 出雲市子ども・若者支援センター

平成23年4月、様々な困難や悩みを抱える子どもや保護者の相談業務や支援活動などを行っていた旧出雲市子ども支援センターの業務に、若者の相談・支援業務を加え、子ども・若者の相談支援の総合相談窓口として「出雲市子ども・若者支援センター」を設置し、相談業務や支援活動などを行っています。

ア. 相談員の体制：所長1人、相談員5人（内、心理相談員1人）

イ. 相談活動：面接や電話、必要に応じ訪問により、子ども・若者やその保護者からの心配ごとや悩みごと、また、ニート、ひきこもり、不登校、発達障がい等について相談に応じ、支援しています。また、ケースによっては各種専門の機関と連携し、相談・支援の充実を図っています。

○相談受付：月～金曜日 8:30～18:00

土曜日 8:30～17:00（予約の面接相談のみ）

○相談件数

| 区分 | H23年度 | H22年度 | H21年度 | H20年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 面接相談 | 1,188 | 1,143 | 663 | 1,205 |
| 電話相談 | 599 | 442 | 436 | 193 |
| 計 | 1,787 | 1,585 | 1,099 | 1,398 |

③ 街頭補導活動

専任少年委員（2人）が週1回市内の巡回指導を行っています。また、地区においては主任少年委員（48人）や地区少年委員（284人）による街頭パトロールや「街かど声かけたい（137人）」による声かけ活動を通じ、子どもたちの安全確保の活動を行っています。

④ 環境浄化活動

市内4か所に青ポストを設置し、有害図書等の回収を行っています。

○青ポスト設置場所：出雲体育館、出雲ドーム駐輪場、平田文化館駐輪場、大社支所駐輪場

○回収状況

| 区分 | H23年度 | H22年度 | H21年度 | H20年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 本類 | 983 | 1,138 | 869 | 1,145 |
| ビデオ類 | 1,277 | 1,249 | 1,141 | 1,082 |
| その他 | 33 | 45 | 5 | 3 |
| 計 | 2,293 | 2,432 | 2,015 | 2,230 |

⑤ 啓発活動

啓発紙「青い旅」を年3回、「広報いずも」に掲載するほか、各種会議等において、講演事業を行っています。

(4) 子ども安全センターの取組

平成17年度に設置した「子ども安全センター」では、子ども安全センター指導員1名、スクールガードリーダー3名が、出雲警察署との連携のもと、見守りパトロール隊の協力を得ながら、各学校で開催する「防犯教室」や「地域安全マップづくり」の支援を行い、地域ぐるみの安全教育を推進しました。

また、不審者情報をいち早く伝達するため「メール配信」を行うとともに、各地域の見守りパトロール隊の皆さんには、子どもたちの安全な登下校の支援をいただいています。

○防犯教室・不審者侵入避難教室・安全マップ作成支援実施状況

小学校

| 区分 | 防犯教室 | 不審者侵入避難教室 | 安全マップづくり |
|--------|------|-----------|----------|
| 平成23年度 | 38 | 27 | 3 |
| 平成22年度 | 37 | 24 | 3 |
| 平成21年度 | 30 | 17 | 3 |

中学校

| 区分 | 防犯教室 | 不審者侵入避難教室 | 安全マップづくり |
|--------|------|-----------|----------|
| 平成23年度 | 5 | 7 | 0 |
| 平成22年度 | 7 | 3 | 0 |
| 平成21年度 | 9 | 4 | 0 |

幼稚園

| 区 分 | 防犯教室 | 不審者侵入避難教室 | 安全マップづくり |
|--------|------|-----------|----------|
| 平成23年度 | 16 | 12 | 0 |

(5) 成人式・交歓の集いの開催

新成人としての自覚を持ち、心新たに希望にあふれる一步を踏み出すことができるよう、成人式典で新成人を激励・祝福するとともに、交歓の集いを開催し、新成人の交流、親交を深める取組を行いました。

平成23年度は、斐川町との合併に伴い、会場を出雲市民会館から県立浜山体育館に変更し開催しました。

○対象者：平成3年(1991)4月2日から平成4年(1992)4月1日の間に生まれた人

○参加者数：1,520人(対象者数：1,943人) 参加率：78.2%

○開催日：平成24年1月8日(日)

○会場：県立浜山体育館

(6) 青少年活動施設の活用

① 勤労青少年ホームの活用

勤労青少年育成を図るため、教養、趣味、運動、レクリエーション活動の場を提供しています。

出雲勤労青少年ホームは、昭和43年開館の施設で、青少年活動の場として活用するとともに、子ども・若者支援センターや子ども安全センター、また、すずらん教室などを併設し、青少年の育成・支援の拠点となっています。

また、平田勤労青少年ホームは、昭和54年開館で、各種講座の開催や各種クラブ活動に活用されています。

○利用状況

| 区分 | ホーム主催 | | クラブ活動 | | その他 | | 合計 | |
|----|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|--------|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 |
| 出雲 | 71 | 689 | - | - | 568 | 3,063 | 639 | 3,752 |
| 平田 | 14 | 179 | 480 | 3,816 | 315 | 3,280 | 809 | 7,275 |
| 計 | 85 | 868 | 480 | 3,816 | 883 | 6,343 | 1,448 | 11,027 |

② 出雲スカウトセンター

平成16年4月、出雲体育館敷地内に設置した「出雲スカウトセンター」は、ボーイスカウトやガールスカウト等各種青少年育成団体の指導者の活動拠点、情報交換や交流の場として広く活用されています。

③ 天王山キャンプ場

平成15年4月、青少年の野外活動拠点として整備した「天王山キャンプ場」は、ボーイスカウトやガールスカウトの活動、コミュニティセンター事業、子ども会の野外活動の場として活用されています。

○利用状況

| 区 分 | H 2 3 年度 | H 2 2 年度 | H 2 1 年度 | H 2 0 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|
| 件 数 | 3 0 | 1 8 | 2 6 | 2 6 |
| 人 数 | 7 7 8 | 3 0 7 | 4 5 4 | 7 8 8 |

④ 児童館管理運営事業

児童に健全な遊びの場を与えることにより、健康の増進、情操を豊かにするとともに、母親クラブや子ども会等の地域組織活動の充実・強化を図っています。

管理・運営については、指定管理制度を導入し、伊野地区自治協会が行っています。

○利用状況

| 区 分 | H 2 3 年度 | H 2 2 年度 | H 2 1 年度 |
|--------|------------|------------|------------|
| 年間開館日数 | 2 6 2 日 | 2 6 2 日 | 2 6 6 日 |
| 年間来館者数 | 5, 3 6 7 人 | 5, 7 5 0 人 | 4, 7 0 0 人 |

(7) 出雲市青少年育成市民会議

広く市民の総意を結集し、青少年の健全な育成を図ることを目的に組織された「出雲市青少年育成市民会議」は、青少年育成のための市民意識の高揚、非行防止活動などに取り組んでいます。具体の活動は、青少年育成推進大会の開催、深夜パトロール、青少年の非行・被害防止全国強調月間の推進や「少年の主張出雲市大会」の後援等の青少年育成の協賛事業への参加・参画など、また、平成23年度からは、冬期の日没後1時間程度玄関灯などを点灯する「地域を明るく照らす運動」を行いました。

各地区では、コミュニティセンター単位で地区青少年育成協議会を組織し、青少年育成に向け、パトロール活動や講演会、青少年活動の支援等を行っています。

(8) 奨学事業

勉学の意欲がありながら、経済的な理由により大学や高校へ進学が困難な学生、生徒の修学を支援し、教育機会の均等化と人材育成を目的に奨学金を貸与する出雲市奨学事業と出雲市高野令一育英奨学事業の2事業を行っています。

① 出雲市奨学事業

合併前の出雲市、佐田町、湖陵町の1市2町で実施していた事業を、合併後も引き続き全市に拡大し実施しています。

募集人数は、大学生10人、高校生10人です。

○貸付総数（平成23年度まで）

大学生等 376人、高校生等 500人 計876人

○貸付金額

| 区 分 | 月 額 | 年 額 |
|-----|--------------|----------------|
| 高校等 | 1 5, 0 0 0 円 | 1 8 0, 0 0 0 円 |
| 大学等 | 4 0, 0 0 0 円 | 4 8 0, 0 0 0 円 |

○申請、採用状況

| 区 分 | | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成20年度 |
|-----|-----|--------|--------|--------|--------|
| 高校 | 申請数 | 4 | 5 | 3 | 4 |
| | 採用数 | 3 | 5 | 3 | 4 |
| 大学 | 申請数 | 9 | 25 | 14 | 15 |
| | 採用数 | 8 | 11 | 13 | 10 |

○基金残高及び債権額（平成23年度末現在）

| 区 分 | 金 額 |
|------|--------------|
| 基金残高 | 57,913,897円 |
| 債権額 | 99,085,000円 |
| 総額 | 156,998,897円 |

② 出雲市高野令一育英奨学事業

平成2年度、稗原町出身の実業家故高野令一氏からの寄附金1億円を財源に旧出雲市で創設した事業で、全市を対象に実施しています。

○貸付総数（平成23年度まで）

大学生等 25人、高校生等 9人 計34人

○貸付金額

| 区 分 | 月 額 | 年 額 |
|-------|---------|----------|
| 専修学校等 | 20,000円 | 240,000円 |
| 大学等 | 60,000円 | 720,000円 |

○申請、採用状況

| 区分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成20年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 申請数 | 4 | 12 | 4 | 1 |
| 採用数 | 1 | 1 | 1 | 1 |

○基金残高及び債権額（平成23年度末現在）

| 区 分 | 金 額 |
|------|--------------|
| 基金残高 | 105,812,122円 |
| 債権額 | 40,728,000円 |
| 総額 | 146,540,122円 |

11. 学校教育施設の整備、管理の状況

(1) 学校施設整備計画策定事業 (8,324千円)

① 「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」策定業務

出雲市は、小中学校・幼稚園 全86学校施設（県有施設の若松分校小中各1校を除く。）を有しており、施設の耐震性や老朽度、トイレ環境、バリアフリー等多くの課題があります。市の財政は極めて厳しい状況ですが、子どもたちが一日の大半を過ごし、地域住民の生涯学習や防災の拠点となる学校施設の整備は、計画的に進めていく必要があります。

また、これまでは、学校施設整備に関する市の計画基準も明確ではなく、耐震化、増改築・大規模改造、リフレッシュ事業等の基準が不明確でありました。

このため、学校施設の詳細な課題把握を行い、今後15か年にわたる学校施設整備の基本方針と一定の基準に基づく学校施設ごとの整備方針、優先順位を盛り込んだ「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」を策定しました。

本計画に掲げた概要は、次のとおりです。

◇学校施設整備の現状と課題の把握

- ・耐震化に関する現状と課題
- ・学校施設の修繕・改修に関する現状と課題
- ・建築環境総合性能評価システムに準拠した現状調査からみる課題
- ・学校施設の増改築・大規模改造事業の計画に関する課題

◇学校施設の耐震化及び施設整備の計画基準

- ・校地（園地）・校舎（園舎）・屋内運動場等の新造改築時の整備基準面積
- ・学校施設の耐震補強・改築・大規模改造・修繕工事の計画基準

◇今後15か年間の学校施設整備・耐震化基本計画

- ・学校施設の耐震化（耐震改築含む）
- ・既存施設の増改築・大規模改造
- ・リフレッシュ事業（老朽修繕・バリアフリー改修・トイレ改修・エアコン整備）

◇今後の学校施設整備に向けて

なお、本計画は、出雲市教育委員会として策定したものでありますので、平成24年度に策定予定の出雲市の総合振興計画（新グランドデザイン）及び財政計画に従い、今後調整を図っていくものとします。

(2) 耐震化対策推進事業 (44, 480千円)

① 非木造施設の耐震化

ア 耐震補強工事

平成23年度は、平田小学校校舎南棟（I s 値0.28）1棟の耐震補強工事を実施しました。

◇平田小学校校舎南棟耐震補強工事 39,619千円

イ 耐震補強設計

I s 値0.3未満と判定された棟のうち、光中学校屋内運動場（I s 値0.20）の耐震補強設計を行いました。

◇屋内運動場耐震補強設計業務 4,861千円

なお、市の学校施設の耐震化率は、平成24年3月末現在、7割程度で全国平均より1割低く、非木造で58棟、木造で3棟の計61棟の学校施設の耐震化が必要となっています。

今後は、財政事情を考慮しながら、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」に従って、耐震化対策を進めていきます。

| 耐震化方法 | 棟数 | 整備計画年 |
|------------|----------------------|-------------|
| 耐震補強で対応する棟 | 44棟 (非木造42棟+木造2棟) | 平成28年度までに整備 |
| 耐震改築で対応する棟 | 17棟 (非木造16棟+木造1棟) | 平成35年度までに整備 |
| 計 | 61棟 (非木造58棟+木造3棟) | |

出雲市学校施設の耐震化状況について（非木造）

平成23年度現在

| 耐震適合適否・診断状況 | 区分 | 学校数 | 棟数 | 棟数の内訳 | | 耐震化率 | | | | |
|--|----------|-----|-----|-------|----|---|-----------------|-------------------------|------------------------|---|
| | | | | 校舎 | 屋体 | | | | | |
| 昭和57年以後（耐震基準適合）に建築した非木造で200㎡を超える又は2階建以上の棟 A | 小学校 | 27 | 60 | 40 | 20 | 耐震性あり | | | | |
| | 中学校 | 12 | 41 | 29 | 12 | | | | | |
| | 幼稚園 | 16 | 17 | 17 | 0 | | | | | |
| | 計 | 55 | 118 | 86 | 32 | | | | | |
| 耐震補強工事完了 ① | 小学校 | 6 | 8 | 6 | 2 | | 耐震性なし | | | |
| | 中学校 | 1 | 1 | 1 | 0 | | | | | |
| | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| Is値0.7以上 ② | 小学校 | 14 | 19 | 15 | 4 | | | 棟合計 D = A + ③ 152 | | |
| | 中学校 | 1 | 1 | 1 | 0 | | | | | |
| | 幼稚園 | 4 | 5 | 5 | 0 | | | | | |
| 耐震補強工事完了 又はIs値0.7以上 小計（③=①+②） | 小学校 | 20 | 27 | 21 | 6 | | | | 棟合計 E = ⑥ + ⑦ 60 | |
| | 中学校 | 2 | 2 | 2 | 0 | | | | | |
| | 幼稚園 | 4 | 5 | 5 | 0 | | | | | |
| Is値0.3未満 ④ | 小学校 | 7 | 7 | 0 | 7 | | | | | 【耐震化率】 F = D / (D + E) 参考値：D + E = C 71.7% |
| | 中学校 | 1 | 1 | 0 | 1 | | | | | |
| | 幼稚園 | 2 | 2 | 2 | 0 | | | | | |
| Is値0.3以上0.7未満 ⑤ | 小学校 | 23 | 37 | 30 | 7 | 【Is値0.3未満割合】 G = ④ / (D + E) 4.7% | | | | |
| | 中学校 | 4 | 9 | 7 | 2 | | | | | |
| | 幼稚園 | 2 | 2 | 2 | 0 | | | | | |
| Is値0.7未満 小計（⑥=④+⑤） | 小学校 | 30 | 44 | 30 | 14 | | 合計 C = A + B | | | |
| | 中学校 | 5 | 10 | 7 | 3 | | | | | |
| | 幼稚園 | 4 | 4 | 4 | 0 | | | | | |
| 未診断 ⑦ | 小学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 計 212 | | |
| | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| | 幼稚園 | 2 | 2 | 2 | 0 | | | | | |
| 昭和56年以前に建築した棟合計 計（B = ③ + ⑥ + ⑦） | 小学校 | 50 | 71 | 51 | 20 | | | | 計 157 | |
| | 中学校 | 7 | 12 | 9 | 3 | | | | | |
| | 幼稚園 | 10 | 11 | 11 | 0 | | | | | |
| | 計 | 67 | 94 | 71 | 23 | | | | | |
| 合計 C = A + B | 小学校(39校) | | 131 | 91 | 40 | | | | | 計 55 |
| | 中学校(13校) | | 53 | 38 | 15 | | | | | |
| | 幼稚園(24園) | | 28 | 28 | 0 | | | | | |
| | 計 | | 212 | 157 | 55 | | | | | |

Cの学校数に算入していない学校は次のとおり。

- ・小学校全41校（若松分校除く）中、塩津小学校、猪目分校の計2校は校舎、屋体ともに木造であるため算入していない。鷺鷥小学校は校舎は木造だが、屋体が非木造であるため算入している。
- ・中学校全15校（若松分校除く）中、建替中の旭丘中学校、建替予定の佐田中学校の計2校は算入していない。
- ・幼稚園全30園中、乙立幼稚園、鷺鷥幼稚園は小学校と同一施設であるため、また、荘原幼稚園は建替中、多伎幼稚園、湖陵幼稚園、日御碕幼稚園は木造であるため計6園は算入していない。

出雲市学校施設耐震診断実施結果（非木造※）

平成23年度現在

| 診断結果 | 学校 | 地区 | 学校名 | 建築年 | 耐震診断対象棟 | | 構造 | 階数 | 棟面積 (㎡) | Is値 | 整理 番号 | 通し 番号 | |
|--------------|-------|-----------------------|-------|-------|----------|------------|----------|--------|------------|-------|----------|----------|------|
| Is値 0.3未満 | 小学校 | 出雲 | 北陽小学校 | S52 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 680 | 0.26 | 1 | 1 | |
| | | | 檜山小学校 | S56 | 屋体 | 屋内運動場棟 | RC | 2 | 1,440 | 0.20 | 2 | 2 | |
| | | | 佐香小学校 | S44 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 2 | 473 | 0.26 | 3 | 3 | |
| | | | 湖陵小学校 | S49 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 2 | 1,189 | 0.21 | 4 | 4 | |
| | | | 大社 | S52 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 2 | 715 | 0.28 | 5 | 5 | |
| | | | 斐川 | S47 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 2 | 678 | 0.29 | 6 | 6 | |
| | | 中学校 | 平田 | 光中学校 | S54 | 屋体 | 屋内運動場棟 | RC | 2 | 1,291 | 0.20 | 8 | 8 |
| | | | | 幼稚園 | 出雲 | 今市幼稚園 | S45 | 校舎 | 園舎棟（北） | S | 1 | 389 | 0.29 |
| | | 幼稚園 | 出雲 | 高浜幼稚園 | | S53 | 校舎 | 園舎棟 | S | 1 | 642 | 0.23 | 10 |
| | | Is値 0.3以上 0.7未満 | 小学校 | 出雲 | 今市小学校 | S54 | 校舎 | 教室棟（南） | RC | 4 | 2,138 | 0.36 | 1 |
| S54 | 校舎 | | | | | 管理・教室棟（南） | RC | 4 | 2,312 | 0.36 | 2 | 12 | |
| S31 | 校舎 | | | | | 教室棟（北） | RC | 3 | 1,048 | 0.55 | 3 | 13 | |
| 大津小学校 | S49 | | | | 校舎 | 教室棟（北） | RC | 3 | 3,241 | 0.52 | 4 | 14 | |
| | S49 | | | | | 教室棟（南） | RC | 3 | | | | | |
| | S49 | | | | 廊下棟（西） | RC | 2 | | | | | | |
| | S54 | | | | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | | | | | 846 |
| 塩冶小学校 | S47 | | | | 校舎 | 教室棟（南） | RC | 3 | 1,347 | 0.52 | 6 | 16 | |
| | S51 | | | | | 教室棟（南） | RC | 3 | | | | | |
| 長浜小学校 | S34 | | | | 校舎 | 教室棟（東） | RC | 3 | 961 | 0.60 | 7 | 17 | |
| 四絡小学校 | S50 | | | | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 680 | 0.30 | 8 | 18 | |
| 北陽小学校 | S52 | | | | 校舎 | 管理教室棟（北） | RC | 3 | 3,568 | 0.53 | 9 | 19 | |
| | S56 | | | | | 管理教室棟（北）2F | RC | 3 | | | | | |
| 朝山小学校 | S43 | | | | 校舎 | 管理教室棟（南） | RC | 3 | 1,660 | 0.44 | 10 | 20 | |
| 神西小学校 | S45 | | | | 校舎 | 教室棟（南） | RC | 3 | 1,788 | 0.38 | 11 | 21 | |
| 平田 | 平田小学校 | | | | S42 | 校舎 | 管理教室棟（北） | RC | 3 | 2,501 | 0.30 | 12 | 22 |
| | | | | | S46 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 811 | 0.41 | 13 | 23 |
| | 灘分小学校 | | | | S44 | 校舎 | 管理教室棟（南） | RC | 2 | 801 | 0.48 | 14 | 24 |
| | | | | | S44 | 校舎 | 管理教室棟（南） | RC | 3 | 1,403 | 0.50 | 15 | 25 |
| | 国富小学校 | | | | S44 | 校舎 | 教室棟（西） | S | 1 | 248 | 0.30 | 16 | 26 |
| | | | | S56 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 2 | 902 | 0.52 | 17 | 27 | |
| | 西田小学校 | | | S48 | 校舎 | 管理教室棟 | S | 2 | 1,328 | 0.50 | 18 | 28 | |
| | | | | S49 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 2 | 620 | 0.42 | 19 | 29 | |
| | 鱒淵小学校 | | | S40 | 校舎 | 管理教室棟 | RC | 3 | 1,609 | 0.56 | 20 | 30 | |
| | | | | S57 | | 廊下棟 | RC | 3 | | | | | |
| 檜山小学校 | S41 | | | 校舎 | 管理教室棟（南） | RC | 3 | 1,195 | 0.48 | 21 | 31 | | |
| 東小学校 | S45 | | | 校舎 | 階段室棟北 | RC | 3 | 114 | 0.49 | 22 | 32 | | |
| | S45 | | | 校舎 | 管理教室棟北 | RC | 2 | 1,064 | 0.61 | 23 | 33 | | |
| 佐香小学校 | S39 | | | 校舎 | 管理教室棟（東） | RC | 3 | 856 | 0.46 | 24 | 34 | | |
| 伊野小学校 | S55 | | | 校舎 | 管理教室棟 | RC | 3 | 1,857 | 0.45 | 25 | 35 | | |
| 湖陵 | 湖陵小学校 | | | S48 | 校舎 | 普通教室棟 | RC | 3 | 2,667 | 0.43 | 26 | 36 | |
| | | | | S48 | | 特別教室棟（東） | RC | 3 | | | | | |
| 大社 | 荒木小学校 | | | S54 | 校舎 | 管理特別教室棟（東） | RC | 3 | 2,462 | 0.50 | 27 | 37 | |
| | | | | S55 | 屋体 | 屋内運動場棟 | RC | 2 | 1,096 | 0.39 | 28 | 38 | |
| | | | | S54 | 校舎 | 教室棟（西） | RC | 3 | 1,951 | 0.38 | 29 | 39 | |
| 福富小学校・幼稚園 | S52 | | | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 435 | 0.37 | 30 | 40 | | |
| 荘原小学校 | S51 | | | 校舎 | 管理特別教室棟 | RC | 3 | 888 | 0.69 | 31 | 41 | | |
| 斐川 | 西野小学校 | | | S46 | 校舎 | 特別教室棟 | RC | 2 | 1,146 | 0.63 | 32 | 42 | |
| | | | | S46 | 校舎 | 低学年教室棟 | RC | 2 | 675 | 0.47 | 33 | 43 | |
| | 中部小学校 | | | S45 | 校舎 | 教室棟 | RC | 3 | 1,567 | 0.43 | 34 | 44 | |
| | | | | S45 | 校舎 | 管理特別教室棟 | RC | 2 | 1,026 | 0.54 | 35 | 45 | |
| | | | | S45 | 校舎 | 昇降口棟 | RC | 1 | 240 | 0.61 | 36 | 46 | |
| S45 | 校舎 | | | ワタリ廊下 | RC | 2 | 75 | 0.46 | 37 | 47 | | | |

※鉄筋コンクリート造：RC、鉄骨造：S

出雲市学校施設耐震診断実施結果（非木造※）

平成23年度現在

| 診断結果 | 学校 | 地区 | 学校名 | 建築年 | 耐震診断対象棟 | | 構造 | 階数 | 棟面積 (㎡) | Is値 | 整理 番号 | 通し 番号 | | |
|-------------------------------|-------|--------------|-----------|-------|---------|-----------|----------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| Is値 0.3以上 0.7未満 (続き) | 中学校 | 出雲 | 第一中学校 | S33 | 校舎 | 教室棟(南) | RC | 3 | 796 | 0.50 | 38 | 48 | | |
| | | | | S36 | 校舎 | 教室棟(南) | RC | 3 | 670 | 0.53 | 39 | 49 | | |
| | | | 第二中学校 | S53 | 校舎 | 渡り廊下棟(中央) | S | 3 | 45 | 0.53 | 40 | 50 | | |
| | | | | S53 | 校舎 | 渡り廊下棟(北) | S | 3 | 38 | 0.60 | 41 | 51 | | |
| | | | | S32 | 校舎 | 教室棟(北) | RC | 3 | 1,048 | 0.48 | 42 | 52 | | |
| | | | | S38 | 校舎 | 教室棟(南) | RC | 3 | 1,919 | 0.38 | 43 | 53 | | |
| | | | 第三中学校 | S57 | 屋体 | 屋内運動場棟(東) | S | 2 | 800 | 0.40 | 44 | 54 | | |
| | | | | S57 | 屋体 | 屋内運動場棟(西) | S | 2 | 320 | 0.31 | 45 | 55 | | |
| | | | 平田 | 光中学校 | S53 | 校舎 | 管理教室棟 | RC | 3 | 2,080 | 0.62 | 46 | 56 | |
| | | | 幼稚園 | 出雲 | 今市幼稚園 | S45 | 校舎 | 園舎棟(南) | S | 1 | 380 | 0.30 | 47 | 57 |
| 高松幼稚園 | S52 | 校舎 | | | 園舎棟 | S | 1 | 504 | 0.50 | 48 | 58 | | | |
| Is値 0.7以上 | 小学校 | 出雲 | 今市小学校 | S54 | 校舎 | 廊下棟 | RC | 2 | 74 | 1.62 | 1 | 1 | | |
| | | | 四箒小学校 | S50 | 校舎 | 管理棟 | RC | 2 | 1,293 | 0.81 | 2 | 2 | | |
| | | | 朝山小学校 | S56 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 684 | 0.73 | 3 | 3 | | |
| | | | 乙立小学校・幼稚園 | S54 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 556 | 0.71 | 4 | 4 | | |
| | | | 平田 | 平田小学校 | S42 | 校舎 | 渡り廊下棟(東) | RC | 3 | 183 | 0.75 | 5 | 5 | |
| | | | | 澁分小学校 | S55 | 校舎 | 管理教室棟(南) | RC | 2 | 247 | 0.81 | 6 | 6 | |
| | | | | | S55 | 校舎 | 教室棟(北) | RC | 2 | 1,406 | 0.86 | 7 | 7 | |
| | | | | | S54 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 741 | 0.78 | 8 | 8 | |
| | | | 鱒淵小学校 | S50 | 屋体 | 屋内運動場棟 | S | 1 | 504 | 0.96 | 9 | 9 | | |
| | | | 東小学校 | S45 | 校舎 | 便所棟北 | RC | 2 | 84 | 0.74 | 10 | 10 | | |
| | | 佐田 | 窪田小学校 | S50 | 校舎 | 校舎棟 | RC | 3 | 1,603 | 1.19 | 11 | 11 | | |
| | | 湖陵 | 湖陵小学校 | S48 | 校舎 | 特別教室棟(北) | RC | 1 | 595 | 1.35 | 12 | 12 | | |
| | | 大社 | 遙堪小学校 | S51 | 校舎 | 管理特別教室棟 | RC | 2 | 1,604 | 0.78 | 13 | 13 | | |
| | | | 斐川 | 荘原小学校 | S51 | 校舎 | 教室棟 | RC | 3 | 840 | 0.72 | 14 | 14 | |
| | | S50 | | | 校舎 | 教育棟 | RC | 3 | 2,149 | 0.72 | 15 | 15 | | |
| | | S51 | | | 校舎 | 管理棟 | RC | 1 | 219 | 1.39 | 16 | 16 | | |
| | | 西野小学校 | | S46 | 校舎 | 管理教室棟 | RC | 3 | 1,474 | 0.74 | 17 | 17 | | |
| | | | | S46 | 校舎 | 管理教室棟 | RC | 3 | 635 | 0.74 | 18 | 18 | | |
| | | 中部小学校 | S56 | 校舎 | 教室棟 | RC | 2 | 513 | 0.71 | 19 | 19 | | | |
| | | 中学校 | 出雲 | 第二中学校 | S53 | 校舎 | 教室棟 | RC | 3 | 973 | 0.71 | 20 | 20 | |
| | | 幼稚園 | 平田 | 平田幼稚園 | S46 | 校舎 | 園舎棟(南) | S | 1 | 586 | 0.75 | 21 | 21 | |
| | | | | S46 | 校舎 | 園舎棟(北) | S | 1 | 293 | 0.74 | 22 | 22 | | |
| | | | 大社 | 大社幼稚園 | S56 | 校舎 | 園舎棟 | RC | 2 | 1,999 | 0.72 | 23 | 23 | |
| | | | | 荒木幼稚園 | S54 | 校舎 | 園舎棟 | RC | 2 | 1,419 | 0.95 | 24 | 24 | |
| | | | | 遙堪幼稚園 | S54 | 校舎 | 園舎棟 | RC | 2 | 675 | 0.79 | 25 | 25 | |
| | | 耐震補強 工事完了 | 小学校 | 出雲 | 上津小学校 | S41 | 校舎 | 普通教室棟 | RC | 2 | 1,233 | 0.76 | 1 | 26 |
| | | | | | 神戸川小学校 | S44 | 校舎 | 管理特別教室棟 | RC | 2 | 1,156 | 0.92 | 2 | 27 |
| S44 | 校舎 | | | | | 教室棟 | RC | 3 | 1,996 | 0.87 | 3 | 28 | | |
| 四箒小学校 | S50 | | | | 校舎 | 教室棟 | RC | 3 | 2,138 | 0.75 | 4 | 29 | | |
| 平田 | 平田小学校 | | | S42 | 校舎 | 教室棟(南) | RC | 3 | 1,896 | 0.70 | 5 | 30 | | |
| | 荘原小学校 | | | S43 | 屋体 | 屋内運動場 | S | 2 | 817 | 0.87 | 6 | 31 | | |
| 斐川 | 出東小学校 | | | S42 | 校舎 | 教室・管理室棟 | RC | 3 | 2,293 | 0.82 | 7 | 32 | | |
| | | | | S53 | 屋体 | 屋内運動場 | RC | 1 | 597 | 0.77 | 8 | 33 | | |
| 中学校 | 出雲 | | | 第二中学校 | S53 | 校舎 | 管理教室棟 | RC | 4 | 3,129 | 0.74 | 9 | 34 | |

※鉄筋コンクリート造：RC、鉄骨造：S

出雲市学校施設の耐震化状況について（木造）

平成23年度現在

| 耐震適合適否・診断状況 | | 区分 | 学校数 | 棟数 | 棟数の内訳 | | 耐震化率 | |
|--|-------------------------------------|---------|-----|----|-------|----|---|--------------|
| | | | | | 校舎 | 屋体 | | |
| 昭和57年以後（耐震基準適合）に建築した木造で500㎡を超える又は3階建以上の棟 A | | 小学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 中学校 | 1 | 1 | 0 | 1 | | |
| | | 幼稚園 | 2 | 2 | 2 | 0 | | |
| | | 計 | 3 | 3 | 2 | 1 | | |
| 昭和56年以前（耐震基準不適）に建築した木造で500㎡を超える又は3階建以上の棟 【文部科学省基準で定める耐震診断対象棟】 | 耐震補強工事完了 ① | | 小学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | 耐震性あり |
| | | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | lw値1.1以上 ② | | 小学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 耐震補強工事完了 又はlw値1.1以上 小計（③=①+②） | | 小学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | 棟合計 D=A+③ |
| | | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | lw値0.7未満 ④ | | 小学校 | 2 | 2 | 2 | 0 | |
| | | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 計 | 2 | 2 | 2 | 0 | |
| | lw値0.7以上1.1未満 ⑤ | | 小学校 | 1 | 1 | 1 | 0 | 耐震性なし |
| | | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 計 | 1 | 1 | 1 | 0 | |
| | lw値1.1未満 小計（⑥=④+⑤） | | 小学校 | 3 | 3 | 3 | 0 | |
| 中学校 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 幼稚園 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | | 3 | 3 | 3 | 0 | | |
| 未診断 ⑦ | | 小学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | 棟合計 E=⑥+⑦ | |
| | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 昭和56年以前に建築した棟合計 計（B=③+⑥+⑦） | | 小学校 | 3 | 3 | 3 | 0 | 【耐震化率】 F=D/(D+E) 参考値：D+E=C 50.0% | |
| | | 中学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 幼稚園 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 計 | 3 | 3 | 3 | 0 | | |
| 合計 C=A+B | | 小学校(3校) | | 3 | 3 | 0 | 【lw値0.7未満割合】 G=④/(D+E) 33.3% | |
| | | 中学校(1校) | | 1 | 0 | 1 | | |
| | | 幼稚園(2園) | | 2 | 2 | 0 | | |
| | | 計 | | 6 | 5 | 1 | | |

出雲市学校施設耐震診断実施結果（木造）

平成23年度現在

| 診断結果 | 学校 | 地区 | 学校名 | 建築年 | 耐震診断対象棟 | 構造 | 階数 | 棟面積(m ²) | lw値 | 整理番号 | 通し番号 | |
|---------------|-----|----|-----------|-----|---------|----------------|----|----------------------|-----|------|------|---|
| lw値0.7未満 | 小学校 | 平田 | 塩津小学校 | S30 | 校舎 | 教室棟・管理棟・屋内運動場棟 | W | 2 | 735 | 0.33 | 1 | 1 |
| | | 大社 | 調賀小学校・幼稚園 | S36 | 校舎 | 管理・教室棟・保育室棟 | W | 2 | 958 | 0.61 | 2 | 2 |
| lw値0.7以上1.1未満 | 小学校 | 出雲 | 今市小学校 | S31 | 校舎 | 校舎棟（北） | W | 2 | 530 | 0.83 | 1 | 3 |

(3) 小中学校、幼稚園改築事業（1,056,924千円）

学校施設の改築については、施設の建築年度や老朽度などを総合的に勘案し、市の財政計画との整合を図りながら、整備を行っています。

平成23年度は、次の施設整備等を実施しました。

① 北陽小学校校舎増築事業（26,818千円）

北陽小学校は近年、児童数が大幅に増え、教室数が不足する見込みであることから、校舎増築に向け、実施設計と地質調査を実施しました。また、耐震補強が必要と判定された北校舎（I s 値0.53）の耐震補強設計も行いました。

【事業計画】

平成24年度 校舎増築工事

平成25年度 北校舎耐震補強及び改造工事、新玄関増築工事

平成26年度 屋内運動場耐震補強工事

② 西野小学校プール改築事業（139,179千円）

西野小学校のプールは、昭和50年の建築以来36年が経過し、老朽化が著しく、更に大規模校のため、狭隘で利用に支障をきたしている状況にあり、更なる大規模校のため、狭隘で利用に支障をきたしている状況にあり、併せて駐車場整備を行いました。

【施設概要】

プール：FRP製メイン25m×15m、サブ10m×8m

附属棟：木造平屋建 160㎡（更衣室、トイレ、機械室、物置等）

外 構：屋体からの歩道、擁壁、フェンス、採石敷駐車場等

③ 向陽中学校整備事業（588,814千円）

旭丘中学校の校舎・屋内運動場は、昭和32年に建築以来、50年以上経過し、老朽化が著しいため、学校の移転改築することとし、新たに灘分地区を加えた小学校4校を校区とする向陽中学校として、灘分町地内の主要地方道斐川一畑大社線沿に整備します。

平成23年度は、校舎・屋内運動場改築工事、敷地造成工事を行いました。

【事業計画】

平成24年度 校舎・屋内運動場改築工事（平成23年度～平成24年度継続事業）、グラウンド整備工事

主要地方道斐川一畑大社線改良工事（県施工）

平成25年度 4月開校

④ 第三中学校特別支援学級改造及び

エレベーター棟増築事業（59,089千円）

第三中学校においては、平成24年度に肢体不自由児が2名入学するため、中学校生活に支障が生じないように特別支援教室の改造及びエレベーター施設整備を実施しました。

【施設概要】

特別支援学級改造：61.4㎡

便所改修・スロープ設置：1式

エレベーター棟：鉄骨造4階建 49.4㎡

エレベーター昇降設備：定員13人 車椅子兼用型 1基

⑤ 佐田中学校整備事業（4,875千円）

老朽化が著しい校舎・屋内運動場の改築に向け、基本計画（建築・構造・設備）を作成しました。

⑥ 荘原幼稚園整備事業（238,149千円）

荘原幼稚園は、昭和35年の建築以来50年以上経過し、老朽化が著しく、更に狭隘で利用に支障をきたす状況にありましたので、東部保育園隣接市有地への移転改築を行いました。

【施設概要】

園舎：鉄骨造平屋建 935㎡（保育室5室、遊戯室、職員室等）

園庭・駐車場：遊具6基、砂場1箇所、植栽、駐車場26台

屋外倉庫棟：木造平屋建 21㎡

(4) 校舎・園舎リフレッシュ事業（255,685千円）

園児児童生徒の安全・安心な学校施設の環境を確保するために、各学校からの要望を受け、現地調査の上で優先度の高い箇所から計画的に改修・修繕工事を行いました。また、強風災害等に対しては、緊急修繕を行うなど適切な対応をしました。

| | |
|---------------|-----------|
| 小学校校舎リフレッシュ事業 | 139,930千円 |
| 中学校校舎リフレッシュ事業 | 89,259千円 |
| 幼稚園園舎リフレッシュ事業 | 26,496千円 |

【主なりフレッシュ工事】

[小学校]

- ◇長浜小学校 特別支援学級改造工事
- ◇国富小学校 職員室火災復旧工事
- ◇長浜小学校 校舎床及び屋内運動場ドア取替工事
- ◇乙立小学校 タイル貼外壁改修工事
- ◇遙堪小学校 フェンス改修工事 ほか

[中学校]

- ◇大社中学校 校舎西棟及び屋内運動場西側屋上防水改修工事
- ◇大社中学校 校舎音楽室棟屋上防水改修工事

- ◇平田中学校・光中学校・大社中学校 緊急通報設備設置工事
- ◇第一中学校 特別支援学級改造工事
- ◇第三中学校 柔道用畳収納倉庫設置工事
- ◇第三中学校 特別支援学級改造工事 ほか

[幼稚園]

- ◇塩冶幼稚園 駐車場改修工事
- ◇遙堪幼稚園 屋上防水改修工事
- ◇高松幼稚園 門扉・フェンス設置工事
- ◇大津幼稚園 砂場整備工事
- ◇今市幼稚園 職員室便所洋式化工事 ほか

12. 理科教育の充実

出雲科学館は、次代を担う子どもたちの科学に対する好奇心や探究心を高め、問題解決能力や創造性を育む施設として、また、年代を問わず「学び」「遊び」「楽しむ」ことのできる生涯学習の施設として、さらに、教職員の研修や教材の研究・開発に活用できる施設として、平成14年7月に開館しました。

平成17年の市町村合併による市域の拡大に伴い、平成19年には実験室・実習室4教室を含む理科学習棟を増築し、市内の全小中学校を対象とした科学館理科学習を実施しています。



(1) 科学館運営状況

① 平成23年度の運営体制

運営は、24人のスタッフにより教育委員会が直接担当し、小中学校の理科学習については、近隣の小中学校に配属された理科教員4名と出雲市教育委員会教員1名、科学館講師4名が協力して教科指導にあたりました。また、企画展や各種生涯学習事業については、4人の科学館講師が企画、運営を担当しました。

| 職名 | 人数 | 備考 |
|------|----|-----------------|
| 館長 | 1 | 課長 |
| 副館長 | 1 | 嘱託職員 |
| 主査 | 1 | 職員 理科・科学班（班長兼務） |
| 係長 | 1 | 職員、企画管理係係長 |
| 主任 | 1 | 職員、理科・科学班 |
| 主任 | 2 | 職員、企画管理係 |
| 教諭 | 1 | 臨時職員 理科・科学班 |
| 講師 | 8 | 臨時職員 理科・科学班 |
| 指導助手 | 8 | 嘱託職員 企画管理係 |
| 計 | 24 | |

※この他今市小学校教諭2名、第一中学校教諭1名、長期社会体験研修員1名。

② 事業経費状況

○管理経費（決算額）

単位：千円

| 事業費区分 | | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|--------------------|--------------|--------|--------|--------|
| 需用費(光熱費、各種消耗品費) | | 16,355 | 16,691 | 16,338 |
| 委託費 | 施設管理等委託料 | 15,270 | 15,442 | 16,006 |
| 使用料 | パソコン等使用料 | 3,442 | 3,442 | 3,440 |
| 人件費 | 嘱託・臨時職員人件費 | 55,760 | 56,610 | 57,852 |
| ボランティア経費(交通費、保険料等) | | 675 | 729 | 690 |
| その他 | 保険料、通信費、負担金等 | 2,431 | 2,624 | 4,014 |
| 合計(A) | | 93,933 | 95,538 | 98,340 |

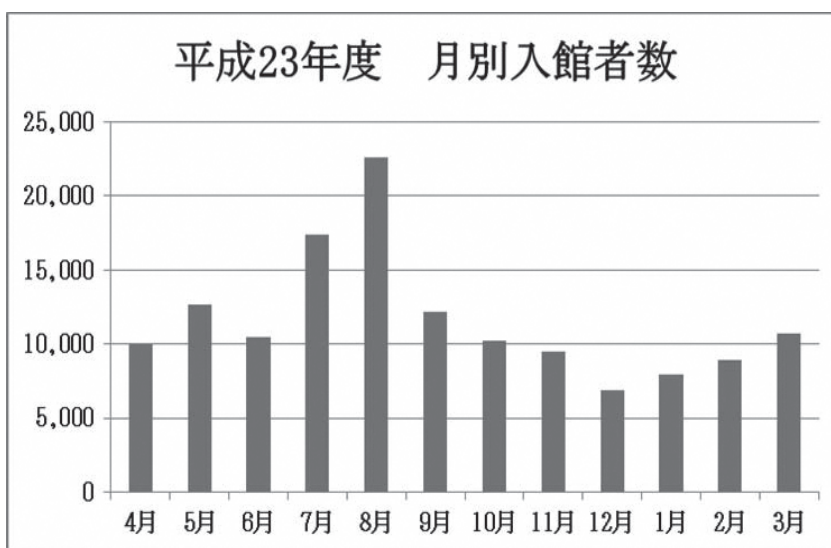
○理科学習、各種教室等事業費（決算額）

| 事業費区分 | | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|----------------|---------------|---------|---------|---------|
| 需用費(教材、実験材料費等) | | 6,513 | 5,671 | 6,710 |
| 委託費 | 各種バス運行経費等 | 12,600 | 12,600 | 10,575 |
| 謝金等 | 外部講師謝金、旅費等 | 821 | 1,818 | 2,582 |
| 役務費 | 白衣クリーニング、保険料等 | 1,340 | 1,353 | 1,472 |
| 補助金 | 科学の祭典開催補助 | 1,300 | 1,300 | 1,800 |
| その他 | 展示物使用料等 | 1,108 | 2,083 | 610 |
| 合計(B) | | 23,682 | 24,825 | 23,749 |
| 総計(A+B) | | 117,615 | 120,363 | 122,089 |

③ 入館者の状況

入館者数は、開館以来毎年おおむね15万人前後で推移し、平成23年度は13万9千人でした。年間入館者のうち、理科学習で来館する児童生徒は1割強の約1万8千人で、残りの9割近くは科学館が幅広く展開するイベントや実験教室などの参加者であり、多くの市民に利用され、親しまれる施設になっています。

| 月 | 過去平均 | H23 |
|----|---------|---------|
| 4 | 9,713 | 9,960 |
| 5 | 13,036 | 12,680 |
| 6 | 10,319 | 10,450 |
| 7 | 17,680 | 17,420 |
| 8 | 30,197 | 22,610 |
| 9 | 12,939 | 12,170 |
| 10 | 12,422 | 10,210 |
| 11 | 11,007 | 9,460 |
| 12 | 7,824 | 6,890 |
| 1 | 7,700 | 7,920 |
| 2 | 9,326 | 8,910 |
| 3 | 10,086 | 10,720 |
| 合計 | 152,585 | 139,400 |



(2) 科学館理科学習事業

① 事業概要

科学館では、児童生徒の独創性豊かな学習能力・学習意欲の向上をめざし、学校ではできないような高度な設備・装置等を駆使するとともに、独自のカリキュラムによる創造的な体験・実験学習を行っています。

小学3年から中学3年までの児童生徒が学年に応じて年1回から3回科学館へバスで来館して、午前4クラス、午後4クラス計1日8クラスが1回あたり3時限の理科学習を行います。



② 実施状況

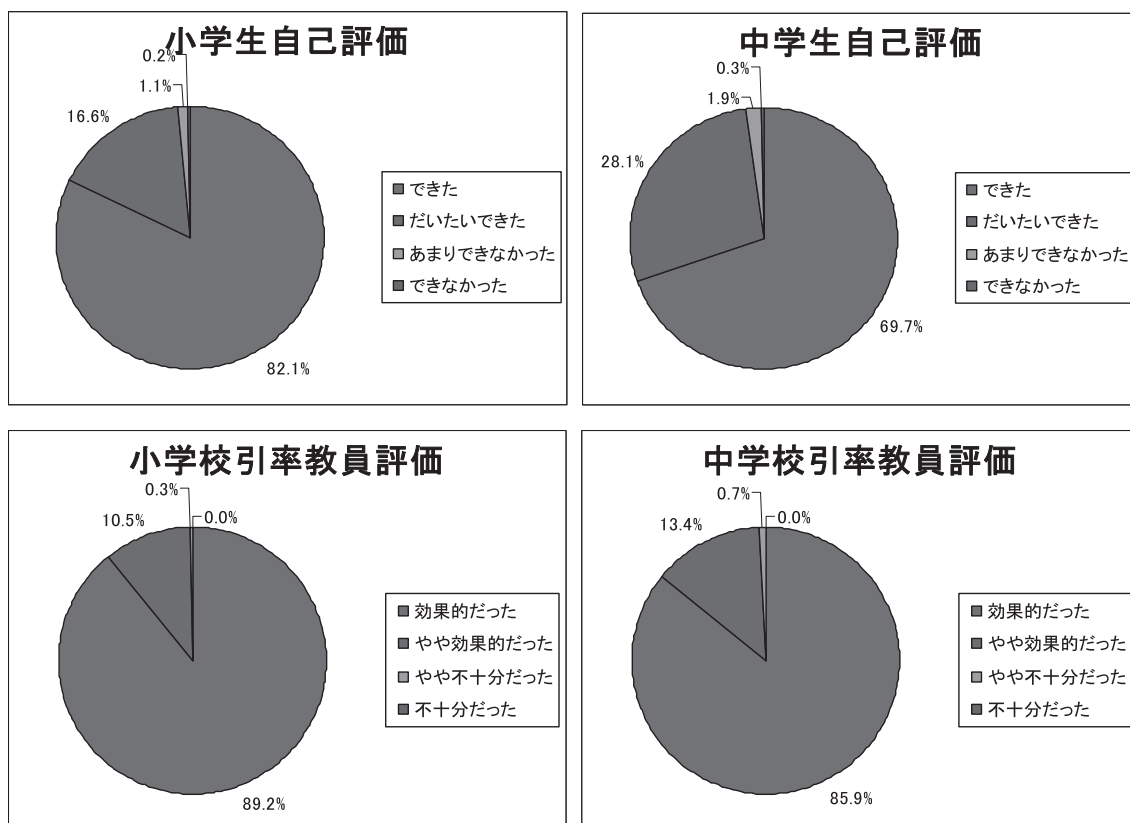
平成23年4月13日の小学6年生の授業を皮切りに、年間計画に基づいて市内全校が科学館理科学習を実施しました。平成23年度は、市内49校、延べ17,750人の児童生徒が、科学館での授業を受けました。

1時間目はサイエンスホールで演示実験を、2・3時間目は実験室・実習室に移り、児童生徒自らが実験や実習を行いました。体験型の理科学習に、子どもたちは好奇心や興味で目を輝かせていました。

| 学年 | テーマ | 学級数 | 延べ人数 | 回数 |
|-------|--------------|-----|--------|----|
| 小学3年生 | 風やゴムで動かそう | 51 | 1,363 | 1 |
| 小学4年生 | 電気のはたらき | 108 | 2,672 | 2 |
| | 月と星の動き | | | |
| 小学5年生 | 魚のたんじょう | 106 | 2,728 | 2 |
| | 流れる水のはたらき | | | |
| 小学6年生 | 物の燃え方と空気 | 107 | 2,990 | 2 |
| | 電気とわたしたちのくらし | | | |
| 中学1年生 | 植物の世界 | 121 | 3,946 | 3 |
| | 光と音の世界 | | | |
| | 物質の姿と状態変化 | | | |
| 中学2年生 | 物質どうしの化学変化 | 39 | 1,274 | 1 |
| 中学3年生 | 化学変化とエネルギー | 84 | 2,777 | 2 |
| | 科学技術の発展 | | | |
| 合計 | | 616 | 17,750 | 13 |

③ 事業効果および今後の展開

科学館理科学習を終えた児童生徒に、科学館での理科学習に興味を持って一生懸命に取り組めたかどうかのアンケートを行ったところ、97%～98%の児童生徒が「できた。」「だいたいできた。」と答えており、引率教員への効果的な学習であったかどうかのアンケートでも、87.7%の教員が「効果的だった。」と回答し、科学館理科学習が児童生徒や学校現場の教員からも高く評価されている結果となりました。



こうした先進的で継続的な取組により、島根県で実施されている学力調査において、理科は県平均を上回る良好な結果を生んでいます。

また、新学習指導要領の全面実施なども踏まえ、さらに科学館学習の特色を生かした効果的な授業となるよう工夫、改良を重ねていきます。

(3) 生涯学習事業

① 事業概要

子どもから大人まで幅広く市民を対象として、実験教室や工作教室、イベント、企画展等を開催し、新たな発見やものづくりでの感動を共有していくことで、科学技術に関する知識や技術の向上をめざし、本市の人材育成につなげています。

実験教室や工作教室では、休日等を中心に気軽に参加できる自由参加教室や内容が少し高度で時間をかけて取り組める事前応募教室、また、常設の展示にはない個別のテーマの企画展、研究者の講演会の開催など、できるだけ多くの市民に科学の魅力に触れてもらおうと幅広く事業を展開しています。

② 今年度の実施状況

各種教室やイベントを週末や夏季休業期間等を中心に、125種類、約1,400回開催し、延べ3万4千人余りの参加がありました。また企画展については、年間を通じて16種類開催しました。

毎年恒例となっている「科学の祭典」「サイエンスショー」などは、多くの市民から期待が集まっており、平成23年度も多く参加者でにぎわいました。



○各種教室等の実施状況

| 分類 | 種類 | 回数 | 人数 |
|--------------|----|-----|-------|
| サイエンスショー | 10 | 67 | 3,223 |
| チャレンジ実験教室 | 15 | 189 | 2,552 |
| チャレンジものづくり教室 | 27 | 300 | 9,795 |
| チャレンジ木工教室 | 12 | 92 | 2,663 |
| なるほど実験教室 | 2 | 3 | 17 |
| レベルアップ☆サイエンス | 12 | 41 | 266 |
| なるほどものづくり教室 | 4 | 8 | 65 |
| 科学技術工作教室 | 2 | 11 | 193 |
| 自然・環境教室 | 12 | 27 | 1,025 |
| なるほど木工教室 | 6 | 14 | 82 |
| 木工創作教室 | — | 15 | 189 |
| 子ども天文クラブ | — | 8 | 123 |
| 子ども科学学園 | 8 | 16 | 142 |
| 地域団体かがく教室 | 6 | 15 | 415 |
| 出雲少年少女発明クラブ | — | 24 | 299 |
| わくわく広場 | 9 | 32 | 1,495 |
| プラネタリウム | — | 320 | 5,409 |
| 3D映画 | — | 221 | 6,732 |

○イベント、企画展の開催状況

| | イベント名 | 開催時期 |
|------|--|---|
| 企画展等 | 光と芸術の科学 万華鏡展 | 平成23年4月16日～5月15日 |
| | 科学でわっしょい！！祭エンス | 平成23年5月3日～5日、7日、8日 |
| | 消化管のはたらき ～食べものがうんちに変身！～ | 平成23年6月11日～7月18日 |
| | 天体写真展 | 平成23年6月27日～10月23日 |
| | 出雲市小中学生科学グランプリ前年度 優秀作品展 | 平成23年7月9日～8月15日 |
| | 青少年のための科学の祭典 2011 島根 大会 | 平成23年7月30日、31日 |
| | 木っていいね♪ 木のおもちゃで遊ぼう | 平成23年7月20日～28日 |
| | Sports Science Festa ～からだで感じるスポーツと科学～ | 平成23年8月6日～9月11日 |
| | スサノオマジックに「科学」で挑 戦！！ | 平成23年8月6日 |
| | アイデアロボットクラブ | 平成23年8月19日～28日 |
| | 平成23年度出雲市科学作品展・出雲 市小中学生科学グランプリ | 平成23年9月23日～10月2日 |
| | くらしの中のコンピュータ ～テレビゲームの気になる中身～ | 平成23年10月8日～11月13日 |
| | おもしろ！ビックリ！ サイエンスショー | 平成23年12月3日、4日、10日、11日、 17日、18日、24日、25日 |
| | 開運！科学で初遊び2012 | 平成24年1月4日～9日 |
| | 絵本キャラバン ～よもう ふれよう かがくの世界～ | 平成24年2月18日～3月11日 |
| | ゴム・ワン グランプリ in 出雲科学館 | 平成24年3月25日 |

③ 事業効果および今後の展開

様々な分野に及ぶ各種教室や企画展の参加者にアンケートをとったところ、その内容が「とても良かった。」「良かった。」との回答が98%ありました。このように市民を対象とした生涯学習事業も高く評価されていますが、今後も常に新しい視点からより興味、関心を持って参加してもらえるよう事業運営の効率化を図るとともに、工夫、改善を図っていきます。

(4) 教員研修事業

① 事業概要

科学館を市内の教員の理科学習教材の研究・開発の場として開放し、指導力の向上、楽しく、わかりやすい理科授業のための教材作成支援や資料・情報の提供を行っています。また、これらの具体的な項目をテーマとして、実技や実習をまじえた研修会を開催し、教員の資質向上を図っています。

② 平成23年度の実施状況と今後の展開

新学習指導要領に対応するための教材活用に関する実技研修として、出雲市理科教育研究会理科部会長が推薦した大学の教員を講師として招き、8月9日に小・中学校教員を対象とした「電気の単元の教材・教具作りと実験」という内容の研修を行い、32名の参加がありました。

この研修において、地球エネルギーとして地震・津波・放射線などに関する講話と放射線測定器を使った自然放射線の測定を行い、理科教育教材に対する理解を深めるとともに、指導力の向上が図られるものと考えます。

この他、社会貢献活動体験研修として15名の教職初任者を受入れるとともに、1年間にわたる長期社会体験研修として1名を受け入れました。

このような具体的な教員研修は、科学教育での指導力向上に大きな効果が期待できるものとして、今後も引き続き実施していきます。



13. 学校給食の充実

食への関心が高まる中、学校給食の果たすべき役割は極めて重要となっています。「安全でおいしい給食」を提供することを基本に、栄養バランスがとれた給食の提供に努め、園児児童生徒一人一人が「食」と「健康」について考え、行動していく力を養う「生きる力を育む給食」づくりに取り組みました。



(1) 学校給食運営状況

学校給食の運営は、学校・家庭をはじめ、学校給食センター、市、学校給食会など様々な機関が連携・協働して行い、7つの共同調理場（給食センター：合併前の旧市町単位に設置）において、幼稚園、小学校、中学校の約18,000人の園児児童生徒に給食を提供しています。

① 給食実施の状況

単位：食

| 給食実施校 | | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|---------------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 給食実施数 (延べ) | 小学校(40校) | 1,884,315 | 1,691,476 | 1,675,481 |
| | 中学校(15校) | 866,483 | 786,378 | 800,397 |
| | 幼稚園(29園) | 258,939 | 238,702 | 241,947 |
| | 総計(A) | 3,009,737 | 2,716,556 | 2,717,825 |

※学校数は、平成23年4月1日現在：斐川地域を含みます。

※平成23年度給食数には、斐川給食センターの合併後10月1日以降分を加えています。

② 事業経費状況

○事業経費（決算額）

単位：千円

| 事業費区分 | | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|--------------------|--------------------------|---------|---------|---------|
| 光熱水費(油、上下水道、ガス、電気) | | 86,485 | 70,961 | 66,720 |
| 需用費(洗剤等業務消耗品費) | | 24,038 | 18,781 | 26,528 |
| 委託料 | 給食会委託料 (佐田・大社・湖陵センター) | 71,048 | 70,398 | 68,860 |
| | 施設管理等委託料 | 23,460 | 19,799 | 19,659 |
| | 配送業務委託料 | 87,137 | 83,037 | 83,823 |
| 施設修繕費(工事請負含む) | | 5,959 | 5,871 | 6,002 |
| 厨房備品(更新)費 | | 2,337 | 6,724 | 6,565 |
| 人件費 | 職員人件費 | 214,098 | 182,127 | 174,826 |
| | 嘱託・臨時職員人件費 | 99,796 | 90,937 | 84,656 |
| その他(役務費、使用料、負担金等) | | 25,395 | 12,960 | 12,773 |
| 総計(B) | | 639,753 | 558,608 | 564,886 |

○給食一食当たり経費[B÷A、食材費は含みません。]

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 一食当たり経費 | 213円 | 206円 | 208円 |

③ 学校給食費の状況

保護者には、学校の教材費と同じように、給食の食材購入に関わる経費（費用）のみを、「学校給食費」として負担いただいています。なお、調理設備の違いや食材の購入量の違いにより、給食センターごとに給食費単価が異なります。

○給食センター別一食当たり給食費(平成24年3月末現在)

単位:円

| | 出雲 | 平田 | 佐田 | 多伎 | 湖陵 | 大社 | 斐川 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 小学校 | 245 | 273 | 244 | 247 | 249 | 278 | 278 |
| 中学校 | 297 | 330 | 299 | 303 | 305 | 337 | 343 |
| 幼稚園 | 221 | 240 | — | 211 | 217 | 235 | 224 |

○給食費収納状況

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成20年度 |
|---------------|--------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| 給食費調定額A | 885,567,042円 | 891,264,423円 | 892,218,725円 | 904,601,334円 |
| 給食費未納額B | 3,373,444円 | 3,583,546円 | 3,028,144円 | 2,838,614円 |
| 未納率 B/A | 0.38% | 0.40% | 0.34% | 0.31% |
| 滞納残額 (未納率) | — | 2,031,401円 (0.23%) | 1,198,861円 (0.13%) | 348,072円 (0.04%) |

※給食費未納額は、翌年5月末現在、滞納残額・未収率(%)は、平成24年3月末現在。

給食費の収納は、各学校・園において保護者口座振替を基本として行っています。平成19年度には、「学校給食費収納事務連絡会」を設置し、学校給食費の未納対策の検討を行い、平成20年度から次のような取組を進め、収納強化を図っています。

○収納強化対策

- ア 未納を発生させない取組として「給食費のしくみ」啓発パンフレットを保護者に配付しました。
- イ 未納が発生した場合の取組として、きめ細やかな督促・催告を行うとともに、学校内での未納者への組織的対応(徴収強化月間の設定、未納者情報の共有化等)の強化を図りました。
- ウ 教育委員会での収納対策支援として、学校で徴収が困難な案件(卒業生や再三の督促に応じない者等)について、法的措置も視野に入れながら戸別訪問徴収を行いました。

④ 安全・衛生管理対策

国の「学校給食衛生管理の基準」、「大量調理の衛生管理マニュアル」を基本とし、次の安全・衛生管理対策を図りました。

ア 給食従事者(調理員等)の健康管理及び衛生管理

- ・毎日の健康状態点検と月2回の検便を実施しました。また、ノーウォーク(いわゆる「ノロ」)ウィルス食中毒防止策として、平成19年度に策定した「ノーウォークウィルス発生時初動対応マニュアル」により、日常的な従事者の健康管理を徹底しました。
- ・さらに、保健所職員を講師に招き、「衛生管理研修会」を調理職員や食納入業者を対象に実施しました。

イ 食の安全・安心対策

- ・給食食材は、鮮度のよい食品選定に努めるとともに、過度で不必要な添加物(着色料や保存料など)が入った食品や、遺伝子組み換え食品は使用しないこととしています。
- ・牛肉は、島根産牛のみを使用し、島根県食肉公社等の発行の「牛海綿状脳症(BSE)検査成績証明書」「牛肉の放射性物質検査結果証明書」の義務付けや、鳥インフルエンザ対策として「産地証明書」の添付を納入業者へ徹底しました。
- ・中国製ギョーザ事件に伴い、中国製調理済加工食品の使用自粛と外国産食材の使用にあたっては、納入業者に対し、残留農薬確認証明書等の提出の義務付けをしました。
- ・食中毒防止と給食作業管理の観点から、定期的に食材細菌検査(大腸菌等)を実施しました。

○安全衛生管理活動の状況

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 食材細菌検体数 | 144 | 122 | 89 |

(2) 学校給食による食育の推進

「食育基本法」や「出雲市食育のまちづくり条例」が制定され、食育に関する施策が推進されるなか、学校教育における食育は重要となっており、「出雲市食育のまちづくり推進計画」に基づき、学校給食における食育推進事業に取り組んでいます。

平成19年度から配置された栄養教諭は、食に関する指導計画の策定、教職員や家庭・地域との連携調整など中核的な役割を担い、各給食センターに配属された学校栄養士とともに、給食を生きた教材として活用しながら、栄養バランス、食事のマナー、感謝する心、食文化の伝承など、総合的な食の教育に取り組みました。



① 栄養教諭及び学校栄養士配置状況

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|----------|------------------------------|---------------------------|---------------------|
| 栄養教諭配置数 | 9人（出雲・平田・湖陵・大社・佐田・多伎・斐川センター） | 9人（出雲・平田・湖陵・大社・佐田・多伎センター） | 6人（出雲・湖陵・大社・佐田センター） |
| 学校栄養士配置数 | 5人 | 2人 | 5人 |

※栄養教諭は、各給食センターの給食管理業務を兼務します。

② 食に関する指導

「食の学習ノート」を活用し、児童生徒の望ましい食習慣の確立、食生活の改善をめざし、学級活動等における食の指導を計画的に実施しました。

また、学校・家庭と連携した取組として、親子を対象に、学校給食をアレンジしたメニューの調理教室「いずもスクールランチクッキング」を夏休みや冬休みに開催し、出雲の食材を使って親子のふれあいを深めながら、食への興味関心を高め、家庭生活に生かせる体験学習に取り組みました。

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 食指導延回数（学校） | 1, 825回 | 1, 316回 | 1, 240回 |
| 食の指導回数（地域） | 44回 | 32回 | 61回 |
| 調理教室参加者数 | 151人 | 144人 | 169人 |
| 残菜全量（残菜率） | 110 t（7.0%） | 103 t（7.3%） | 108 t（7.6%） |

③ いずも給食weekの実施

学校給食への理解と地元食材の利用や栄養バランス等、家庭での食生活を考える機会を提供することを目的に、「食育月間」（6月）及び「食育の日」（毎月19日）に合わせ、特に6月13日からの1週間は「いずも給食week」と定め、市民を対象とした学校給食試食会などを開催し、食育の推進に取り組みました。

また、日常的には、PTA保護者等を対象とした給食試食会や給食センター施設見学会を実施し、給食への理解を深めるとともに給食情報の発信に努めました。

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 給食Week 試食会参加者数 | 159人 | 169人 | 176人 |
| 給食試食会（回・人数） | 124回・3,279人 | 144回・3,763人 | 111回・2,852人 |

④ 地産地消の推進

学校給食は、安全・安心な食材確保のため、地元産の旬な食材を優先的に使用する「地産地消」の取組を進めています。

特に、出雲地域の旬な食材・特産品を使用した「おいしい出雲の一日」献立を、毎月、全市一斉に実施しました。

具体的には、5月「めのは」、6月「島根ぶどう」、7月「アムスメロン」、9月「出雲プルーン・赤梨」、10月「西浜いも」、11月「富有柿」、12月「出雲そば」、1月「ふるさとカレー」、2月「しじみ汁」、3月「あすっこ」など、季節や収穫量を考慮しながら、きめ細やかに献立に取り入れました。

○地元食材使用割合

| 区分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 米 | 100% | 100% | 100% |
| 野菜 | 54.6% | 40.4% | 42.8% |
| 全体 | 35.1% | 26.6% | 26.9% |

※「県食材仕入れ状況調査」6月・11月の第3週における地元産の食品使用数割合

(3) 食物アレルギー対応給食の推進

食物アレルギーを持つ園児児童生徒が年々増加傾向にあり、学校給食での対応を望む声が多くなっています。

出雲学校給食センターでは、平成16年3月の「出雲市食物アレルギー対応給食検討委員会」からの提言を踏まえ、使用頻度が高く、5大アレルゲンの筆頭である卵について、食物アレルギー対応給食を実施しました。

また、他のアレルゲンについては、給食献立のアレルゲンをチェックするため、事前にアレルギー対象調査で把握した家庭へ「アレルゲンチェック献立表」を配付しました。

他の給食センターでは、保護者の申請と医師診断書をもとに、アレルゲン除去食を中心とした対応給食の提供を行いました。また、牛乳については、医師診断書等にもとづき飲用中止による給食対応を図りました。

○アレルギー対応給食数(各年度4月現在)

| | 平成23年度 | 平成22年度 | 平成21年度 |
|-------------|--------|--------|--------|
| アレルギー対応給食人数 | 93人 | 65人 | 58人 |
| 牛乳中止者数 | 105人 | 74人 | 70人 |

(4) 今後の課題—学校給食センター再編の推進

安全で衛生的な給食づくりを推進するため、老朽化した2つの学校給食施設(大社・平田給食センター)の統廃合と、それに伴う給食対象校の再編、新しい学校給食施設建設や給食費の統一について、平成20年8月に「出雲市学校給食センター再編整備検討委員会報告書」としてとりまとめ、その報告提言を市の方針として次の取組を進めています。

①(新)平田学校給食センター建設事業(学校給食センター再編整備事業)

平田学校給食センター及び大社学校給食センターの老朽化に伴う、「新平田学校給食センター」(以下「新センター」という。)の建設については、平成23年7月に着工し、平成24年6月末の竣工を目途に建設工事を進めています。

新センターの稼働については、本年7月～8月にかけて厨房機器の操作研修や調理業務シミュレーション等を行いながら、平成24年8月30日(2学期)から給食業務を開始することとしています。

○新センター建設概要

- ・所在地 出雲市西郷町412番地1
- ・敷地面積 12,906㎡(緑地等含む)
- ・建物構造 鉄骨造一部2階建
- ・延床面積 2,259㎡

- ・給食調理能力 5,000食/日
- ・給食対象 幼稚園6園、小学校15校、中学校4校：計25校・園
給食数 4,471食/日 (H23.5.1現在：教職員含む)



② 給食会の統合と給食費の統一

各給食センターごとに組織されている学校給食会（学校・園、保護者、給食センター等で構成する任意団体）と各給食センターで異なる給食費については、新センター稼動にあわせ、組織統合を図り、給食費は、保護者負担が増加しないよう、出雲給食センター給食費を基本に統一を図るよう準備を進めています。

③ 地産地消の拡大

給食センター再編に伴い、給食物資購入組織（給食会）の一元化を図ることとしており、これに併せて、地場産農作物の利用拡大をさらに図るための物資購入体制の検討を進めていきます。

④ アレルギー対応給食の充実

各給食センターでアレルギー対応が異なっており、給食センター再編に併せてアレルギー対応給食の実施方法（実態調査及び判定会など）の統一を図っていきます。

14. 公民館の管理運営事務

斐川地域の社会教育等の拠点施設、住民の交流の場として、7地区に設置する公民館の管理運営を行いました。

(1) 公民館運営状況

① 平成23年度の運営体制

公民館の運営は、各地区の公民館ともに4名のスタッフを中心として、多数のボランティアの協力により運営しています。

| | | |
|-----|----|-----|
| 館長 | 1人 | 非常勤 |
| 主事 | 1人 | 常勤 |
| 主事補 | 1人 | 非常勤 |
| 警備員 | 1人 | 非常勤 |

② 事業経費状況

○運営経費（決算額）

単位：千円

| 事業費区分 | 平成23年度 | 備 考 |
|--------|--------|---------------|
| 人件費 | 3,626 | 館長、警備員 |
| 需用費 | 67 | 消防用消耗品費 |
| 役務費 | 412 | インターネット回線使用料等 |
| 使用料 | 103 | ケーブルテレビ利用料 |
| 負担金 | 3 | 県研究集会参加負担金 |
| 補助金 | 547 | 公民館協議会運営補助金 |
| 合計 (A) | 4,758 | |

○管理経費（決算額）

単位：千円

| 事業費区分 | 平成23年度 | 備 考 |
|----------|--------|------------|
| 需用費 | 2,456 | 光熱水費等 |
| 役務費 | 10 | 浄化槽法定点検手数料 |
| 委託料 | 341 | 浄化槽保守管理 |
| 合計 (B) | 2,807 | |
| 総計 (A+B) | 7,565 | |

※運営経費、管理経費ともに合併後（10月1日以降）の決算額を計上しています。

(2) 公民館の活動内容

生涯学習の推進やボランティア活動を通じて、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の向上、社会福祉の増進に寄与することをめざして様々な事業を実施しました。

- ① 各種教室・講座・クラブ活動の開催
- ② 花いっぱい運動（公民館周辺の美化活動）の推進

- ③ 女性部活動（文化・福祉・環境など）の実施
- ④ リサイクル活動の推進（リサイクルステーションの活用）
- ⑤ ボランティア活動の普及・定着（健康づくり活動・ミニディサービス事業等）
- ⑥ 青少年の健全育成活動の実施（安全パトロール等）

(3) コミュニティーセンターへの移行

平成25年度から斐川地域の公民館が、他の地域と同様にコミュニティーセンターに移行することに伴い、体制の整備を進めています。

Ⅱ. 幼稚園・小中学校における学校評価

1. 幼稚園における学校評価

幼稚園における学校評価は、平成23年度も、保護者アンケートを実施することなどにより点検・評価を行いました。これを活用し、幼稚園では、更に園児がより良い園生活を送ることができるよう、園運営の改善と充実をめざします。

評価項目の着眼点、達成・取組状況、課題については、次のとおりです。

※ 評価基準 4：十分達成している。 3：概ね達成している。
 2：改善を要する部分がある。 1：大いに改善を要する。
以下評価基準は共通

① 学年・学級経営

平均値3.3であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありませんでした。

【着眼点】

- ・各担任は、教育目標や園の特色を生かした学級経営を行い、定期的に評価しているか。

【達成及び取組状況】

- ・年度当初に教育目標を立て、期ごと・月ごと・週ごとに指導計画を立案し、定期的に考察、反省評価を行いながら保育に努めました。
- ・地域特性、地域人材を生かした特色ある学年、学級経営に取り組むとともに、幼稚園の特色を生かした保育に努めました。
- ・幼稚園の学級経営について、「園たより」や「クラスたより」などを利用して、保護者にもわかりやすく伝える工夫をしました。

【課題】

- ・学級経営案や指導案については、学級担任だけでなく、全職員での共通理解を図り、経験豊富な教諭がフォローアップできる体制をつくる必要があります。
- ・地域特性、地域人材の更なる発掘を行い、新しい地域の特色や園の特色を学年、学級経営に取り入れていく必要があります。

② 幼児理解

平均値3.4であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありませんでした。

【着眼点】

- ・教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育をしているか。

【達成及び取組状況】

- ・園内研究会や研修を行い、園児一人一人についての話し合いを持ち、園全体で共通理解を図り、指導にあたることで成果がありました。
- ・発達に応じた適切な支援計画を個々に作成するなど、課題を明確にし、具体的な援助を行いました。

【課題】

- ・誰が見ても、その子の様子がわかるような個人記録のとり方や整理の仕方について、工夫することが必要です。
- ・園での支援計画について、家庭でも活かせるよう、保護者との共通理解を図ることが必要です。

③ 特別支援教育

平均値 3.3 であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありませんでした。

【着眼点】

- ・特別な支援を必要とする園児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。
- ・特別な支援が必要な園児に対して、特別支援教育コーディネーターや幼稚園ヘルパーが、それぞれの役割を果たしているか。

【達成及び取組状況】

- ・特別支援教育コーディネーターを中心に、対象園児の障がいの状態や発達の状況等に応じて「子ども支援ファイル」などを作成し、適切な指導・支援を行いました。
- ・特別支援補助教諭や幼稚園ヘルパー等を配置し、担任との連携を図りながら、それぞれの園児にあったきめ細やかな指導を行うことにより、個々の成長がみられました。

【課題】

- ・専門的な機関との連携を密にしながら、特別支援に関する新たな専門的知識の習得に努め、教職員の更なるスキルアップを図っていく必要があります。

④ 人権・同和教育

平均値 3.2 であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありませんでした。

【着眼点】

- ・教職員は、園児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。

【達成及び取組み状況】

- ・日常的に園児の言動に注意をはらい、お互いの個性を認め尊重する気持ちを培う指導を行いました。

- ・動物の飼育や植物の栽培の当番活動を通して、生命尊重の芽生えを培うように努めました。
- ・同和教育指導員を招いての職員研修や小学校の授業研究などに積極的に参加し、人権同和教育に対する感覚を磨き、保育にあたりました。

【課題】

- ・保護者への人権、同和教育の啓発について働きかけの工夫が必要です。

⑤ 行事

平均値 3.6 であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありません。

【着眼点】

- ・教職員は、行事を園児の発達を促す機会と捉え、ねらいを明らかにしているか。

【達成及び取組状況】

- ・同じ行事でも、学年や発達の段階にあった、それぞれの「ねらい」を明確にして実施しました。
- ・参画型、体験型の行事に取り組むことにより、園児の自主性、感受性を高めることができました。

【課題】

- ・園の規模にあった行事の精選ややり方の工夫が必要です。
- ・行事を見据え、ねらいを持った指導計画を立案、日常の保育を行う工夫が必要です。

⑥ 保幼小連携

平均値 3.2 であり、「改善を要する部分がある。」とする園が 5 園ありました。

【着眼点】

- ・近隣の小学校等との連携を密にし、園児の健やかな成長や発達を支えているか。

【達成及び取組状況】

- ・校区内の保幼小で、一貫した教育目標を掲げた連携事業を実施しています。
- ・校区内に推進連絡会などを組織することで、保幼小間の情報交換や連携が図りやすくなり、活動の計画、実施、評価の流れがスムーズになりました。

【課題】

- ・単なる交流、その場限りのイベントにならないよう、工夫が必要です。
- ・保幼小一貫教育の推進についての理解を深めてもらうため、保護者への働きかけが必要です。

⑦ 自主企画特別事業

平均値 3.8 であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありませんでした。

【着眼点】

- ・幼稚園自主企画特別事業は、地域の特色を生かすとともに、園児の育ちを展望して企画・実施しているか。

【達成及び取組状況】

- ・各園において、教育方針や地域の特色を生かした事業を企画、実施しました。
- ・地域人材の発掘や地域教材の研究などを行い、地域の協力を得ながら事業を実施し、ふるさとを愛する心を育むことができました。

【課題】

- ・地域の資源を活かし、各園の特色を定着させるためには、清新な取組が必要です。
- ・事業内容がマンネリ化しないよう常に創意と工夫を行う必要があります。

⑧ 研究・研修

平均値 3. 1 であり、「改善を要する部分がある。」とする園が 1 園ありました。

【着眼点】

- ・職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研さんの場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。

【達成及び取組状況】

- ・計画的に指導者を招へいし、園内研究会などを開催するとともに、県や市が主催する研修会に積極的に参加し、自己研鑽を重ね、保育に生かすことができました。

【課題】

- ・保育園や小学校、他園と連携を図りながら園内研究会を開催するなど、研究に広がりが出るような工夫が必要です。

⑨ 情報の管理

平均値 3. 5 であり、「改善を要する部分がある。」とする園が 1 園ありました。

【着眼点】

- ・個人情報取扱いに留意し、幼児の情報を適切に収集・整理し、管理しているか。

【達成及び取組状況】

- ・守秘義務を遵守し、園児や保護者の情報など、適切な管理を行いました。
- ・USBメモリーなどの外部記憶媒体の管理簿を作成し、厳重管理を行うとともに、職員の情報管理意識を高めました。

【課題】

- ・緊急時の連絡網など、保護者間の情報管理の方法に工夫が必要です。

⑩ 危機管理

平均値 3.2 であり、「改善を要する部分がある。」とする園はありませんでした。

【着眼点】

- ・園の危機管理及び園児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。

【達成及び取組状況】

- ・全園で、避難訓練を行うとともに、日頃の安全・衛生管理を実施しました。
- ・インフルエンザの流行期における手洗いの励行やマスクの着用など、保護者とも連携をとりながら蔓延を防ぐ取組を行いました。
- ・子ども安全センターなどから専門のスタッフを要請して、不審者対応の訓練を行いました。
- ・全園で危機管理マニュアルを作成し、緊急時の体制や対応について、全職員が共通理解をしました。

【課題】

- ・危機管理マニュアルについて、職員だけでなく、保護者や地域の方にも、正しく理解してもらう機会を設けるなど、地域全体で園児を守っていく体制づくりが必要です。

⑪ 園地・園舎・遊具等の施設・整備

平均値 3.3 であり、「改善を要する部分がある。」とする園が 1 園ありました。

【着眼点】

- ・園地・園舎・遊具等の施設・設備を複数の目で定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。

【達成及び取組状況】

- ・すべての園において日常点検や定期的な安全点検が行われ、担当課への報告や対応など、安全で安心な教育環境整備のための必要な管理を行っています。
- ・遊具台帳を再整備していく中で、専門家による点検を行い、いつでも安心して使える状態にするよう心がけています。

【課題】

- ・園舎が老朽化しているため、園舎、園庭に対する保護者の満足度が低く、早急な施設整備が必要です。
- ・園児の生活や成長に必要な遊具を計画的に設置するとともに、十分な修繕費の確保が必要です。

なお、幼稚園における学校評価の評価項目及び評価の着眼点並びに各園から報告のあった自己評価の集計結果は、別紙のとおりです。

幼稚園における学校評価 評価項目と評価の着眼点

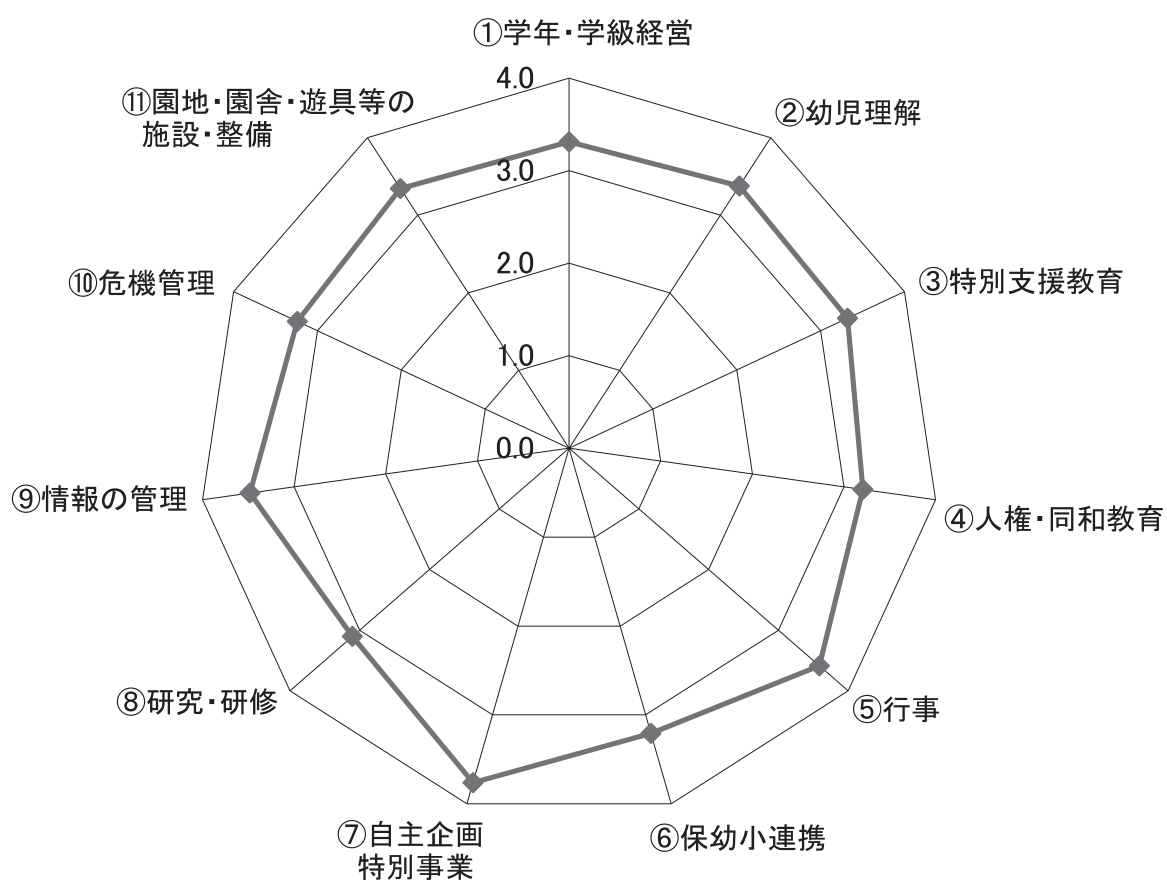
| 分野 | 評価項目 | 評価の着眼点 |
|-------------|------------------|--|
| 1 教育課程・指導 | ①学年・学級経営 | 各担任は、教育目標や園の特色を生かした学級経営を行い、定期的に評価しているか。 |
| | ②幼児理解 | 教師は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育をしているか。 |
| | ③特別支援教育 | 特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。 |
| | | 特別な支援が必要な幼児に対して、特別支援教育コーディネーターや幼稚園ヘルパーが、それぞれの役割を果たしているか。 |
| | ④人権・同和教育 | 教師は、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。 |
| | ⑤行事 | 教師は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、ねらいを明らかにしているか。 |
| | ⑥保幼小連携 | 近隣の小学校等との連携を密にし、幼児の健やかな成長や発達を支えているか。 |
| | ⑦自主企画特別事業 | 幼稚園自主企画特別事業は、地域の特色を生かすとともに、幼児の育ちを展望して企画・実施しているか。 |
| 2 研修 | ⑧研究・研修 | 職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。 |
| 3 組織運営 | ⑨情報の管理 | 個人情報の取扱いに留意し、幼児の情報を適切に収集・整理活用しているか。 |
| 4 安全管理・保健管理 | ⑩危機管理 | 園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全職員が理解し、適切な対応に努めているか。 |
| 5 教育環境整備 | ⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備 | 園地・園舎・遊具等の施設・設備を複数の目で定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。 |

平成23年度 幼稚園における学校評価最終報告

| 分野 | 評価項目 | 【評価基準】 4:十分達成している 3:概ね達成している 2:改善を要する部分がある 1:大いに改善を要する | | | | |
|-----------|----------------------|---|----|----|---|---|
| | | 平均 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 教育課程・指導 | ①学年・学級経営 | 3.3 | 9 | 20 | 0 | 0 |
| | ②幼児理解 | 3.4 | 11 | 18 | 0 | 0 |
| | ③特別支援教育 | 3.3 | 9 | 19 | 0 | 0 |
| | ④人権・同和教育 | 3.2 | 6 | 23 | 0 | 0 |
| | ⑤行事 | 3.6 | 17 | 12 | 0 | 0 |
| | ⑥保幼小連携 | 3.2 | 11 | 13 | 5 | 0 |
| | ⑦自主企画特別事業 | 3.8 | 19 | 6 | 0 | 0 |
| 研修 | ⑧研究・研修 | 3.1 | 4 | 24 | 1 | 0 |
| 組織運営 | ⑨情報の管理 | 3.5 | 15 | 13 | 1 | 0 |
| 安全管理・保健管理 | ⑩危機管理 | 3.2 | 7 | 22 | 0 | 0 |
| 教育環境整備 | ⑪園地・園舎・遊具等の 施設・整備 | 3.3 | 11 | 17 | 1 | 0 |

幼稚園数

平成23年度学校評価(幼稚園)



2. 小中学校における学校評価

全ての小中学校が共通で評価する項目について、大項目を5つ、中項目を6つ設定し、18の重点目標について評価することとし、地域学校運営理事会の理事に「学校関係者」として評価していただきました。

各校の学校関係者評価の状況を集約すると、「ふるさと学習」の推進、体験活動の充実、不登校児童生徒への支援、特別な支援を要する児童生徒への支援が高い評価でしたが、「地域学校運営ブロック協議会」の充実については、「概ね満足」という状況ではあるものの、「改善を要する」と回答した学校が6校ありました。

教育委員会としては各項目や重点目標について、課題を十分に整理、分析し、学校支援にあたってまいります。なお、学校評価の評価項目及び重点目標、学校関係者評価及び自己評価の集計結果は次のとおりです。（ ）内は学校による自己評価の集計結果です。

(1) 地域に開かれた信頼される学校づくりの創造

① 三者協働による教育の推進

○「地域学校運営理事会」の充実については、小学校平均値3.5（3.4）、中学校平均値3.0（3.1）であり、「改善を要する部分がある。」とする学校が1校ありました。

○「地域学校運営ブロック協議会」の充実については、小学校平均値2.9（2.9）、中学校平均値3.0（2.9）であり、「改善を要する部分がある。」とする学校が6校ありました。

※ 評価基準 4：十分満足 3：概ね満足
2：改善を要する部分がある。 1：大いに改善を要する。

以下評価基準は共通

(取組内容)

- ・各学校とも、地域学校運営理事会を年間数回程度、定期的で開催し、理事会の意見や提言を学校運営に生かしています。
- ・学校公開日やホームページ・学校だより等を活用し、理事や地域住民等に対して積極的に情報提供を行っています。

(成果)

- ・学校運営の基本方針に対して意見を述べたり、学校配当予算に関する協議によって「特別支援教育補助者」や「読書ヘルパー」の活動時間の増加を図る学校がみられるなど、理事の意見が学校運営に着実に取り入れられ、「開かれた学校運営」が展開されています。
- ・各理事会や、毎年開催している「理事長会」での意見を取り入れ、「学校評価」のあり方を改善しました。
- ・地域の行事等に理事が積極的に関わり、地域での児童生徒の活動の活性化が図られるようになりました。

- ・どの学校でも、児童生徒が地域で活動する機会が増し、地域住民とのふれあいが多くなってきました。

(課題)

- ・理事から出された「学校評価の方法」に関する意見の内容から、学校運営の状況を理事へ伝える方法に関して各学校のいっそうの工夫が必要です。
- ・地域学校運営理事会と地域学校運営ブロック協議会のあり方について、設置の趣旨を改めて確認することが必要です。

② 小中一貫教育の推進

- 「小中一貫教育の推進」については、小学校平均値3.1(3.1)、中学校平均値3.3(3.1)であり、「改善を要する部分がある。」とした学校が1校ありました。
- 「保幼小一貫教育の推進」は、小学校平均値3.4(3.3)(小学校のみ)であり、「改善を要する部分がある。」とした学校はありませんでした。

(取組内容)

各中学校区では、それぞれの「推進基本計画」に基づいた取組が進められており、具体的には次のようなものが挙げられています。

- ・同じ中学校に通うことになる小学生同士の交流活動
- ・行事等での小中学校の児童生徒交流活動
- ・中学校教員が小学校で授業等を行う取組
- ・小学校教員と中学校教員によるTTの授業
- ・配慮を要する児童生徒への小中一貫した個に応じた指導・支援
- ・「めざす子ども像」「一貫していく教育内容」についての共通理解

(成果)

- ・小中学校で相互に授業公開を実施したことにより、9年間を見通して中学校区内の子どもたちを育てるという意識が高まるとともに、教職員相互の連携を深めることができました。
- ・人権・同和教育や特別支援教育について、小・中学校の教職員合同で研修を深めたことは、発達段階に応じた指導や適切な支援につながりました。
- ・中学校教員が、小学生に授業を行ったり、講話したりしたことは、児童理解につながり、児童にとっても、中学校の授業スタイルを経験することで、中学進学への心構えを作るのに役立ちました。
- ・小中学校の交流活動を重ねたことで、中学生としての自覚と自信をもつとともに、児童の中学校生活に対する不安の軽減につながりました。

(課題)

- ・学力向上の取組において、指導の手立てのあり方の共有とその成果の検証について、年度始めに十分協議を進める必要があります。
- ・日々の小中の情報交換をより密にしていきながら、校区一体となって生徒指導を進めることが重要であるとした校区がありました。
- ・成果と課題を中学校区の教職員、保護者、地域と共有する工夫をさらに進めていく必要があります。

- ・活動をする際の日程調整、移動手段の確保など運営面について計画的に取り組んでいく必要があります。

③ 子どもと向き合う環境づくり

- 「学校事務の改善と共同実施」については、小学校平均値3.2(3.2)、中学校平均値3.3(3.1)であり、「十分満足」とする学校が17校、「概ね満足」とする学校が32校ありましたが、「改善を要する部分がある。」とする学校が2校ありました。「大いに改善を要する。」とした学校はありませんでした。

(取組内容)

- ・平成23年度、県教育委員会の「事務グループ活動の充実のための加配」事業により、市内4校(平成23年10月からは斐川地域を加え市内5校)に事務職員の加配が行われました。加配校の制度を最大限に活用し、学校訪問の機会を増やすなどして、経験の浅い事務職員等に対する支援や育成を積極的に行いました。
- ・事務職員に求められるものは、正確で迅速な事務処理はもとより、仕事の質を高め、教員等との同僚性を築き、学校経営機能を高めていこうとする意欲と資質の向上にあります。そのため、学校間、事務職員間連携によって情報と目標を共有する協働体制組織としての事務支援グループ活動を更に活性化させていきます。

(成果)

- ・市の学校事務支援活動が始まって以来、学校支援係への事務の移管や校内での教員から事務職員への事務の移行などによって、教員の事務負担は軽減されてきました。
- ・児童生徒に向き合う時間を確保するための教員の事務負担の軽減は、継続的な課題である一方、事務職員にとっては、担当業務領域の拡大とともに過重な負担増となっている実態があり、平成22年度以降は、単なる事務の移行ではなく、組織運営体制の見直しや校内事務のスリム化を検討し、改善していくように努めてきました。

(課題)

- ・市が取り組んでいる学校事務支援の活動の成果は、徐々に現れつつありますが、事務職員の世代交代の時期を迎え、新規採用事務職員への支援や育成が事務支援活動の大きなウエイトを占めるようになってきました。
- ・加配がないグループもあり、新規採用等経験の浅い事務職員に対する支援を行うため、6つのグループすべてへの加配の必要性があります。

(2) 一人一人に生きる力を育むための教育の推進

① 学校教育の充実

- 「学力向上の取組」については、小学校平均値3.4(3.1)、中学校平均値3.3(2.9)でした。

(取組内容)

- ・県学力調査結果から児童生徒の学力の実態を把握し、「確かな学力」の定着と向上に向けた取組を各学校が行っています。

- ・ウィークエンドスクール事業の展開、学習支援員やスクールヘルパーの配置、外国語指導助手や英語指導助手の学校派遣によって、学力向上の取組を展開してきました。

(成果)

- ・授業研究を通して、教師の授業力向上に努め、その成果が学力調査の結果にも表れているとした学校がありました。
- ・確かな学力向上策を学年ごとに策定したり、家庭学習の手引きを活用して学習習慣や生活習慣づくりを進めたりしています。
- ・学習支援員やヘルパー等による複数体制でのきめ細やかな指導が、児童生徒の学力向上に結び付いています。

(課題)

- ・学力向上のためには、学習規律を定着させる取組を更に進める必要があるとする学校があります。
- ・学習意欲の出る指導、学習の楽しさを味わわせるような指導の工夫を更にしていく必要があるとした学校があります。
- ・学力向上の取組を家庭も一緒になって行うよう、これまで以上に家庭や地域との連携が必要であるとする学校があります。

○「ふるさと学習の推進」については、小学校平均値3.7（3.5）、中学校平均値3.5（3.1）であり、「十分満足」とする学校が33校ありました。

(取組内容)

- ・心豊かでたくましい児童生徒の育成をめざして、地域の人々や自然とのふれあい、歴史・文化・産業に関する学習等、総合的な学習の推進事業を進めています。
- ・伝統芸能等、地域の教育資源を活かしたふるさと教育を実施しています。

(成果)

- ・地域のひと、もの、ことに関心が高まり、郷土の良さを発見し、郷土への愛着心が育っています。
- ・生活科や総合的な学習、社会科の中で、地域の産業や伝統文化など学年に応じた内容で積極的な取組が見られました。
- ・児童生徒が、地域に残される詳細な文化を調べる際には、情報が溢れるインターネットでも検索できないことがあることを知り、実際に現地を訪ね、地元の人々に話を聞くなど苦労しましたが、そのことが地域の人々とのふれあいにつながりました。

(課題)

- ・体験活動の内容や方法、回数を再検討し、より効果的に学習できるよう工夫することが必要とする学校がありました。
- ・教員と地域の人との交流を深め、地域の特性を知る機会をさらに増やし指導に役立てることが必要だとする学校もありました。

○「体験的活動の充実」については、小学校平均値3.6（3.4）、中学校平均値3.6（3.3）であり、「十分満足」とした学校が33校ありました。

(取組内容)

- ・地域の教育資源を活かした体験学習や集団宿泊学習の充実を図る総合的な学習の推進事業を進めています。
- ・各学校においては、地域の教育資源を活かしたふるさと教育、市内の事業所の協力による中学校の職場体験学習など、多様な体験学習を実施しています。

(成果)

- ・体験活動をとおして、知識はもちろんのこと心の面でも豊かなものが育まれています。
- ・学校外の人と触れ合うことが、視野を広げ、学校生活の活性化に生かされています。また、教室の学習では学べない集団のルールなど多くのことを学ぶことができました。

(課題)

- ・体験したことを活用し、学習したことを広く発信していくとよいとした学校がありました。

○「部活動ガイドラインによる実施」については、小学校平均値3.3(3.2)、中学校平均値3.3(3.2)であり、小学校の10校、中学校の4校が「十分満足」の評価でした。

(取組内容)

- ・「中学校における部活動ガイドライン」「小学校における課外活動(体育・音楽)の基本的な考え方」に沿った部活動等の経営案を作成し、児童生徒の実態にあった部活動等を実施しました。

(成果)

- ・部活動ガイドラインに沿った活動を進めようという意識が、各学校に見られました。
- ・部活動を充実させるために主顧問を中心に副顧問も積極的にかかわり、学校全体で支える体制づくりが進んでいます。

(課題)

- ・今後校内指導体制が整わない状況も考えられるため、地域の教育力を活用していくことも考えていく必要があるとする学校がありました。

○「読書活動の推進」については、小学校平均値3.4(3.1)、中学校平均値3.5(3.1)でした。

(取組内容)

- ・「読書ヘルパー」を配置し、図書担当教員、図書館ボランティアと協力して、図書室へ入りやすい環境づくりと、読書意欲の向上を図りました。また、10月に合併した斐川地域には、引き続き学校図書館司書を配置しました。
- ・読書ヘルパーと児童生徒の委員会活動との連携により、図書室だよりの発行や図書室の整理、お勧め本の紹介などを行いました。
- ・蔵書管理と貸出し業務のパソコン処理を導入したり、読書ヘルパーとの連携による朝読書の実施や、定期的な図書室だよりを発行したりしました。

- ・学校図書館司書は、調べ学習で使用する図書の選定・収集など、授業の支援も行いました。

(成果)

- ・ほとんどの学校で、児童生徒の来館が多くなり、読む本の幅が広がりました。これに伴い、貸し出し冊数も増加傾向にあります。貸出冊数は小学校で約3万7千500冊、中学校で5万4千000冊でした。
- ・授業で図書館を利用した調べ学習を多くの学校で行いました。

(課題)

- ・児童生徒数と比較して図書室が狭く、蔵書数が少ないという学校があり、引続き図書館整備費の確保に努めていきます。
- ・学校図書館担当職員の配置に係る地方財政措置の実施を活用し、読書ヘルパー配置の拡充を検討します。

(3) 児童生徒一人一人を大切にす教育の推進

①児童生徒支援体制の充実・強化

- 「人権・同和教育の推進」については、小学校平均値3.3(3.2)、中学校平均値3.2(3.1)でした。

(取組内容)

- ・「校内の推進体制の確立」、「進路保障の取組」、「同和教育を基底に据えた教育活動の徹底」、「同和問題学習・人権学習の充実」を重点に掲げ、全ての小中学校において、人権・同和教育を学校経営の重点に位置づけ全校体制で推進しました。

(成果)

- ・人権同和教育主任と特別支援コーディネーターや研究部が連携し、分かる授業づくりやTT指導によるきめ細やかな支援、困り感のある児童・生徒への個別支援など一人一人に応じた支援を中心にした進路保障を実践することができました。
- ・人権・同和教育について保幼小中の連携ができていて、一人一人を大切にす授業などの体制づくりや「同和問題学習小中一貫カリキュラム」に基づいて授業が行われました。
- ・全職員体制で同和問題学習についての研修を行い、理解を深めることができました。

(課題)

- ・普段の生活の中でのいろいろな課題をとおして、同和教育をすべての教育活動の基底に据えた取組をさらに徹底・強化することが大切です。
- ・自尊感情を高めるための取組が必要です。
- ・教職員の人権意識を高める研修を継続するとともに、学校の取組を保護者・地域へ情報発信し、社会人権・同和教育との連携をさらに深める必要があります。
- ・同和問題の現存認識と、同和問題学習の進め方についての職員研修が更に必要です。

- 「支えあう集団づくりの推進」については、小学校平均値3.3(3.2)、中学校平均値3.4(3.0)でした。

- 「児童生徒理解と支援体制の構築」については、小学校平均値3.2(3.1)、中学校平均値3.3(3.1)でした。「十分満足」が13校あったのに対して、「改善を要する部分がある。」とした学校が1校ありました。
- 「不登校児童生徒への支援」については、小学校平均値3.5(3.3)、中学校平均値3.2(3.2)であり、「十分満足」が21校あったのに対して、「改善を要する部分がある。」とした学校が2校ありました。

(取組内容)

- ・すべての小・中学校において、フレンドシップ事業の趣旨を生かして児童生徒が自分たちの問題を自ら考え、話し合い、課題を解決することにより、望ましい仲間づくりや集団づくりの取組が行われました。
- ・児童生徒の悩みや不安の解消に向けて、児童生徒一人一人の実態に応じた支援を行うため、校内支援体制の充実とともに、「すずらん教室」、「光人塾」、「コスモス教室」や不登校対策指導員、児童生徒支援調整員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員等を積極的に活用し、連携をとりながら支援を実施しています。

(成果)

- ・児童生徒支援調整員、スクールソーシャルワーカー等が学校の窓口となって、綿密に連絡を取り合うことによって、不登校及び不登校傾向児童生徒の実態を把握し、見立てをすることができました。児童生徒や保護者、学校の希望や願いを受け止め、児童生徒を「すずらん教室」、「光人塾」、「コスモス教室」等の支援機関へ適切につなぐことができました。
- ・学校によっては、アンケートQ Uを積極的に活用し、心配な児童生徒への細やかな声かけやよりよい人間関係づくりを行い、不登校の未然防止に努め、効果がみられた取組がありました。

(課題)

- ・不登校への対応については、校内組織を活用し、全校体制で取り組むことと、外部関係機関と連携を図ることで、担任や担当だけで抱え込まない体制づくりが必要です。しかしながら、校内不登校対応組織やスクールカウンセラー、適応指導教室等に、対応を任せきりにすることは問題です。今後も不登校を生まないための効果的な取組や不登校児童生徒に対するきめ細かな支援について、検討する必要があります。

- 「特別な支援を要する児童生徒への支援」については、小学校平均値3.5(3.2)、中学校平均値3.2(3.1)であり、「十分満足」が24校であるのに対し、「改善を要する部分がある。」とした学校が3校ありました。

(取組内容)

- ・各学校における特別な支援を要する児童生徒への支援として、特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制を確立し、個別の指導計画や個別の教育支援計画、移行支援計画を策定するなど、一人一人の実態に応じた支援を行うとともに、保護者や関係機関との連携を密に図り、よりよい支援に結びつける取組をしてきました。

(成果)

- ・多くの学校で校内支援会議を実施し、支援を必要とする児童生徒の実態を共通理解するとともに、全職員で具体的な支援について話し合い、支援体制を構築することができました。
- ・特別支援教育補助者等を有効に活用し、支援が必要な児童生徒の学習に対する意欲を引き出したり、個に応じて落ち着いて学校生活を送ることができるようサポートしたりすることができました。
- ・「わくわく相談会」（巡回相談）を活用したり、医療や福祉等の関係機関と連携を図ったりするなど、専門的なアドバイスを得ながら支援することができました。
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、一人一人の実態に応じた支援・指導を行う学校が増加しました。

(課題)

- ・特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、障がいの重複化・多様化・重度化傾向もみられるので、医療や福祉、保健、児童相談所等との連携をいっそう深めていく必要があります。
- ・「出雲市子ども支援ファイル」の活用を推進し、保育所（園）・幼稚園と小学校のつながり、小学校と中学校のつながりなど、長期的な視野に立った支援を図ることが必要です。

- 「『生命を考える教育』の集中期間の取組」については、小学校平均値3.4（3.2）、中学校平均値3.4（3.3）であり、「十分満足」が14校であるのに対し、「改善を要する部分がある。」とした学校はありませんでした。

(取組内容)

- ・6月、7月及び11月を「生命(いのち)を考える教育」の集中月間とし、保護者や地域住民も参加して市内の小中学校が一斉に、その取組を進めました。具体的には、生命(いのち)の尊さ・人権尊重などをテーマに道徳の授業や意見発表会などを集中して行いました。
- ・生命の大切さについての学習として、性に関する指導について学習公開したり、保健だよりなどで保護者への情報発信をしたりした学校もありました。
- ・児童生徒による全校集会やPTA主催やコミュニティセンターとの共催での研修会も行われ、地域や保護者とともに「生命を考える教育」が行われました。

(成果)

- ・各学年で、道徳や学級活動、各教科等をとおして生命の大切さについてこれまで以上に真剣に考えることができました。
- ・バースディプロジェクトや二分の一成人式といった活動をとおして、児童と保護者が共に生命の大切さを再確認することができました。

(課題)

- ・日々の児童の言動を見ると、自他の生命を大切にせる教育は、まだまだ進めていかなければならないとする学校もありました。

- ・今後も継続的に、いろいろな形、活動で、生命を考える場をより多く体験させていくことが必要です。

(4) 安全・安心な学校づくり

① 危機管理体制の強化

- 「学校保健計画・学校安全計画・危機管理マニュアルの作成と訓練等の実施」については、小学校平均値3.3（3.1）、中学校平均値2.9（3.0）でした。
- 「施設・設備の安全維持管理」については、小学校平均値3.2（3.1）、中学校平均値3.1（3.1）でした。

(取組内容)

- ・安全で安心な学校づくりのために、全ての学校で避難訓練や防犯訓練を計画的に実施するとともに、それぞれの施設・設備の安全維持管理のための点検を計画的に実施しています。

(成果)

- ・全ての学校において、避難訓練や防犯訓練は年間を通して計画的に実施しており、子ども安全センターや警察・消防等の関係機関との連携の強化が図られました。
- ・小学校を中心に、保護者と連携した「子どもの引渡し訓練」の実施などにより、保護者の防犯意識の高まりがありました。

(課題)

- ・掲示板を整え、掲示物を工夫するなど、児童生徒の理解につながる環境づくりを進めていく必要を認識している学校があります。

出雲市の教育施策における重点目標にかかわる「評価の着眼点」

※ここに示した「評価の着眼点」は、出雲市の教育施策における重点目標にかかわり、各校で取り組むべき標準的な内容です。この「評価の着眼点」をもとに、それぞれの学校の実態に応じた着眼点を設定していきます。

| 評価項目 | 重点目標 | 評価の着眼点 |
|-------------------------|----------------|---|
| 1 地域に開かれ信頼される学校づくりの創造 | 二者協働による教育の推進 | 地域学校運営理事会を定期的に開催し、意見や提言を学校運営に生かしているか。 学校公開日等の定期的な開催やホームページの開設・更新、学校だより等の発行により、情報提供を積極的にしているか。 日頃からコミュニティセンターなど関係機関・団体等との連携に努め、相互の支援体制を整えているか。 地域や家庭と連携し、望ましい生活習慣や生活リズムの確立を図るなど、地域ぐるみの取組を推進しているか。 地域支援ボランティアとして地域の人材を活用し、協力・支援を得ながら教育活動を行っているか。 地域コーディネーターの活用やコミュニティセンターとの連携により、地域人材の発掘・活用が進められているか。 |
| | 小中一貫教育の推進 | 全教職員が参画する推進組織を構築し、年間計画に基づき、研究・研修活動を実施しているか。 小中一貫を見通した教育活動が計画的に行われているか。 保幼小一貫を見通した教育活動が計画的に行われているか。 |
| 2 一人一人に生きる力を育むための教育の推進 | 学校事務の改善と共同実施 | 学校事務処理体制を整え、より効率化を図ることで、教員の児童生徒に向き合う時間の確保につながったか。 指導計画に基づいて、授業時数の確保ができているか。 学力調査等の結果をふまえ、自校の課題を明確にしているか。 学力向上のための授業改善を図っているか。 学力向上のための補充的個別指導を計画的に実施しているか。 児童生徒の意欲を高めるよう工夫した授業実践をしているか。 ふるさとに対する愛着と誇りを育むため、地域の特色を生かしたふるさと学習を推進しているか。 地域の教育資源を生かした特色ある教育活動を実践しているか。 職場体験学習や集団宿泊研修など、体験的な学習が行われているか。 様々な生き方や考え方に触れたり、自分の将来の夢や生き方を考えたりすることができる授業が行われているか。 |
| | 学校教育の充実 | 「中学校における部活動ガイドライン」「小学校における課外活動(体育・音楽)の基本的な考え方」に沿った部活動経営案を作成し、児童生徒の立場に立った有意義な部活動を展開しているか。 読書ヘルパー、図書館ボランティアの協力を得ながら、児童生徒が活用しやすい学校図書館づくりを行っているか。 公立図書館の活用、読書ボランティアの協力などにより読書活動の推進を図っているか。 人権・同和教育推進体制が確立し、機能しているか。 進路保障の取組が、全校体制で推進されているか。 同和問題学習をはじめとし、女性・子ども・高齢者・障がい者等の人権課題に関する学習が実践されているか。 フレンドシップ事業をはじめ、児童生徒が互いに支え合う(認め合う)集団づくりがなされているか。 困難な条件下にある児童生徒を中心に据えた取組が、実践されているか。 生徒指導体制が整備され、組織として効果的に機能しているか。 自己有用感(存在感、自己肯定感、自尊感情)を高める取組など、共感的な指導を行っているか。 家庭・関係機関と連携し、児童生徒の実態に応じた支援を行っているか。 不登校、悩みや不安の解消など、児童生徒一人一人の実態に応じた支援を行っているか。 保護者・関係機関及び異校種間等との連携を図った生徒指導を行っているか。 校内支援体制が確立し、有効に機能しているか。 個別の支援計画に基づき、一人一人のニーズに応じた支援ができていくか。 関係機関等と適切に連携を図り、よりよい支援に生かすことができているか。 生命(いのち)の尊さ・人権尊重をテーマとした活動を行っているか。 保護者や地域に取組を知らせ、児童生徒と共に考えてもらえるような働きかけを行っているか。 |
| 3 児童生徒一人一人を大切にしている教育の推進 | 児童生徒支援体制の充実・強化 | 学校保健計画・学校安全計画が整備され、計画的に実施されているか。 危機管理マニュアルは適宜見直し、教職員に周知・徹底されているか。 教職員一人一人が組織の一員として危機管理意識を高めることができているか。 防犯訓練、災害避難訓練等を実施し、安全意識や危機回避能力が高められているか。 施設・設備の安全維持管理のための点検を計画的に実施し、必要な改善を図っているか。 施設・設備・備品等は適正に管理され、有効活用されているか。 |
| | 危機管理体制の強化 | 学校保健計画・学校安全計画が整備され、計画的に実施されているか。 危機管理マニュアルは適宜見直し、教職員に周知・徹底されているか。 教職員一人一人が組織の一員として危機管理意識を高めることができているか。 防犯訓練、災害避難訓練等を実施し、安全意識や危機回避能力が高められているか。 施設・設備の安全維持管理のための点検を計画的に実施し、必要な改善を図っているか。 施設・設備・備品等は適正に管理され、有効活用されているか。 |
| 4 安全・安心な学校づくり | 施設・設備の安全維持管理 | 施設・設備の安全維持管理のための点検を計画的に実施し、必要な改善を図っているか。 施設・設備・備品等は適正に管理され、有効活用されているか。 |

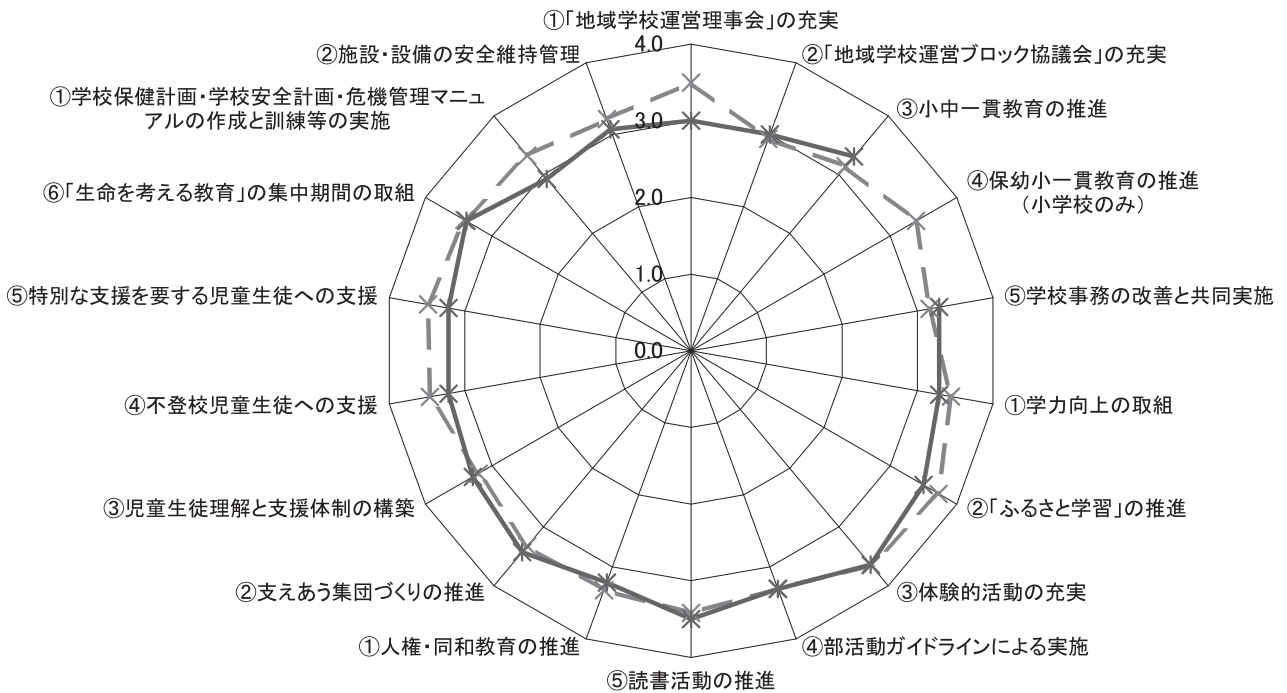
平成23年度学校評価(学校関係者評価集計)

| 評価項目 | | 【評価基準】 | 4:十分満足 2:改善を要する部分がある | | | | 3:概ね満足 1:大いに改善を要する | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------|--|-------------------------|-----|---------|-----|-----------------------|----|---|---|----------------|---|----|----|----|---|--|--|--|
| | | 重点目標 | 自己評価平均 | | 関係者評価平均 | | 小学校 (関係者評価) | | | | 中学校 (関係者評価) | | | | | | | | |
| | | | 小 | 中 | 小 | 中 | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | | 出雲市の教育施策にかかわる 取組みにおける重点目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 地域学校に開 づく かけ つな ぎの 創造 され る | (1)三者協働による 教育の推進 | ①「地域学校運営理事会」の充実 | 3.4 | 3.1 | 3.5 | 3.0 | 18 | 18 | | | | | 12 | 1 | | | | | |
| | | ②「地域学校運営ブロック協議会」の充実 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | 3 | 28 | 5 | | | | | 1 | 11 | 1 | | | |
| | (2)小中一貫教育 の推進 | ③小中一貫教育の推進 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.3 | 6 | 29 | 1 | | | | | 4 | 9 | | | | |
| | | ④保幼小一貫教育の推進 (小学校のみ) | 3.3 | | 3.4 | | 14 | 22 | | | | | | | | | | | |
| | (3)子どもと向き合う 環境づくり | ⑤学校事務の改善と共同実施 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 13 | 22 | 2 | | | | | 4 | 10 | | | | |
| 2 一人一人に生 きる力 を 推 進 | (1)学校教育の充実 | ①学力向上の取組 | 3.1 | 2.9 | 3.4 | 3.3 | 16 | 21 | | | | | 4 | 10 | | | | | |
| | | ②「ふるさと学習」の推進 | 3.5 | 3.1 | 3.7 | 3.5 | 26 | 11 | | | | | 7 | 7 | | | | | |
| | | ③体験的活動の充実 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 24 | 13 | | | | | 9 | 5 | | | | | |
| | | ④部活動ガイドラインによる実施 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 3.3 | 10 | 23 | | | | | 4 | 9 | | | | | |
| | | ⑤読書活動の推進 | 3.1 | 3.1 | 3.4 | 3.5 | 18 | 16 | 3 | | | | 8 | 5 | 1 | | | | |
| 3 児童生徒一人 一人を 推 進 | (1)児童生徒支援 体制の充実・強化 | ①人権・同和教育の推進 | 3.2 | 3.1 | 3.3 | 3.2 | 12 | 25 | | | | | 4 | 9 | 1 | | | | |
| | | ②支えあう集団づくりの推進 | 3.2 | 3.0 | 3.3 | 3.4 | 12 | 25 | | | | | 7 | 6 | 1 | | | | |
| | | ③児童生徒理解と支援体制の構築 | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 8 | 29 | | | | | 5 | 8 | 1 | | | | |
| | | ④不登校児童生徒への支援 | 3.3 | 3.2 | 3.5 | 3.2 | 17 | 20 | 1 | | | | 4 | 9 | 1 | | | | |
| | | ⑤特別な支援を要する児童生 徒への支援 | 3.2 | 3.1 | 3.5 | 3.2 | 21 | 13 | 3 | | | | 3 | 11 | | | | | |
| | | ⑥「生命を考える教育」の集中期 間の取組 | 3.2 | 3.3 | 3.4 | 3.4 | 12 | 25 | | | | | 2 | 12 | | | | | |
| 4 安全・安心 な 学 校 づ く り | (1)危機管理体制の強化 | ①学校保健計画・学校安全計画・危 機管理マニュアルの作成と訓練等の 実施 | 3.1 | 3.0 | 3.3 | 2.9 | 12 | 25 | | | | | 1 | 11 | 2 | | | | |
| | | ②施設・設備の安全維持管理 | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 11 | 23 | 2 | 1 | | | 2 | 11 | 1 | | | | |

平成23年度 学校評価(学校関係者評価集計)

—×— 小学校

—*— 中学校



Ⅲ. 平成23年度(2011)出雲市教育委員会重点施策に関連する事務事業一覧

- 重点施策に関連する事務事業の点検・評価は、「Ⅲ. 平成23年度(2011)出雲市教育委員会重点施策に関連する事務事業一覧」に掲げる39項目の事務事業について、それぞれ点検・評価シートを作成して行っています。

- 評価は、次の4段階で行っています。
 - 4 (達成できた)
 - 3 (ほぼ達成できた)
 - 2 (改善を要する部分がある)
 - 1 (大いに改善を要する)

| 重点施策名 | 事務事業名 | 評価 | 評価担当課 | 評価シート (ページ) | |
|----------------|---------------------|----------------------|-------|----------------|----|
| 1. 学校教育推進体制の強化 | 地域学校運営理事会推進事業 | 3 | 学校教育課 | 80 | |
| | 小中一貫教育推進研究事業 | 3 | 学校教育課 | 81 | |
| | 学校事務の共同実施 | 3 | 学校教育課 | 82 | |
| | 学校支援地域本部事業 | 3 | 学校教育課 | 83 | |
| 2. 学校教育の充実・強化 | (1)学力向上の推進 | 学力調査実施事業 | 3 | 学校教育課 | 84 |
| | | TTによる学習力パワーアップ事業 | 3 | 学校教育課 | 85 |
| | | ウィークエンドスクール事業 | 3 | 学校教育課 | 86 |
| | | 外国語指導助手招致事業 | 3 | 学校教育課 | 87 |
| | (2)豊かな心を育む教育の推進 | 総合的学習推進事業・ふるさと教育推進事業 | 3 | 学校教育課 | 88 |
| | | 読書ヘルパー配置事業 | 3 | 学校教育課 | 89 |
| | (3)児童生徒支援体制の充実・強化 | フレンドシップ事業 | 3 | 学校教育課 | 90 |
| | | すずらん教室運営費 | 3 | 学校教育課 | 91 |
| | | 光人塾運営費 | 3 | 学校教育課 | 92 |
| | | コスモス教室運営費 | 3 | 学校教育課 | 93 |
| | | 不登校対策事業 | 3 | 学校教育課 | 94 |
| | (4)特別支援教育推進体制の充実・強化 | 特別支援教育事業 | 3 | 学校教育課 | 95 |
| | | スクールヘルパー事業 | 3 | 学校教育課 | 96 |
| | (5)人権・同和教育の推進 | 学校同和教育推進事業 | 3 | 学校教育課 | 97 |
| | | 帰国・外国籍児童生徒支援事業 | 3 | 学校教育課 | 98 |
| 3. 幼児教育の充実 | 幼稚園ヘルパー事業 | 3 | 教育政策課 | 99 | |
| | 幼児通級指導教室運営事業 | 3 | 教育政策課 | 100 | |
| | 幼稚園自主企画特別事業 | 4 | 教育政策課 | 101 | |

| | | | | |
|-------------|---------------|---|---------|-----|
| 4. 青少年育成の推進 | 児童クラブ事業 | 4 | 青少年育成課 | 102 |
| | 放課後子ども教室事業 | 3 | 青少年育成課 | 103 |
| | 青少年ネットワーク支援事業 | 3 | 青少年育成課 | 104 |
| | 子ども安全対策事業 | 4 | 青少年育成課 | 105 |
| | 子ども・若者総合支援事業 | 2 | 青少年育成課 | 106 |
| 5. 教育施設の整備 | 学校施設整備計画策定事業 | 4 | 教育施設課 | 107 |
| | 耐震化対策推進事業 | 3 | 教育施設課 | 108 |
| | 小中学校、幼稚園改築事業 | 4 | 教育施設課 | 109 |
| | 校舎・園舎リフレッシュ事業 | 3 | 教育施設課 | 110 |
| 6. 理科教育の充実 | 科学館理科学習事業 | 3 | 出雲科学館 | 111 |
| | 生涯学習事業 | 3 | 出雲科学館 | 112 |
| | 教員研修事業 | 3 | 出雲科学館 | 113 |
| 7. 学校給食の充実 | 食に関する指導の充実 | 2 | 学校給食課 | 114 |
| | 地産地消対策 | 3 | 学校給食課 | 115 |
| | アレルギー対応給食推進事業 | 3 | 学校給食課 | 116 |
| | 給食センター再編整備事業 | 4 | 学校給食課 | 117 |
| 8. 社会教育の充実 | 公民館管理運営事業 | 3 | 斐川教育事務所 | 118 |

IV. 重点施策に関連する事務事業(点検・評価シート)

1. 学校教育推進体制の強化

(1) 「地域学校運営理事会」の充実

平成17年12月の「出雲中央教育審議会」答申を受けて導入した「地域学校運営理事会(コミュニティ・スクール)制度」が、平成18年度末までに、全国で初めて、市内すべての小中学校(小学校36校、中学校13校)に導入されました。

地域学校運営理事会は、地域や保護者の代表等が学校運営に参画し、地域・学校・家庭の三者が協働して、学校教育活動等に対し積極的に支援・協力する新しい学校運営システムです。

特に、次の点に力をいれ、特色ある学校づくりの推進、地域に開かれ信頼される学校経営の実現を図っています。

1. 積極的な情報提供

学校は、理事会に、学校運営の基本方針をはじめ、学力調査結果や児童生徒の学校での活動状況などについて、積極的な報告と情報提供を行う。

2. 学校関係者評価の実施

地域学校運営理事会の取組の充実を図り、地域の児童生徒を地域を挙げて育てる体制を構築するため、学校評価において理事による「学校関係者評価」を実施する。

3. 学校管理費等の予算配分に係る裁量権の付与

学校ごとの特色ある活動を支援するとともに、理事の参画意識を高める観点から、一定基準に基づき学校に配当している学校管理費等の予算(光熱水費、教材備品費、スクールヘルパー等の事業費)の配分権を各小中学校の理事会に付与する。

<学校評価(関係者評価)>

「地域学校運営理事会」の充実

平均…小 3.5 (「4」:18校、「3」:18校)

平均…中 3.0 (「3」:12校、「2」:1校)

「地域学校運営ブロック協議会」の充実

平均…小 2.9 (「4」:3校、「3」:28校、「2」:5校)

平均…中 3.0 (「4」:1校、「3」:11校、「2」:1校)

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 地域学校運営理事会の充実 | | |
| 事業名 | 地域学校運営理事会推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | <p>不登校やいじめ、問題行動、児童生徒の安全確保への対応、さらには学力低下への懸念など、もはや学校現場のみでは解決することが困難な多くの教育課題がある。そこで、全小中学校に地域学校運営理事会を設置し、地域住民及び保護者が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを図る。これにより、地域・学校・家庭の三者が一体となって学校運営や児童生徒の健全育成に取り組み、地域に開かれた特色ある学校づくりを行うとともに、三者が協働して、それぞれの教育力を高めていく。</p> <p>地域学校運営理事会制度は、平成17年12月8日に出された「出雲中央教育審議会」第一次答申を受けて、平成18年度から導入したものであり、「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第47条の5に基づくものである。</p> | | |
| 事業内容 | <p>1. 地域学校運営理事会への支援 (1)各運営理事会が行う広報活動のための支援 (2)研修会の開催 ①理事長会の開催(平成23年5月20日) ②理事等を対象とした研修会(平成24年1月21日) (3)教育委員と学校評議員の語る会 斐川地域の全小・中学校 2. 理事会による学校評価 地域学校運営理事会による「学校関係者評価」の実施</p> | | |
| 達成状況 | <p>1. 理事会だよりやホームページなどにより、各学校や理事会の情報発信が進んだ。 2. 地域学校運営理事会による学校運営への関わりができたことにより、学校や地域の特色を生かした、個性あふれる取組がこれまで以上に展開された。</p> | | |
| 平成23年度 決算額 | 286千円 | | |
| 事業の課題 | <p>1. 斐川地域の小・中学校における運営理事会の早期指定 合併により加わった斐川地域の小・中学校を地域学校運営理事会を設置する学校として、平成25年度中を目標に指定する。 2. 情報の共有について 理事が学校の運営状況、児童生徒の状況などについて情報を得る機会は増えたが、情報を共有するための取組をさらに工夫することが必要である。 3. 広報活動の充実について 地域学校運営理事会について、積極的な広報活動が行われたが今後もわかりやすい広報活動をめざして検討していくことが必要である。 4. 指定期間の統一 現在、各学校ごとに異なる地域学校運営理事会の指定期間を統一する。</p> | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(2) 小中一貫教育の推進

平成18年度から、教育改革の柱の1つとして、「小中一貫教育」を推進しています。これは、小中学校が一貫した指導観に基づく教育をめざし、継続的指導を行うことにより学力の向上を図るとともに、学習環境の変化による児童生徒の心理的不安を低減することをねらいとした教育システムを構築するものです。

平成18年度からの2か年、19年度からの2か年のモデル校での実践を踏まえ、平成20年度から市内全中学校区において「小中一貫教育」を展開しています。合併した斐川地域においても小中連携部会により年度当初から実践が進められています。

推進にあたっては、教育研究所内に「小中一貫教育推進研究委員会」を設置するとともに、「出雲市小中一貫教育推進基本構想」を基盤に作成した各中学校区の「推進基本計画」に基づき取組を進めています。

<学校評価(関係者評価)>

「小中一貫教育」の推進 平均・・・小 3.1 (「4」:6校、「3」:29校、「2」:1校)
平均・・・中 3.3 (「4」:4校、「3」:9校、)

参考 「保幼小一貫教育」の推進 平均・・・小 3.4 (「4」:14校、「3」:22校)

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 小中一貫教育の推進 | | |
| 事業名 | 小中一貫教育推進研究事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 一貫した指導観・学力観に基づく継続的指導による学力の向上を図るとともに、学習環境の変化による児童生徒の心理的不安の低減をはかり、21世紀社会を自らの力でたくましく生き抜く出雲の子どもを育成する。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 平成20年度から全市展開 各中学校区で作成した「小中一貫教育推進基本計画」により実施 研究実践発表会の開催 平成24年2月10日 第二中学校区、南中校区、斐川西中校区発表 「出雲市小中一貫教育推進研究委員会」による研究 転任・採用管理職「小中一貫教育研修会」の開催 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 小中学校が授業研究や相互に授業公開をすることにより、教育観や指導観、授業観の共有が進み、学力の向上につながっている。 中学校へ進学することへの心理的不安を低減させることをねらいとして、交流活動や支援体制の充実・強化を図ってきたことにより、中学生の不登校者数は減少傾向にある。問題行動数については小学校6年生時に比べ、中学1年生時では、減少傾向にある。 合併した斐川地域も含め、小中一貫教育推進研究委員会(30名)を開催した。そこでは、各中学校区の小中一貫教育の推進状況を把握した。 転任・採用管理職を対象に教育改革推進員が「出雲市小中一貫教育」について講義を行い、研究実践の継続を図ることができた。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 408千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 中学2年生において家庭での学習時間が減る傾向があり、望ましい家庭学習習慣や生活習慣の定着に向けた改善策を検討する必要がある。 中学1年生で一旦減少した問題行動数が、学年が進むにつれて再び増加する状況があり、支援体制の確立が必要である。 中学校区の取組に対する温度差が依然としてある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(3) 学校事務の共同実施

地域学校運営理事会や小中一貫教育を推進するとともに、教員の事務負担を軽減することにより、教員が児童生徒に接する時間を十分に確保することを目的に、平成18年度から市内小中学校を5つの地域別に「事務支援グループ」を編成(平成23年10月からは斐川地域を加え6つのグループを編成)し、備品管理や教職員の給与関係事務などの共同処理にあたる「学校事務の共同実施」を行っています。

共同実施により、事務処理システムの統一化と効率化が図られたことで生み出された時間を活用し、事務職員が教員の担当している事務領域を受け持つことで、教員の事務負担軽減につなげ、児童生徒に接する時間を増やすようにしています。さらには、新規採用事務職員の研修や実務支援、事務職員未配置校の事務を定期的に支援しているなど、直接的に学校支援を行っています。

平成23年度、市では、県教育委員会からの「事務グループ活動の充実のための加配」校が、4校(平成23年10月からは斐川地域を加え5校)あることを生かして、よりきめ細かな充実した支援活動を行うことができました。特に、新規採用者への支援は、年間計画を作成し計画的に行うことができました。

<学校評価(関係者評価)>

学校事務の改善と共同実施 平均…小 3.2 (「4」:13校、「3」:22校、「2」:2校)

平均…中 3.3 (「4」:4校、「3」:10校)

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 学校事務の共同実施 | | |
| 事業名 | 学校事務の共同実施 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 小中学校を5グループ(平成23年10月からは斐川地域を加え6グループ)に分け、事務の共同実施を行い、学校間・事務職員間の連携・情報を共有化することなどにより、効率的で質の高い事務を遂行すること、そして効率化により生み出された時間で、事務職員が教員の担当している事務領域を受け持つことで、教員の事務負担軽減につなげ、教員が児童生徒に接する時間を十分に確保する。 | | |
| 事業内容 | 1. 組織運営に関する事務等 → 学校事務支援グループの円滑な運営 2. 事務職員の資質の向上 → 事例研修、事務システム研修、情報交換 3. 中学校区内小中学校の連携強化 → 中学校区内の小中学校の連携に関する事務 4. グループ内学校への事務支援 → 事務職員未配置校への支援 新規採用・転入事務職員への支援 産休育休病休等に伴う臨時的任用事務職員への支援 各校の事務改善の推進 | | |
| 達成状況 | 1. 事務処理システムの統一化と効率化が図られ、全小中学校で同じ事務処理を行うことで生み出された時間を活用し、教員が担当していた一部の事務を事務職員が受け持つことができた。それにより、教員の事務負担の軽減が図られ、教員が児童生徒に接する時間を増やすことにつながった。 2. 新規採用事務職員等の研修や実務支援を行った。また、事務職員未配置校の事務を定期的に支援した。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 0 | | |
| 事業の課題 | 1. 新規採用者が増えたことにより、事務支援グループ業務の中で、新規採用者支援のウェイトが大きくなり、全員対象の相互支援の業務内容を更に充実させていく必要がある。 2. 加配がないグループもあり、新規採用等経験の浅い事務職員に対しての支援を行うため、6つのグループすべてへの加配の必要性がある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(4) 学校への支援体制の強化

平成20年度から平成22年度までの文部科学省委託事業である「学校支援地域本部事業」を活用し、地域コーディネーターを全中学校区に配置しました。平成23年度も、県補助事業に移行した本事業により、引き続き地域コーディネーターを配置しています。

これにより、教職員がしっかりと子どもたちと向き合うことができる教育環境を整え、「地域・学校・家庭が一体となって地域の子どもを育てる」体制づくりをより一層推進していきます。

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 学校への支援体制の強化 | | |
| 事業名 | 学校支援地域本部事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 地域学校運営ブロック協議会のもと、中学校区における「地域・学校・家庭が一体となって地域の子どもを育てる」体制づくりを構築する。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 「学校支援地域本部事業」を実施するにあたっては、「地域学校運営理事会」の中学校区組織体である「地域学校運営ブロック協議会」を基盤として事業を推進する。 地域による学校支援活動の連絡・調整を行うため、「地域学校運営ブロック協議会」を単位として、「地域コーディネーター」を配置する。 「地域コーディネーター」の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援に対する地域への協力要請 ・各中学校区における人材バンクの作成 ・学校支援ボランティアとの連絡調整 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 地域コーディネーターの配置により、学校支援ボランティアとの連絡・調整がよりいっそう円滑に進み、学校支援ボランティアの人数も約15,900人となり、地域による学校支援活動の充実を図ることができた。 「地域学校運営ブロック協議会だより」等による広報活動の充実を図ることができた。 地域学校運営理事会による学校運営と、学校支援地域本部事業による学校支援活動の相乗効果により、学校や地域の特色を生かした様々な取組が見られるようになった。 | | |
| 平成23年度決算額 | 12,962千円 | | |
| 事業の課題 | 1. 文部科学省委託事業から補助事業へ移行して事業額が大幅に減額となり、また、ここまでの成果として各学校ごとの人材バンクがある程度整備された中で、今後の事業のあり方そのものを検討する必要がある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

2. 学校教育の充実・強化

(1) 学力向上の推進

すべての児童生徒の基礎的・基本的学力の充実を図り、一人一人の個性と能力を伸ばす教育を推進します。

児童生徒の基礎的・基本的な学力の総合的な把握と教員の指導力の向上のため、県学力調査事業に参加しました。調査結果を分析し、児童生徒の実態の把握に努めるとともに、「より確かな学力」の定着と向上のための具体的施策を検討しました。

学力向上のための児童生徒支援として、「TTによる学習力パワーアップ事業」による学習支援員を小学校に派遣し、担任とのTT(チーム・ティーチング)によって、基礎学力の定着を図りました。

また、土曜日の半日、学習の場を提供することで、児童生徒の基礎学力及び学習習慣の定着を図る「ウィークエンドスクール」の充実に努めました。

小学校の外国語活動と中学校の英語授業に対して、外国語指導助手や英語指導員を派遣しました。

<学校評価(関係者評価)>

学力向上の取組 平均…小 3.4 (「4」:16校、「3」:21校)

平均…中 3.3 (「4」:4校、「3」:10校)

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 学力向上の推進 | | |
| 事業名 | 学力調査実施事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 児童生徒の基礎的・基本的な学力の総合的な把握と教員の指導力の向上を目的として学力調査を実施し、児童生徒の実態の把握に努めるとともに、「より確かな学力」の定着と向上のための具体的施策等を検討する。 | | |
| 事業内容 | 島根県学力調査 1. 平成23年4月26日、27日 2. 小学校4年生から中学校3年生までを対象 小4…国語・算数・生活アンケート 小5…国語・算数・理科・社会・生活アンケート 小6…国語・算数・理科・社会・生活アンケート 中1…国語・数学・理科・社会・生活アンケート 中2…国語・数学・理科・社会・英語・生活アンケート 中3…国語・数学・理科・社会・英語・生活アンケート | | |
| 達成状況 | 県学力調査結果 すべての学年・教科で県平均点を上回り、市町村ごとにおいても、すべての学年・教科とも上位を占めている。出雲市の児童生徒の学習の実現状況は、おおむね良好であるといえる。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 6,003千円 | | |
| 事業の課題 | 1. 各校での学力調査結果の分析を充実させ、学年や学級の強み弱みを明らかにして、学力向上策、指導のあり方をさらに検討していく必要がある。 2. 基礎・基本の定着を図るために、学力の底上げをしていかなければならない。市の事業であるウィークエンドスクールの受講を働きかけたり、少人数指導やTTのよる個に応じた指導を充実させていく必要がある。 3. 一人一人の教員の力量を高め、授業力(授業の質)の向上を更に図っていく必要がある。そのための校内研修や授業研究の更なる充実が望まれる。 4. 望ましい学習習慣や生活習慣の定着を図るために、家庭や地域に積極的に情報提供したり、連携を深めたりすることが必要である。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| 重点施策名 | 学力向上の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---|-------|-----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--------|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|-------|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|--|--|---|---|---|---|---|---|-------|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|-------|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 事業名 | TTによる学習力パワーアップ事業 | 担当課 | 学校教育課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の目的 | TT（チーム・ティーチング）により、児童の基礎学力の定着を図るとともに、一人一人の個別課題克服を支援すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 児童に確かな学力を身につけさせるため、日々の授業において、よりいっそう、きめ細やかな学習支援を行う学習支援員を小学校に派遣し、担任とのTT（チーム・ティーチング）によって、児童の基礎学力の定着を図るとともに、一人一人の個別課題克服を支援する。特に、算数においての学習支援を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成状況 | <p>平成23年度は、延べ17校に学習支援員を派遣した。 算数のTTばかりではなく、他の教科でのTT、テストの採点、昼休みに図書室で読み聞かせを行うなど、児童の目線に立っての指導を心がけたため、児童生徒、教職員、保護者からも好評価であった。</p> <p>平成23年度の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>今市小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>大津小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>塩冶小学校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>神戸川小学校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>高松小学校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>長浜小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>四絡小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>神西小学校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>高浜小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>国富小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>久多美小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>東小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>北浜小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>伊野小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>須佐小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>湖陵小学校</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>大社小学校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>配置校数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td><td>11</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td></tr> <tr><td>配置人数</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td><td>11</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td></tr> </tbody> </table> | | | 学校名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 今市小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 大津小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 塩冶小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 神戸川小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 高松小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 長浜小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 四絡小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 神西小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 高浜小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | 国富小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 久多美小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | 東小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 北浜小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 伊野小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 須佐小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 湖陵小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | 大社小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 配置校数 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 配置人数 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 学校名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今市小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大津小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 塩冶小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神戸川小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高松小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長浜小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四絡小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神西小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高浜小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国富小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 久多美小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北浜小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伊野小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 須佐小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 湖陵小学校 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大社小学校 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 配置校数 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 配置人数 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度 決算額 | 33,277千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の課題 | 1. 本事業は、平成21年度から3年間の「島根県緊急雇用創出臨時特例基金事業」により実施していたため、平成23年度で終了した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 学力向上の推進 | | |
| 事業名 | ウィークエンドスクール事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 児童生徒の学習習慣の定着を図ることで、基礎学力の向上に資する。 | | |
| 事業内容 | <p>週末(土曜日)の午前又は午後市内10会場で開催する。 会場では、参加者が、必要に応じて指導員(元教員や学生等)の支援を受けながら、自学自習を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 会場 市内10会場 対象 小学校5,6年生及び中学校1,2,3年生の希望者 指導者 塾長、副塾長(元教員20名)・学生指導員(延べ69名) 1会場1回当たり3~6名の指導者が支援にあたる。 開設日時 土曜日の午前あるいは午後 年間27回(指導員打合せ会を含む。) 午前(9:30~12:00)開設会場 出雲科学館・二中・神戸川小・浜山中・平田支所 午後(13:30~16:00)開設会場 南中・佐田中・多伎コミセン・湖陵中・大社中 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 参加者数 小学生149名、中学生174名 合計323名 会場別参加者数 出雲科学館…66名(小34、中32)、二中…34名(小16、中18)、 神戸川小…28名(小20、中8)、浜山中…26名(小20、中6)、 南中…14名(小4、中10)、平田支所…37名(小20、中17)、 佐田中…17名(小6、中11)、多伎CC…21名(小4、中17)、 湖陵中…16名(小8、中8)、大社中…64名(小17、中47) アンケート調査から (1)参加児童生徒 ①とても分かりやすく教えてもらい、分からないところが分かるようになった。 ②休憩時間に学生指導員から勉強以外の話も聞けてよかった。 (2)保護者 ①自ら学習に取り組むようになった。 ②他校の児童生徒と友達になることができてよかった。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 4,133千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 斐川地域に1会場を増設すること。 ウィークエンドスクールの知名度を向上させること。 参加率を向上させること。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|-------|-----|---------|----------|--|---------|--------|-----|---------|---------|--|---------|----------|-----|--------|---------|--|--------|--------|
| 重点施策名 | 学力向上の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業名 | 外国語指導助手招致事業 | 担当課 | 学校教育課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の目的 | 小・中学校の児童生徒が海外にも目を向け、国際的な視野に立って考えたり行動したりできる力を養うため、国際的な公用語のひとつである英語力の向上を図るとともに、自己表現力を養うことを目的とする。特に、英会話を中心としたコミュニケーション能力の育成を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <p>1. 外国語指導助手（ALT）5名を中学校に配置し、ネイティブ・イングリッシュを取り入れた授業を展開する。</p> <p>2. 小学校5・6年生による週1回の外国語活動のすべてに英語指導助手（AET）が入り、中学校では、英語の授業の3回に1回はALTまたはAETが入る。</p> <p>また、外国語指導助手は、小学校からの求めに応じて、可能な範囲で派遣する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成状況 | <p>（斐川地域以外）</p> <table border="0"> <tr> <td>ALT</td> <td>中学校 13校</td> <td>2648時間実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学校 17校</td> <td>70時間実施</td> </tr> <tr> <td>AET</td> <td>中学校 10校</td> <td>649時間実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学校 36校</td> <td>3349時間実施</td> </tr> </table> <p>（斐川地域）</p> <table border="0"> <tr> <td>ALT</td> <td>中学校 2校</td> <td>148時間実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学校 4校</td> <td>56時間実施</td> </tr> </table> | | | ALT | 中学校 13校 | 2648時間実施 | | 小学校 17校 | 70時間実施 | AET | 中学校 10校 | 649時間実施 | | 小学校 36校 | 3349時間実施 | ALT | 中学校 2校 | 148時間実施 | | 小学校 4校 | 56時間実施 |
| ALT | 中学校 13校 | 2648時間実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小学校 17校 | 70時間実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| AET | 中学校 10校 | 649時間実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小学校 36校 | 3349時間実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ALT | 中学校 2校 | 148時間実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小学校 4校 | 56時間実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度 決算額 | 42,797千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の課題 | <p>1. 斐川地域の小・中学校に合併前の出雲市と同じ方式でALT及びAETを配置すること。</p> <p>2. 長期休暇中のALT・AETを有効活用すること。</p> <p>3. 外国語指導助手の日本語能力の向上と日本文化の理解。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2)「豊かな心を育む教育」の推進

心豊かでたくましい児童生徒の育成をめざすため、地域の人々や自然とのふれあい、歴史・文化・産業に関する学習等、地域の教育資源を生かした体験学習や集団宿泊学習の充実を図る総合的学習を推進しています。各学校においては、地域で伝統芸能等、地域の教育資源を生かしたふるさと学習、市内の事業所の協力による中学校の職場体験学習など、多様な体験学習を実施しています。

学習指導要領の改訂により、体験学習の充実が謳われており、今後もこうした学校の特色ある体験学習が充実できるよう、輸送手段の確保や予算確保に努めていきます。

一方、思いやりの心、豊かな感性を育む読書活動の充実を図るため、平成20年度から「読書ヘルパー」事業を実施し、学校図書館の来館数、図書の貸し出し数が増加してきています。

次代を担う児童生徒の「ふるさと出雲」への愛着と誇りを培うため、小学校郷土学習資料「わたしたちの出雲市」を、小学校3・4年生に配付しています。

<学校評価(関係者評価)>

| | |
|----------------|-----------------------------------|
| 「ふるさと学習」の推進 | 平均…小 3.7 (「4」:26校、「3」:11校) |
| | 平均…中 3.5 (「4」:7校、「3」:7校) |
| 体験的活動の充実 | 平均…小 3.6 (「4」:24校、「3」:13校) |
| | 平均…中 3.6 (「4」:9校、「3」:5校) |
| 読書活動の推進 | 平均…小 3.4 (「4」:18校、「3」:16校、「2」:3校) |
| | 平均…中 3.5 (「4」:8校、「3」:5校、「2」:1校) |
| 部活動ガイドラインによる実施 | 平均…小 3.3 (「4」:10校、「3」:23校) |
| | 平均…中 3.3 (「4」:4校、「3」:9校) |

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| 重点施策名 | 「豊かな心を育む教育」の推進 | | |
|-----------|---|---|-------|
| 事業名 | 総合的学習推進事業・ふるさと教育推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 市内小中学校における総合的な学習の時間等の推進を図り、様々な体験活動や人々とのふれあいをとおして心豊かな児童生徒の育成を図るとともに、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度等を育むなど、児童生徒の「生きる力」の育成を視野に入れたいっそうの教育力向上を図る。 | | |
| 事業内容 | <p>「総合的な学習の時間」に、児童生徒が意欲的に学習に取り組めるように支援する。また、「総合的な学習の時間」では、「生きる力」を育成するために、「体験学習」を実施するとともに、各教科での学習内容と連携し、学力の向上をめざす。</p> <p>なお、平成17年度から実施されている島根県の「ふるさと教育推進事業」は平成23年度から事業第3期に入り、引き続き学校と家庭と地域とが一体となり、「出雲市ふるさと教育推進計画」に基づいて学習を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域講師を招いての体験学習(学校支援ボランティアによる学習) 2. 多様な校区連携のもとでのふるさと教育 3. 勤労体験学習(中学校では「職場体験学習」) 4. 自然教室、地域見学など | | |
| 達成状況 | <p>盲導犬ユーザーを講師に招き、目の不自由な人や自分の生活との関わりについて理解を深めたり、地域の歴史や文化あるいは自然についての学習により郷土への愛着と誇りを育てたりした。職場体験学習では、地元の企業や職業についての理解や自己の職業適性の確認、あるいは職業の社会的意義や役割について学べた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ふるさと教育推進事業」(県事業)に関わる学校支援ボランティア ・・・延べ271人 2. 学校支援に係る地域の支援ボランティア人数(学校支援地域本部関連) ・・・延べ15,866人 | | |
| 平成23年度決算額 | <p>小学校費：7,098千円 中学校費：3,070千円</p> | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 校外活動における移動手段を確保すること。 (複数の学校の活動が重複した際の日程調整又はバス代の確保など) 2. 学校支援ボランティア情報の共有に向けてデータベース化すること。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 「豊かな心を育む教育」の推進 | | |
| 事業名 | 読書ヘルパー配置事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 学校図書館の本の貸出や返却、書架の整理など学校図書館の活動及び運営を支援するため、すべての小中学校に読書ヘルパーもしくは学校図書館司書を配置し、児童生徒の読書活動を推進する。 | | |
| 事業内容 | <p>1. 業務内容 読書ヘルパー (1) 貸出・返却・整理・保存・廃棄など (2) 司書教諭や学校図書館担当教諭等との連携（図書の紹介・調べ学習の補助） (3) 市立図書館との連携 (4) 読書ボランティア等との連携 学校図書館司書 上記に加えて、学習のニーズに応じた資料等準備や、学校図書館を活用した学習の充実を行う。</p> <p>2. 勤務条件 読書ヘルパー 年280時間（週5日 35週）配置 学校図書館司書 1日7.75時間 週5日52週 配置</p> | | |
| 達成状況 | <p>1. 図書の整備や掲示など、学校図書館の環境が年々改善されている。 2. 新書の購入から貸出までの期間を短縮できている。 3. 授業時間に図書館が利用しやすくなっている。 4. 貸出冊数は、高い水準を維持している。</p> | | |
| 平成23年度 決算額 | <p>小学校費： 11,485千円 中学校費： 4,434千円</p> | | |
| 事業の課題 | <p>1. 1日あたりの勤務時間の改善に関する事。 (1) 1日1時間程度の勤務ではまとまった作業ができず、効率が悪い。 (2) 教員と打ち合わせをする時間が少なく、教員との連携が充分でない。 2. 専門知識を有する読書ヘルパーの配置に関する事。 3. 斐川地域の学校図書館司書を、平成25年度から読書ヘルパーとすること。</p> | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(3) 児童生徒支援体制の充実・強化

児童生徒に係る問題行動、不登校問題などの課題解決に向け、学校教育課内に設置した「児童生徒支援室」を中心に、要保護児童対策地域協議会、出雲児童相談所、出雲警察署、子ども・若者支援センター、女性センター等の関係諸機関との連携を強化し、学校への迅速かつ効果的な支援体制の整備を図っています。

また、いじめを未然に防止するため、児童生徒が自分たち自身の問題として取り組む「フレンドシップ事業」を実施しています。

不登校については、支援が必要な児童生徒に対する適応指導教室である「すずらん教室」、「光人塾」、「コスモス教室」及び「不登校対策事業」を実施しています。

<学校評価(関係者評価)>

| | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 支えあう集団づくりの推進 | 平均・・・小 3.3 (「4」:12校、「3」:25校) |
| | 平均・・・中 3.4 (「4」:7校、「3」:6校、「2」:1校) |
| 児童生徒理解と支援体制の構築 | 平均・・・小 3.2 (「4」:8校、「3」:29校) |
| | 平均・・・中 3.3 (「4」:5校、「3」:8校、「2」:1校) |
| 不登校児童への支援 | 平均・・・小 3.5 (「4」:17校、「3」:20校、「2」:1校) |
| | 平均・・・中 3.2 (「4」:4校、「3」:9校、「2」:1校) |
| 学校保健計画・学校安全計画 危機管理マニュアルと訓練等の実施 | 平均・・・小 3.3 (「4」:12校、「3」:25校) |
| | 平均・・・中 2.9 (「4」:1校、「3」:11校、「2」:2校) |

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 児童生徒支援体制の充実・強化 | | |
| 事業名 | フレンドシップ事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 学校生活でおきているいじめをはじめとする様々な問題について、児童生徒が自分たちの問題としてとらえ、主体的に解決し、いじめを許さない、明るく楽しい集団づくり、助け合い、支え合う仲間づくりを進めていく中で、いじめの未然防止と人権意識の高揚を図る。 | | |
| 事業内容 | 1. 各学校で生徒会や児童会を中心とした自主的な取組を実施する。 2. 各中学校区で生徒会や児童会を中心として小・中学校で連携した取組を実施する。 3. 各中学校の生徒会リーダーによる研修会を開催する。 4. フレンドシップ事業推進委員会を開催する。 5. フレンドシップ事業担当者会を開催する。 6. 学校別にフレンドシップ事業実践報告書を作成する。 | | |
| 達成状況 | 1. フレンドシップ事業は、全小中学校で取組を実施した。 2. 8月と2月に、中学校新生徒会役員を対象としたリーダー研修会を実施した。 3. 7月と2月に、推進委員会を実施した。 4. 中学生が、生徒会リーダー研修会で、いじめのない明るい学校づくりのための「中学生メッセージ」を作成し、各中学校で活用するとともに、出雲市のホームページで公開し、広く市民に伝えた。 5. フレンドシップ事業実践報告書を製本配布し、研修に役立てた。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 215千円 | | |
| 事業の課題 | 1. 児童会、生徒会の活動を学級、学年への活動、全校への活動へと充実させていく。 2. 各中学校区での仲間づくり、集団づくりをさらに進め、いじめの未然防止に努める。 3. フレンドシップの活動を継続することによって、さらに自己有用感や自尊感情を高めるとともに、その願いや大切さを保護者・地域へもひろげていく。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 児童生徒支援体制の充実・強化 | | |
| 事業名 | すずらん教室運営費 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 不登校児童生徒の学校復帰や将来的な社会的自立に向けて、きめ細やかな学習支援や集団適応支援を行うとともに、相談活動を充実させ学校復帰への意欲を喚起することを目指す。 | | |
| 事業内容 | 1. 室長1名、主任指導員1名、指導補助員7名配置。 2. 指導内容は、各種体験活動、各種学習教室、宿泊訓練、教科学習など。 3. 保護者及び児童生徒に対する個別相談。 | | |
| 達成状況 | 1. 入級生 在籍者(H24.3月末) 21名 2. 入級者内訳 小学生 3年生 1名 5年生 1名 6年生 3名 合計 5名 中学生 1年生 7名 2年生 4名 3年生 5名 合計16名 3. 入級地域別 市内 20名 市外 1名 4. 各種体験活動の実施 ・音楽教室 ・陶芸教室 ・茶道教室 ・美術教室 ・サンレイクフェスティバル ・三瓶スマイルキャンプ | | |
| 平成23年度 決算額 | 12,224千円 | | |
| 事業の課題 | 入級児童生徒は、それぞれに学校に登校できない背景を抱えており、特別な教育的支援が必要である。学校復帰に向けて、きめ細やかな支援をするためには、個々の実態に応じた支援計画を作成し、学校と密に連携することが不可欠である。しかし、常勤職員は2名であり、事務処理を含めた業務の負担が大きくなっている。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 児童生徒支援体制の充実・強化 | | |
| 事業名 | 光人塾運営費 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 不登校児童生徒の学校復帰や将来的な社会的自立に向けて、きめ細やかな学習支援や集団適応支援を行うとともに、相談活動を充実させ学校復帰への意欲を喚起することを目指す。 | | |
| 事業内容 | 1. 塾長1名、主任指導員2名、指導員12名配置。 2. 指導内容は、個人を中心とした教科の学習指導、各種体験活動、レクレーションなど。 3. 保護者および児童生徒に対する個別相談。 | | |
| 達成状況 | 1. 入塾生（H24. 3月末）18名 2. 入塾者内訳 小学生 4年生 1名 5年生 1名 6年生 1名 合計 3名 中学生 1年生 1名 2年生 4名 3年生 10名 合計15名 3. 入級地域別 市内 18名 | | |
| 平成23年度 決算額 | 18,771千円 | | |
| 事業の課題 | 入塾児童生徒の中には、医療や福祉との連携が必要なケースがあり、指導員に専門性の高い知識や技術が求められている。また、一方で学力保障について、児童生徒自身の希望も保護者の願いも強い。児童生徒の個々に応じた指導・支援計画を作成するとともに指導員に発達障がいに関わる研修を行うこと、スクールソーシャルワーカーをさらに活用していくことが必要とされる。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 児童生徒支援体制の充実・強化 | | |
| 事業名 | コスモス教室運営費 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 不登校児童生徒の学校復帰や将来的な社会的自立に向けて、きめ細やかな学習支援や集団適応支援を行うとともに、相談活動を充実させ学校復帰への意欲を喚起することを目指す。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 室長1名(児童生徒支援室長兼務)、心理相談員1名、指導員2名、指導補助員2名、ヘルパー4名配置。 2. 指導内容は、各種体験活動、各種学習教室、教科学習など。 3. 児童生徒に対する個別相談、プレイセラピー、箱庭療法。 4. 保護者に対する個別相談。 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 入級生 在籍者(H24.3月末) 11名 2. 入級者内訳 小学生 4年生 1名 5年生 2名 6年生 2名 合計 5名 中学生 1年生 6名 合計 6名 3. 入級地域別 斐川地域 9名 斐川地域以外の市内 1名 市外 1名 4. 各種体験活動の実施 ・創作活動(勾玉づくり、トールペイント、絵画・イラスト) ・軽スポーツ ・サンレイクフェスティバル ・三瓶スマイルキャンプ | | |
| 平成23年度 決算額 | 6,028千円 | | |
| 事業の課題 | 入級児童生徒は、それぞれに学校に登校できない背景を抱えており、特別な教育的支援が必要である。学校復帰に向けて、きめ細やかな支援をするためには、個々の実態に応じた支援計画を作成することが必要である。また、学校と継続的に密に連携していくことが不可欠である。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 児童生徒支援体制の充実・強化 | | |
| 事業名 | 不登校対策事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 不登校及び不登校傾向の児童生徒が、適切な支援を受けられるように連絡調整を行う。また、家庭に引きこもりがちな児童生徒が、学校に復帰できるよう支援・指導を行う。 | | |
| 事業内容 | <p>1. 不登校対策指導員3名、児童生徒支援調整員1名。</p> <p>2. 不登校対策指導員の業務内容は、引きこもりがちな児童生徒宅への家庭訪問、各種施設での体験活動の実施、関係諸機関との連携、保護者や学校との相談等。</p> <p>3. 児童生徒支援調整員の業務内容は、不登校及び不登校傾向の児童生徒の見立てを行うことと、「すずらん教室」「光人塾」「コスモス教室」及び不登校対策指導員等の支援が適切に受けられるための連絡・調整。</p> | | |
| 達成状況 | <p>1. 不登校対策指導員は、小学生7名、中学生24名を家庭訪問している。</p> <p>そのうち、</p> <p>(1) 学校へ登校可能となった。 (小学生4名 中学生5名)</p> <p>(2) 「すずらん教室」「光人塾」へ通級・通塾可能となった。(中学生3名)</p> <p>(3) 家から出られるようになった。(中学生4名)</p> <p>(4) 会えるようになった。(小学生1名 中学生2名)</p> <p>(5) 会えない。(保護者のみ会える。)(小学生1名 中学生2名)</p> <p>2. 児童生徒支援調整員の主な支援内容は、</p> <p>(1) 学校訪問による聞き取り、相談。(小学生155名、中学生119名)</p> <p>(2) 「すずらん教室」「光人塾」入級に関わるアセスメント。(小学生7名、中学生22名)</p> <p>(3) 不登校対策指導員との連携。(小学生5名、中学生12名)</p> <p>(4) 特別支援教育係との連携。(小学生1名、中学生2名)</p> <p>(5) SSW、子ども・若者支援センター等との連携。(小学生6名、中学生9名)</p> <p>不登校対策指導員が、引きこもりがちな児童生徒にきめ細やかな対応を行うことで、家から出られるようになり、児童生徒や保護者の不安感や孤立感を解消する手掛かりをつくることができた。</p> | | |
| 平成23年度 決算額 | 8,759千円 | | |
| 事業の課題 | 不登校対策指導員への要請は、市内全域からある。平成23年度に斐川町と合併し、更に訪問の範囲が広がり、指導員の増員が必要である。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(4) 特別支援教育推進体制の充実・強化

現在、通常学級において発達障がい等、学習上又は行動上困難があり、特別な支援が必要な児童生徒は、年々増加の傾向にあります。また、障がいの重複化、多様化にともない、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援のあり方は一人一人異なり、担任一人だけでは対応しきれない状況にあります。

この状況に対し、特別な支援を必要とする児童生徒への支援として、「スクールヘルパー事業」、「通級による指導」等を実施するとともに、「わくわく相談会」、「就学相談」、特別支援教育指導員及び通級指導教室指導員による相談活動の充実を図っています。また、医療、福祉、保健、児童相談所等、関係機関との連携を強化したり、特別支援教育推進委員会や就学指導委員会の体制の充実を図ったりするなど、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図っています。

<学校評価(関係者評価)>

特別な支援を要する児童生徒への支援 平均・・・小3. 5(「4」:21校、「3」:13校、「2」:3校)

平均・・・中3. 2(「4」:3校、「3」:11校)

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 特別支援教育の充実 | | |
| 事業名 | 特別支援教育事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 特別な支援が必要な幼児、園児、児童生徒及びその保護者、学校関係者に対する教育相談や支援を行う。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育指導員による就学相談、巡回相談 2. 支援が必要な児童生徒に関し、「特別支援教育推進委員会」による支援のあり方についての協議・検討 3. 特別支援教育推進委員(巡回相談員)による「わくわく相談会」(巡回相談)の実施及び指導・助言 4. 特別支援教育に関する各種研修会の実施 5. 通級指導ヘルパー及び通級指導助手の配置による通級による指導の充実 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育指導員による就学相談、巡回相談によって、より適切な就学指導や通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援の充実を図ることができた。 2. 継続的に「わくわく相談会」を実施し、授業改善や校内支援体制について指導・助言を行ったり、適切な対応・支援策が見出せたりするなど、特別な支援を必要とする児童への支援の充実を図ることができた。 実施学校数:小学校21校・中学校6校 相談対象児童生徒数:小学校48人・中学校13人 3. 特別支援教育コーディネーター研修会には、小・中学校だけではなく、保育所、幼稚園からの参加もあり、発達障がいのある児童生徒への支援のあり方について学ぶことができた。 4. 通級指導教室担当者会及び研修会をとおして、通級による指導の具体的な手立てや通級指導教室経営等を学び、担当者の資質向上を図ることができた。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 9,760千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 通級による指導に対するニーズが高まっており、小学校では市の中心部で児童数が急増していること、中学校では巡回指導に移動の時間がかかることが課題となっている。 2. 障がいの多様化・重複化・重度化の傾向が顕著であり、就学指導委員会の体制の強化、医療、福祉等との連携の強化を図る必要がある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 特別支援教育の充実 | | |
| 事業名 | スクールヘルパー事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 支援が必要な児童生徒について、各学校の状況に応じ、特別支援教育補助者、特別支援介助者、支援員を配置し、児童生徒への総合的な教育的支援を実施する。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 特別支援教育補助者 発達障がいを含む障がいのある児童生徒の支援や学校に登校していても教室に入りにくかったり、集団になじみにくかったりする児童生徒の支援を行う。 特別支援介助者 肢体不自由や自閉症など、日常的に介助を必要とする児童生徒に対する支援を行う。 支援員 斐川地域に配置し、特別な支援が必要な児童生徒への支援を行う。 特別支援教育補助者及び特別支援介助者を対象とした研修会を実施する。 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 配置状況 特別支援教育補助者 小学校66人 中学校33人 特別支援介助者 小学校10人 中学校 5人 支援員 小学校23人 中学校 4人 研修会を年3回実施 一人一人に寄り添った支援により、児童生徒が落ち着いて学習に取り組むようになった。 肢体不自由や自閉症など、日常的な介助が必要な児童生徒の安全の確保や安心感につながった。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 小学校:54, 241千円 中学校:24, 243千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 校内支援体制の中に特別支援教育補助者、特別支援介助者、支援員を位置づけ、役割や連携を明確にして支援を行う必要がある。 特別支援教育補助者、特別支援介助者、支援員に対する学校のニーズは高い。特に、障がいの重複化、多様化を考えると、特別支援介助者の増員が望まれる。 スクールヘルパー謝金の増額の要請がある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(5) 人権・同和教育の推進

各学校においては、人権・同和教育をすべての教育活動の基底に据え、幼児児童生徒一人一人の人権と進路を保障するとともに、同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくしていこうとする意欲と実践力の育成に努めています。平成20年度に制定した「出雲市人権施策推進基本方針」に基づき、地域や関係機関等との連携のもと、学校における人権・同和教育をいっそう充実し推進しています。

また、本市には、就労や国際結婚により、ブラジル国籍等の多数の外国人が在住しています。これらの児童生徒は市内の小中学校に在籍し学習していますが、日本語が十分身につけていないため、授業や学校生活に支障をきたしている児童・生徒もいる状況にあります。このため、日本語指導が必要な児童生徒に対し、指導員を派遣し、日本語指導、学習支援を行っています。

<学校評価(関係者評価)>

人権・同和教育の推進

平均…小 3.3 (「4」:12校、「3」:25校)

平均…中 3.2 (「4」:4校、「3」:9校、「2」:1校)

4:十分満足、3:概ね満足、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 人権・同和教育の推進 | | |
| 事業名 | 学校同和教育推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 教職員の人権意識の高揚と、同和教育を基底に据えた教育活動の推進のための施策を講じて、同和地区児童生徒をはじめ、すべての児童生徒の進路を保障するとともに、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に意欲と実践力をもった児童生徒を育成する。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員研修会、講演会の開催 2. 同和教育啓発指導員による学校訪問と校内研修の指導助言 3. 人権・同和教育推進員制度 4. 各種啓発活動、人権・同和教育資料の作成 5. 関係諸機関、諸団体との連携 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理職、人権・同和教育主任、転入・新任教職員等を対象とする人権・同和教育研修会や、全教職員を対象とする人権・同和教育講演会を開催した。 2. 同和教育啓発指導員による学校訪問を、年度の初めと終わりに実施した。また同指導員を校内研修や同和問題学習の研究授業の指導助言のために全ての小中学校に派遣した。 3. 市内の4小学校と4中学校に人権・同和教育推進員を配置し、同和地区児童生徒の進路保障と人権・同和教育の推進にあたった。 4. すべての小・中学校で同和問題学習の研究授業が実施され、その中で「同和問題学習プログラム」に基づく授業が広く行われるようになった。 5. 各学校で授業公開や人権・同和教育だよりの発行により、保護者・地域への啓発活動が進展した。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 6,197千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 差別の現存認識に関わる研修や授業実践について目的・内容を精査し、より効果的な研修会を実施すること。 2. 教科書改訂による同和問題学習の教材開発を図ること。 3. 「同和問題学習プログラム」に基づく小中一貫カリキュラムによる小・中学校間、小学校間の連携を深めること。 4. 人権・同和教育に関して、中学校と高等学校の連携を深めること。 5. 出雲市隣保館、人権同和政策課との連携や、各学校からの情報発信、啓発活動を充実させ、社会人権・同和教育との連携を深めること。 6. 同和地区児童生徒をはじめとするすべての児童生徒の進路保障について、学校・家庭・関係諸機関の連携をさらに深めること。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 人権・同和教育の推進 | | |
| 事業名 | 帰国・外国籍児童生徒支援事業 | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業の目的 | 帰国・外国籍児童生徒のうち日本語指導が必要な児童生徒に対し、日本語指導や学習支援を行い、日本における進路を保障する。 | | |
| 事業内容 | 日本語指導が必要な児童生徒に対し、日本語指導員を派遣する。 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 出雲市日本語指導推進員(3名)を委嘱し、日本語指導を必要とする児童生徒が転入してきた際には、推進員が面接し、児童生徒の見立てを行い、一人一人に合った指導計画を立案した。 2. 日本語指導推進員は学校に対して日本語指導のための資料提供等を行い、これまで以上に一人一人の困り感に応じた指導を行うことができた。 3. 日本語指導員を大津小学校、塩冶小学校、高松小学校、四絡小学校、荘原小学校、第一中学校、第二中学校、河南中学校、佐田中学校に派遣した。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 1,989千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語指導が必要な児童生徒に対して十分な指導時間を確保し、一人一人の実態に応じた指導を行うことが必要であること。 2. 日本語指導担当者の研修の場の充実を図ること。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

3. 幼児教育の充実

核家族化や出生率の低下に伴う子どもの数の減少、遊び場や遊び友達の減少等、子どもを取り巻く社会・家庭環境の変化は著しく、家庭や地域社会の教育機能が以前より低下しているといわれ、基本的な生活習慣の欠如など、子どもの育ちに影響を及ぼしています。

そのため、家庭・地域社会の教育力の再生・向上を図るとともに、子どもの育ちの変化に対応する幼児教育のあり方が今日的課題となっています。

本市では、幼稚園において地域の特性等を生かした多様な体験等ができる活動を取り入れるなど幼児教育の充実に努めました。また、ことばの遅れや軽度発達障がい、多動傾向など特別な支援が必要な園児に対応する特別支援教育の充実に努めました。

(1) 幼稚園ヘルパー事業

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 幼児教育の充実 | | |
| 事業名 | 幼稚園ヘルパー事業 | 担当課 | 教育政策課 |
| 事業の目的 | 多動傾向など特別な支援が必要な園児に対して、それぞれの園児にあったきめ細やかな保育・教育を行う。 | | |
| 事業内容 | <p>多動傾向など特別な支援が必要な園児が在籍する幼稚園において、担任教諭の保育の補助等を行う幼稚園ヘルパーを配置し、それぞれの園児にあったきめ細やかな保育・教育に努めた。</p> <p>◇平成23年度は、18園に対して幼稚園ヘルパー25人を配置 平成22年度は、12園に対して幼稚園ヘルパー18人を配置 平成21年度は、12園に対して幼稚園ヘルパー18人を配置 平成20年度は、14園に対して幼稚園ヘルパー17人を配置 平成19年度は、15園に対して幼稚園ヘルパー19人を配置</p> | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園ヘルパーは、担任と密に連携をもち、園児が日々の保育を楽しく過ごすことができるよう支援した。 ・園児の成長、発達をとらえながら、きめ細やかな指導に心がけ、園児の成長がみられた。 ・園児の育ちに沿いながら、担任等と力を合わせて支えていくことができた。 ・幼稚園ヘルパーを対象とする研修会を開催し、配慮を要する子どもの理解を深めるなど、幼稚園ヘルパーの資質向上を図った。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 11,785千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 療育機関などの専門機関とも連携し、より適切な指導方法を工夫することが必要である。 2. 幼稚園ヘルパーの勤務時間が限られており、対象園児の対応方法について話し合う時間がとりにくいなどの課題があり、工夫が必要である。 3. 早期発見、早期対応、一人一人への細やかな指導のため、幼稚園ヘルパーを含め教職員のさらなる資質向上が必要である。 4. 「地元で、地域の子どもたちとともに教育を受けさせ、地域の中で育てたい」という保護者の願いがあり、地域性等を考慮して、特別な支援が必要な園児の受入れ体制等のさらなる充実が必要である。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(2) 幼児通級指導教室運営事業

【点検・評価シート】

| 重点施策名 | 幼児教育の充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|----|-------|-----|-----|-----|----|----|-------|-----|----|-----|----|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|------|-----|-----|-----|
| 事業名 | 幼児通級指導教室運営事業 | 担当課 | 教育政策課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の目的 | 幼児通級指導教室において、ことばの遅れや軽度発達障がい、多動傾向等、特別な支援を必要とする幼児や保護者に対し、その望ましい成長・発達のため、一人一人の実態に合わせた計画的かつ適切な指導・支援を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <p>・今市幼稚園に幼児通級指導教室を開設し、ことばの遅れや軽度発達障がい、多動傾向等の幼児や保護者に対し、発達を促す個別の指導や相談を実施した。</p> <p>・通級幼児の増加と多様な指導・相談内容に対応すべく、今市幼稚園には担当教諭のほか教育相談員を配置した。</p> <p>・市内4小学校の通級指導教室に、幼児担当の幼児通級指導ヘルパーを配置し、小学校の通級指導教室に通う幼児の通級指導の充実、各園への訪問指導など指導・相談体制の強化を図った。(中部小学校分経費は、小学校のスクールヘルパー事業から支出 平成23年度決算額 429千円)</p> <p>・東部島根医療福祉センターから心理判定員・言語聴覚士の派遣を受け、療育を必要とする幼児への指導の充実を図った。</p> <p>◇通級指導教室へ通った幼児数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今市幼稚園</td> <td>48人</td> <td>48人</td> <td>41人</td> <td>40人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>神西小学校</td> <td>13人</td> <td>14人</td> <td>10人</td> <td>11人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>平田小学校</td> <td>12人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>大社小学校</td> <td>13人</td> <td>8人</td> <td>14人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>中部小学校</td> <td>18人</td> <td>28人</td> <td>21人</td> <td>20人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>104人</td> <td>108人</td> <td>96人</td> <td>85人</td> <td>68人</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 23年度 | 22年度 | 21年度 | 20年度 | 19年度 | 今市幼稚園 | 48人 | 48人 | 41人 | 40人 | 32人 | 神西小学校 | 13人 | 14人 | 10人 | 11人 | 4人 | 平田小学校 | 12人 | 10人 | 10人 | 9人 | 9人 | 大社小学校 | 13人 | 8人 | 14人 | 5人 | 2人 | 中部小学校 | 18人 | 28人 | 21人 | 20人 | 21人 | 合計 | 104人 | 108人 | 96人 | 85人 | 68人 |
| | 23年度 | 22年度 | 21年度 | 20年度 | 19年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今市幼稚園 | 48人 | 48人 | 41人 | 40人 | 32人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神西小学校 | 13人 | 14人 | 10人 | 11人 | 4人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平田小学校 | 12人 | 10人 | 10人 | 9人 | 9人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大社小学校 | 13人 | 8人 | 14人 | 5人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中部小学校 | 18人 | 28人 | 21人 | 20人 | 21人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 104人 | 108人 | 96人 | 85人 | 68人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成状況 | <p>・経験豊かな教育相談員の配置により、特別支援教育における専門的指導の充実が図られた。</p> <p>・距離的な問題などにより、今市幼稚園の幼児通級指導教室に通い難い幼児が、小学校への幼児通級指導ヘルパーの配置により、近くの小学校の教室で指導を受けることが出来るようになった。</p> <p>・東部島根医療福祉センターからの派遣により、客観的データ、医療情報、より専門性の高い指導を得ることができ、指導体制の充実につながった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度決算額 | 3,983千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の課題 | <p>・通級指導に通う幼児は増加傾向にあり、その実態は、発達の遅れ、自閉症的傾向、ADHD、構音、吃音など多岐にわたっており、子どもたちの困り感は多様である。担当教諭の専門性(幼児教育、特別支援教育ともに)向上や指導・相談体制を、より充実させることが必要である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 幼稚園自主企画特別事業

<学校評価(自己評価)>

幼稚園自主企画特別事業 平均・・・ 3.8 (「4」:19園、「3」:6園)

4:十分達成している、3:概ね達成している、2:改善を要する部分がある、1:大いに改善を要する

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 幼児教育の充実 | | |
| 事業名 | 幼稚園自主企画特別事業 | 担当課 | 教育政策課 |
| 事業の目的 | 地域の特性等を生かした多様な体験を通して、園児たちが主役となって生き生きと生活する特色と魅力ある幼稚園づくりを推進する。 | | |
| 事業内容 | <p>家庭や地域の協力を得ながら、地域の特性等を生かして、文化、自然に親しむなど、園児の興味・関心を引き出すために行う様々な活動・取組を行い、人間形成の基礎が培われる重要な幼児期において、園児たちが主役となって生き生きと生活する特色と魅力ある幼稚園づくりを推進した。</p> <p>【対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の育ちを展望した事業や心の世界を広げる事業 ・小学校以降の生活・学習等を視野に入れた継続性のある事業 ・未就園の幼児の保育を支援する事業 ・家庭、地域社会と連携した事業 | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・各園において、教育方針や地域の特色を生かした事業を企画、実施した。 ・地域人材の発掘や地域教材の研究などを行い、地域の協力を得ながら事業を実施し、ふるさとを愛する心を、育むことができた。 ・地域の特色を活かした自然や栽培体験をしたり、地域の人の知恵に触れ、生活力を身につけるような体験をした。 ・家庭では体験できないことを経験したり、集中力やマナーを培うことができた。 ・情操教育として感性豊かな子どもの育成に役立った。 <p>【主な活動内容】</p> <p>自然体験(山・海・川での遊び等)、栽培活動(稲作り・芋掘り、ぶどう狩り等)、地域の生活・文化体験(和太鼓・陶芸等)など</p> | | |
| 平成23年度 決算額 | 2,259千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 継続事業については常に創意工夫した、清新な取組が必要である。 2. 年間を通して、バランスの取れた計画にしていくことが必要である。 3. 地域の文化施設や、地域の人材を更に活用していくことが必要である。 | | |
| 評価 | 4 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

4. 青少年育成の推進

(1) 出雲市放課後子どもプラン

出雲市放課後子どもプランは、平成19年度から子どもたちの安全・安心と子育て・子育て支援の一環として、地域ぐるみで取り組む総合的な放課後対策を目的としたものです。

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|--|---|--------|
| 重点施策名 | 出雲市放課後子どもプラン | | |
| 事業名 | 児童クラブ事業 | 担当課 | 青少年育成課 |
| 事業の目的 | 保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生1年生から3年生の児童に、放課後や長期休業期間中において、小学校の余裕教室や公共施設等を利用して、安全で安心な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○入会対象児童：市内に住所を有する者で、昼間労働等で保護者が家庭にいない小学校1年生から3年生の児童 ○開設日及び時間：年間250日以上(各運営委員会で設定) (月曜日～金曜日)放課後から18:00まで (土曜日、長期休業期間等)8:00から18:00まで ○運営組織：地域の運営委員会 (斐川地域は、指定管理制度によりあすなろ斐川合同会社へ委託) ○施設整備：未設置の小学校区に新設整備、施設の老朽化、入会児童数の増加に伴う施設整備の実施 | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童クラブ開設数：42児童クラブ(34小学校区) (出雲地域：23、平田地域：7、佐田地域：2、多伎地域：1、湖陵地域：1、大社地域：2、斐川地域：6) ○入会児童数：1,393人(出雲地域：1,185人、斐川地域：208人) ※平成23年4月時点 ○施設の整備状況 ①稗原児童クラブ：稗原小学校体育館2階多目的室を拡充し新設 ◇施設概要 延床面積 88.1㎡(15人規模) ②遙堪児童クラブ：遙堪小学校敷地内へ新設 ◇施設概要 木造平屋建て 117.6㎡(20人規模) 学習室、プレイルーム、休養室、事務室ほか ③西野小第2学童クラブ：西野幼稚園敷地内(西野小第1学童クラブ南側)へ移転新設 ◇施設概要 木造平屋建て 183.31㎡ 学習室、プレイルーム、休養室、事務室ほか ④湖陵児童クラブ：増築11.22㎡、改築43.09㎡ (プレイルーム19.91㎡増設、休養室6.23㎡新設) ⑤四絡第1児童クラブ：四絡小学校敷地内へ移転新設 ◇施設概要 軽量鉄骨平屋建て 51.1㎡ ◇リース期間 平成23年5月16日～平成28年5月15日 ⑥檜山ひのき児童クラブ：増築15.09㎡(プレイルーム) | | |
| 平成23年度決算額 | 児童クラブ事業 | 248,858千円 | |
| | 児童クラブ施設整備事業 | 94,149千円(うち繰越明許費11,315千円) | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども・子育て新システムを見据えた施設規模の見直し 2. 入会児童数の増加にともなう施設整備及び老朽化施設の整備 | | |
| 評価 | 4 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|---|---|--------|
| 重点施策名 | 出雲市放課後子どもプラン | | |
| 事業名 | 放課後子ども教室事業 | 担当課 | 青少年育成課 |
| 事業の目的 | 地域において、放課後や週末、長期休業期間中に小学校の利用可能スペースや公共的施設等を利用し、地域の人の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を行うことにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行う。 | | |
| 事業内容 | <p>地域の運営委員会が、放課後や週末、長期休業期間中などに、体験活動や交流活動など事業を実施し、安全で安心して活動する場を作る。</p> <p>○対象者：小学校1年生～6年生</p> <p>○開設日：地域の事情により開設</p> <p>○開設場所：小学校施設やコミュニティセンター等公共施設等</p> <p>○活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動見守型：読書、自由遊び ・教室型：学習指導、料理教室、軽スポーツ、地域の伝統行事、ものづくり等 | | |
| 達成状況 | <p>各地域の運営委員会等で創意工夫し、土・日や長期休業期間を中心に子どもたちの体験活動などを開催した。</p> <p>○教室開催状況：25教室</p> <p>○開催日数(全体)：1,468日</p> <p>○参加数(全体)：27,697人</p> <p>○主な活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①室内遊び：紙芝居、囲碁、将棋、折り紙、トランプ、ボードゲーム等) ②スポーツ関係：ニュースポーツ、野球、サッカー、ゲートボール、バスケット等) ③文化関係：書道、英会話、郷土文化体験、料理教室、ものづくり教室等) ④伝統行事 等 | | |
| 平成23年度決算額 | 12,676千円(斐川地域分375千円) | | |
| 事業の課題 | <p>1. 未開設地域における開設の検討</p> <p>2. 教室の活動内容の充実及び各教室間の情報交換</p> | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(2) 青少年ネットワーク事業

【点検・評価シート】

| 重点施策名 | 青少年ネットワーク事業 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|--------|-----|-----|-----|-------------|--------------------|----|--------|--------------------|----|--------|------------|----|
| 事業名 | 青少年ネットワーク支援事業 | 担当課 | 青少年育成課 | | | | | | | | | | | | |
| 事業の目的 | 地区青少年ネットワークにおける青少年育成の総合的な推進を図る。 子ども会の活動を支援し、子ども会組織の結成・活性化を促進するとともに、子どもサポーターの育成・支援を図る。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <p>○地区青少年ネットワーク支援事業補助金 【補助対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動に関する事業 ・子ども会の結成に係る事業 ・地区青少年ネットワークに関する事業 ・その他青少年活動に関する事業 <p>【補助金割合】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">項 目</th> <th style="width: 33%;">内 容</th> <th style="width: 33%;">割 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティセンター割</td> <td>コミュニティセンターに対し同額を配分</td> <td>3割</td> </tr> <tr> <td>子ども会数割</td> <td>補助金を活用する子ども会を按分し配分</td> <td>3割</td> </tr> <tr> <td>子ども人数割</td> <td>小学校児童数割で按分</td> <td>4割</td> </tr> </tbody> </table> | | | 項 目 | 内 容 | 割 合 | コミュニティセンター割 | コミュニティセンターに対し同額を配分 | 3割 | 子ども会数割 | 補助金を活用する子ども会を按分し配分 | 3割 | 子ども人数割 | 小学校児童数割で按分 | 4割 |
| 項 目 | 内 容 | 割 合 | | | | | | | | | | | | | |
| コミュニティセンター割 | コミュニティセンターに対し同額を配分 | 3割 | | | | | | | | | | | | | |
| 子ども会数割 | 補助金を活用する子ども会を按分し配分 | 3割 | | | | | | | | | | | | | |
| 子ども人数割 | 小学校児童数割で按分 | 4割 | | | | | | | | | | | | | |
| 達成状況 | <p>○各地区で青少年ネットワークを組織し、子ども会活動の活性化に向けた取組を行った。</p> <p>○平成23年度の補助事業で実施した子ども会数: 393子ども会 主な活動 ①季節行事(七夕会、クリスマス会、節分会) ②地域行事参加(地域での祭り、とんどさん) ③清掃活動 ④体験活動(科学館・風の子学習館等施設見学に伴う体験、花苗・芋苗植え等体験、木工体験、スケート等各種スポーツ体験他)</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度 決算額 | 7,414千円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の課題 | <p>1. 少子化の中、一町内会単位では子ども会の結成が難しい状況であり、複数の町内会等が参加する子ども会の結成が必要である。</p> <p>2. 補助金交付開始から10年を経過し、事業の見直しが必要となっている。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | | | | | | | | | | | | | |

(3)子どもの安全対策

【点検・評価シート】

| 重点施策名 | 子どもの安全対策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--|----------|-----|------|---------------|----------|-----|----|----|---|-----|---|---|---|------|----|----|---|
| 事業名 | 子ども安全対策事業 | 担当課 | 青少年育成課 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の目的 | 子ども安全センターに指導員を配置し、警察署との連携のもと、子どもの安全確保及び学校の安全管理や安全指導のよりいっそうの充実を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○子ども安全センター指導員1名の配置 ○スクールガードリーダー3名の委嘱 ○業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全点検、安全マップづくりの指導、支援 ・防犯教室の支援 ・指導者研修会の企画・開催 ・情報ネットワークの構築、情報の集約と発信 ・安全リーフレットの発行等の広報活動 ・実態把握及び見守りのための学校訪問、地域巡回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ○防犯情報のメール発信 ○「子ども安全センターだより」(毎月)を作成し、学校へ配付 ○不審者侵入対応マニュアル(DVD)を作成し、学校へ配付 ○学校安全研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:平成23年6月30日 ・開催場所:くにびき大ホール ・出席者:出雲市、斐川町のPTA会長等56人 ○防犯教室、地域安全マップづくりの開催 <table border="1" style="margin-left: 40px; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>防犯教室</th> <th>不審者侵入 避難教室</th> <th>安全マップづくり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>38</td> <td>27</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>幼・保園</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> | | | 区 分 | 防犯教室 | 不審者侵入 避難教室 | 安全マップづくり | 小学校 | 38 | 27 | 3 | 中学校 | 5 | 7 | 0 | 幼・保園 | 27 | 24 | 0 |
| 区 分 | 防犯教室 | 不審者侵入 避難教室 | 安全マップづくり | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | 38 | 27 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校 | 5 | 7 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 幼・保園 | 27 | 24 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度 決算額 | 2,492千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 不審者による声かけ事案等が平成23年度では47件あり、子どもたちが自らを守るための危機回避訓練や校内の不審者侵入対応訓練の実施など、子ども安全センターが果たすべき役割は大きくなっている。 2. 地域での見回り活動など、地域と学校との連携は強くなっているが、保護者の意識を高めるため、啓発活動が今後更に必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | 4 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(4)子ども・若者の総合支援

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|--------|
| 重点施策名 | 子ども・若者の総合支援 | | |
| 事業名 | 子ども・若者総合支援事業 | 担当課 | 青少年育成課 |
| 事業の目的 | ニート、ひきこもり、不登校、発達障がい等の困難を抱える子ども・若者の総合相談窓口を設置し、子ども・若者やその家族からの相談に応じ、支援を行う。 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○子ども・若者支援センターの設置 <ul style="list-style-type: none"> 【相談業務】 電話、面接、訪問相談の実施 【支援業務】 文化スポーツ、就労、地域活動、学習などの各種体験支援 【街頭活動】 街頭活動による非行・被害防止の取組 【環境浄化活動】 有害図書等の回収 【啓発活動】 子ども・若者の育成に関する広報啓発活動 ○出雲市子ども・若者支援協議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者育成支援推進法に定める支援地域協議会による子ども・若者支援 ・子ども・若者の支援に関する啓発活動、人材育成の取組 | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ○子ども・若者支援センター相談状況 <ul style="list-style-type: none"> ・面接相談1,188件 電話相談599件 合計1,787件 ○子ども・若者支援センター支援活動の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・実施人数 16人 ○有害図書回収実績 <ul style="list-style-type: none"> ・図書類 983 ビデオ類 1,277 その他 33 計2,293 ○子ども・若者支援協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催状況 代表者会議 3回 実務者会議 1回 ・講演会 「不登校・ひきこもりの人への支援を考える」 平成24年3月10日(土) 於ビッグハート出雲 (参加人数 180人) 講師 竹中哲夫氏(日本福祉大学名誉教授) ・研修会 5回開催 参加者 協議会関係機関・団体の職員、子ども・若者支援センター継続支援員 (参加人数 延べ171人) ○出雲市子ども・若者計画(事業)策定の検討 | | |
| 平成23年度 決算額 | 15,913千円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども・若者支援センターにおける相談支援の充実に関しては、他の機関との連携を個別に行うに留まっており、必要なケースに関して、関係機関と一堂に会し支援の検討を行う個別ケース検討会議の開催が必要である。 2. 子ども・若者支援センターの周知を更に図る必要がある。 3. 地域において子ども・若者支援に関する必要性の認知が必要であり、引き続き講演会等により広報啓発に努める必要がある。 | | |
| 評価 | 2 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

5. 教育施設の整備

(1)学校施設整備計画策定事業

出雲市は、小中学校・幼稚園 全86の学校施設（県有施設の若松分校小中各1校を除く）を有しており、施設の耐震性や老朽度、トイレ環境、バリアフリー化等多くの課題があります。

また、これまでは、学校施設整備に関する市の計画基準も明確ではなかったため、耐震化、増改築、大規模改造、リフレッシュ事業等の適用時期や実施にあたっての優先度など、事業化に向けての課題もありました。

特に、学校施設の耐震化は、全国平均より約10%低く、71%であり、早急な対応が求められています。

このため、耐震診断の結果と学校施設の現状調査から様々な課題を把握し、今後の学校施設整備の方向性と、一定の基準に従った学校ごとの整備方針や実施時期を盛り込んだ「学校施設整備・耐震化基本計画」を策定することとしました。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 学校施設整備計画策定事業 | | |
| 事業名 | 学校施設整備計画策定事業 | 担当課 | 教育施設課 |
| 事業の目的 | 今後の出雲市の学校施設整備・耐震化推進のための基準や整備方針、各施設ごとの基本計画を作成する。なお、本計画策定後は、市の総合計画、中期財政計画等と調整のうえ、計画的な学校施設整備を行う。 | | |
| 事業内容 | <p>基本計画策定(事業)の内容及び手順は、次のとおりとする。</p> <p>(1)小中学校、幼稚園86施設(県有施設の若松分校小中各1校を除く)の建築・設備の現状調査を実施し、建築年、老朽度、施設規模(児童生徒園児数の推移)、建築環境総合性能評価(CASBEE)の観点からまとめた学校施設カルテの作成を行う。</p> <p>(2)現状調査に耐震診断結果を反映させ、学校施設(棟別)ごとに、①耐震補強、②耐震改築、③耐震補強と大規模改造、④老朽改築、⑤大規模改造、⑥リフレッシュ事業の6つの整備方針を決定する。</p> <p>(3)整備方針にしたがって、各施設の整備計画案(整備メニュー、年次スケジュール、概算工事費、基本構想図)を作成する。</p> <p>(4)(1)から(3)の資料を基に、年次とコストを記載した15年か年間計画「学校施設整備・耐震化基本計画」を策定する。</p> | | |
| 達成状況 | <p>膨大な学校施設の資料をまとめ、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」を策定することができた。基本計画は、今後の学校施設整備事業の選択や決定のための貴重な資料となると考える。</p> <p>また、本計画を議会をはじめ校長・園長会等で配布し、今後の学校施設整備の方向性、個々の整備内容・実施時期等について説明を行い、一定の理解を得ることもできた。さらに、市のホームページに本編を情報公開し、市民、学校関係者と共に今後の施設整備を考えていくための基礎資料として提供した。</p> | | |
| 平成23年度 決算額 | 8,324千円 | | |
| 事業の課題 | <p>「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」は、出雲市教育委員会として策定したものであり、平成24年度に策定予定の出雲市総合振興計画及び出雲市財政計画に従い、今後調整を図っていくものとする。</p> <p>また、次のことに留意し、円滑な整備を進めていく必要がある。</p> <p>①将来の国の補助採択の状況や市の財政状況により、計画の変更・修正については、柔軟に考え、財源の確保に努めること。</p> <p>②各事業費は、出雲市の過去の実績から標準的な単価により概算を行っているため、具体的な事業費や設計・工事の内容については、事業実施に再検討をしていくこと。</p> <p>③情報の開示(耐震診断結果、老朽状況、ランニングコスト等)を進め、議会及び市民とともに考えていくこと。</p> <p>④学校再編については、その進捗に応じた事業計画を本計画の組み入れること。</p> | | |
| 評価 | 4 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

(2) 耐震化対策推進事業

平成23年度は、平田小学校校舎南棟1棟(Is値0.28)の耐震補強工事を完了しました。

また、光中学校屋内運動場(Is値0.20)の耐震補強設計を実施しました。

なお、市の学校施設の耐震化率は、平成24年3月末現在、7割程度に留まっており、非木造で58棟、木造で3棟の計61棟を対象に耐震化する課題があります。

今後は、財政事情を考慮しながら、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」に基づいて耐震化事業を進めていくこととしています。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 耐震化対策推進事業 | | |
| 事業名 | 耐震化対策推進事業 | 担当課 | 教育施設課 |
| 事業の目的 | 小・中学校、幼稚園の耐震化を推進し、園児、児童、生徒等の安全の確保を図るとともに、教育環境の整備を行う。 | | |
| 事業内容 | 1. 耐震補強工事（平田小学校校舎南棟） 2. 耐震補強設計（光中学校屋内運動場） | | |
| 達成状況 | 耐震診断結果により、構造耐震指標Is値0.28(0.3以下は、早急な耐震化が求められる。)の平田小学校校舎南棟については、平成22年度中に耐震補強工事に着手し、平成23年度に工事を完了した。特に、この耐震補強工事においては、設計・施工とも現場における状況が厳しいものがあつたが、学校の協力のもとで完成することができた。 光中学校屋内運動場(Is値0.20)についても、早急に耐震補強工事を実施するための耐震補強設計を行った。 平成23年度に学校施設の耐震診断結果が出揃い、「学校施設整備・耐震化基本計画」を作成したので、今後、耐震化対策を優先して取り組んでいく。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 44,480千円 | | |
| 事業の課題 | 耐震補強工事の実施にあたっては、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」に基づいて、財政計画との整合を図りながら計画的に進めていく方針であるが、国が目標とする平成27年度までには、毎年10棟以上の耐震化工事を実施していく必要があり、財政面からも厳しい状況である。 | | |
| 評価 | 3 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

(3) 小中学校、幼稚園改築事業

学校施設の改築については、施設の建築年度や老朽度などを総合的に勘案し、計画的な整備を行いました。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 小中学校、幼稚園改築事業 | | |
| 事業名 | 小中学校、幼稚園改築事業 | 担当課 | 教育施設課 |
| 事業の目的 | 小中学校、幼稚園の安全性の確保を図るため、施設の建築年度や老朽度などを総合的に勘案し、学校施設の改築整備を行う。 | | |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 北陽小学校校舎増築事業 近年、児童数が大幅に増え、教室数が不足する見込みのため施設整備を実施。 西野小学校プール改築事業 建築以来36年が経過し老朽化が著しく、さらに大規模校のため狭隘で利用に支障をきたしている状況にあったため、プールの移転改築及び駐車場整備を行った。 向陽中学校整備事業 旭丘中は建築以来50年以上経過し、老朽化が著しいため、学校の移転改築に併せ、新たに灘分地区を加えた小学校4校区とする向陽中学校を、灘分町地内の主要地方道斐川一畑大社線沿に整備する。 第三中学校特別支援学級改造及びエレベーター棟増築事業 平成24年度に入学予定の肢体不自由児に支障が生じないよう、施設整備する。 佐田中学校整備事業 老朽化した校舎、屋内運動場の改築に向けた事業。 荘原幼稚園整備事業 建築以来50年以上経過し、老朽化が著しく、更に狭隘で利用に支障をきたしている状況にあったため、東部保育園隣接市有地への移転改築を行った。 | | |
| 達成状況 | <ol style="list-style-type: none"> 北陽小学校校舎増築事業 来年度の校舎増築工事に向け、実施設計業務及びボーリング地質調査を実施。 西野小学校プール改築事業 プール:FRP製メインプール25m×15m、サブプール10m×8m 付属棟:木造平屋建160㎡(更衣室、トイレ、機械室、物置等) 外 構:屋体からの歩道、擁壁、フェンス、採石駐車場等 向陽中学校整備事業 平成23年度は、校舎・屋内運動場改築工事、敷地造成工事を実施した。 ※校舎・屋内運動場改築工事は、2か年(平成23～24年度)の継続事業。 第三中学校特別支援学級改造及びエレベーター棟増築事業 特別支援学級改造:61.4㎡ エレベーター:鉄骨4階建49.4㎡ 定員13人 車椅子兼用型1基 佐田中学校整備事業 平成23年度は、基本計画策定業務を実施した。 荘原幼稚園整備事業 園 舎:鉄骨造平屋建935㎡(保育室5室、遊戯室、職員室等) 園庭・駐車場:遊具6基、砂場1箇所、植栽、駐車場26台 屋外倉庫棟:木造平屋建21㎡ | | |
| 平成22年度 決算額 | <p style="text-align: center;">1,056,924千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①北陽小学校校舎増築事業 26,818千円</p> <p>②西野小学校プール改築事業 139,179千円</p> <p>③向陽中学校整備事業 588,814千円</p> <p>④第三中学校特別支援学級改造及びエレベーター棟増築事業 59,089千円</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>⑤佐田中学校整備事業 4,875千円</p> <p>⑥荘原幼稚園整備事業 238,149千円</p> </div> </div> | | |
| 事業の課題 | 学校施設数は、86施設を有しており、対応すべき課題が多くなっているが、「学校施設整備・耐震化基本計画」に基づいて、取り組む必要がある。そのための財源と技術職の確保に課題がある。 | | |
| 評価 | 4 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

6. 理科教育の充実

(1) 科学館理科学習事業

出雲科学館は、次代を担う子どもたちの科学に対する好奇心や探究心を高め、問題解決能力や創造性を育む施設として、また、年代を問わず「学び」「遊び」「楽しむ」ことのできる生涯学習の施設、さらには、教職員の研修や教材の研究・開発に活用できる施設として、平成14年7月に開館しました。

市町村合併による市域の拡大に伴い、平成19年には、実験室・実習室4教室を含む理科学習棟を増築し、市内の全小中学校を対象とした科学館理科学習を実施しています。

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 理科教育の充実 | | |
| 事業名 | 科学館理科学習事業 | 担当課 | 出雲科学館 |
| 事業の目的 | 市内の小学3年から中学3年までの小中学生を対象として、学校ではできないような最新鋭の高度な設備・装置等を駆使した独自のカリキュラムによる創造的な体験・実験学習を行い、子どもたちの独創性豊かな学習能力・学習意欲の向上をめざす。 | | |
| 事業内容 | 理科学習年間計画に基づき、学年に応じて年1回から3回科学館へバスで来館し、午前4クラス、午後4クラス計1日最大8クラスが1回あたり3時限の理科学習を行う。1時間目は単元導入の参加型の実験演示を行い、2・3時間目は児童生徒が自ら実験や実習に取り組み、それらの体験をとおして理科への理解を深める。 | | |
| 達成状況 | 4月13日の小学6年生の授業を皮切りに、年間計画に基づいて市内全校が科学館理科学習を実施した。平成23年度は、市内49校、延べ17,750人の児童、生徒が科学館での授業を受けた。1時間目はサイエンスホールで演示実験、2・3時間目は実験、実習室に移って児童、生徒自らが実験や実習を行う体験型の理科学習に、子どもたちは好奇心や興味で目を輝かせていた。 科学館理科学習を終えた子どもたちに、科学館での理科学習に興味を持って一生懸命に取り組めたかどうかのアンケートを行ったところ、約98%の子どもたちが「できた」「だいたいできた」と答え、引率教員への効果的な学習であったかどうかのアンケートでも、85%～89%の教員が「効果的だった」と回答し、科学館理科学習が子どもたちや学校現場の教員からも高く評価されている結果となった。 | | |
| 平成23年度決算額 | 18,324千円 | | |
| 事業の課題 | 島根県で実施されている学力調査などにおいて、こうした先進的で継続的な取組により、全教科において県平均を大きく上回る良好な結果を生んでいる。 このような成果は、開館以来の継続的な取組によって表れてきているもので、今後も引き続き積極的に事業展開を図っていく。 また、新学習指導要領の全面実施なども踏まえ、さらに科学館学習の特色を生かした効果的な授業となるよう工夫、改良を重ねる必要がある。 なお、理科学習事業の持続的な事業展開と充実のために、島根県による理科教員の配置が不可欠であり、そのため、今後も継続して県教委に対し配置要望を行う必要がある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(2) 生涯学習事業

子どもから大人まで幅広く市民を対象として、実験教室や工作教室、イベント、企画展などを開催し、新たな発見やものづくりでの感動を共有していくことで、科学技術に関する知識や技術の向上をめざし、出雲市の人材育成につなげています。

実験教室や工作教室では、休日等を中心に気軽に参加できる自由参加教室や内容が少し高度で時間をかけて取り組める事前応募教室、また、常設の展示にはない個別のテーマの企画展の開催など、できるだけ多くの市民に科学の魅力に触れてもらおうと幅広く事業を展開しています。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 理科教育の充実 | | |
| 事業名 | 生涯学習事業 | 担当課 | 出雲科学館 |
| 事業の目的 | 子どもから大人まで幅広く市民を対象として、実験教室や工作教室、イベント、企画展などを開催し、新たな発見やものづくりでの感動を共有していくことで、科学技術に関する知識や技術の向上を図るとともに、出雲市の人材育成をめざす。 | | |
| 事業内容 | 各種教室やイベントを週末や夏季休業期間等を中心に、125種類、約1,400回開催し、延べ3万4千人余りの参加があった。また企画展については、年間を通じて16種類開催した。毎年恒例となっている「科学の祭典」「サイエンスショー」などは、多くの市民から期待が集まっており、今年も多くの参加者で賑わった。 | | |
| 達成状況 | 様々な分野に及ぶ各種教室や企画展の参加者にアンケートをとったところ、その内容が「とても良かった。」「良かった。」との回答が98%あり、市民から高く評価されていた。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 5,358千円 | | |
| 事業の課題 | 今後も常に新しい視点から、より興味、関心をもって参加してもらえるよう事業運営の効率化を図るとともに、工夫、改善を図っていく必要がある。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

(3) 教員研修事業

学校での理科授業で直面する具体的な項目をテーマとして、実技や実習をまじえた授業に役立つ研修会を開催して教員の指導力向上を図っています。また、科学館を市内の教員の学習教材の研究・開発の拠点として位置づけ、資質の向上、楽しく、わかりやすい理科授業のための教材作成支援、資料・情報の提供を行っています。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 理科教育の充実 | | |
| 事業名 | 教員研修事業 | 担当課 | 出雲科学館 |
| 事業の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な項目をテーマとして、実技や実習をまじえた研修会を開催し教員の資質向上を図る。 ・市内の教員の学習教材の研究・開発の場として開放し、教材作成支援、資料・情報の提供を行い、指導力の向上をめざす。 | | |
| 事業内容 | <p>新学習指導要領に対応するための教材活用に関する実技研修として、出雲市理科教育研究会の推薦を得た大学の教員を講師として招き、8月9日に小・中学校教員を対象とした「電気の単元の教材・教具作りと実験」という内容の研修を行い、32名の参加があった。</p> <p>この他、社会貢献活動体験研修として、15名の教職初任者を受け入れるとともに、1年間にわたる長期社会体験研修として1名を受け入れた。</p> | | |
| 達成状況 | <p>小中学校理科教育の教材製作や研究を行い、理科教育教材に対する理解を深めるとともに、指導力の向上を図った。</p> <p>また、社会貢献活動体験研修では、イベントの補助業務に参加することを通じ、たくさんの人と触れ合うことで、より豊かな人間性・社会性の向上に役立てていただくことが期待できるものとなった。</p> | | |
| 平成23年度 決算額 | <p style="text-align: center;">0円 (科学系博物館活動等助成を受けて実施〔事業費75千円〕)</p> | | |
| 事業の課題 | <p>～新学習指導要領に対応するための研修～</p> <p>このような具体的な教員研修は、科学教育での指導力向上に大きな効果が期待できるものとして、今後も実施していくこととしているが、参加教員の減少や小中一貫教育推進の立場から情報交換等ができなかったことは今後の課題であり、再検討の必要がある。</p> | | |
| 評価 | 3 | <p>4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する</p> | |

7. 学校給食の充実

(1)食に関する指導の充実

朝食の欠食、偏食など食生活の乱れや肥満の増加など、子どもたちの健康問題が顕著になっており、食育の推進は喫緊の課題となっています。本市では平成17年度に「出雲市食育のまちづくり条例」を制定し、平成18年度には「出雲市食育まちづくり推進計画」を策定し、全市的に食育推進事業を展開しています。

そのような中で、国でも、平成20年には、学校給食法が改正され、学校給食の目的が従来の「栄養改善」から食の大切さや文化、栄養のバランスを学ぶ「食育」へ転換され、栄養教諭や学校栄養職員による食に関する指導の充実や学校給食における地産地消の促進対策が求められています。

本市学校給食では、このような状況をうけ、学校給食を生きた教材とした食に関する指導の充実と給食食材の地元産利用向上の取組に努めていきます。

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 学校給食の充実 | | |
| 事業名 | 食に関する指導の充実 | 担当課 | 学校給食課 |
| 事業の目的 | 学校給食を通して、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指して、児童生徒一人一人が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようにする。 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導の充実⇒栄養教諭、学校栄養職員が中心となって、学校の各教職員の参画により家庭科や学級活動における食に関する指導の充実を図る。 ・学校・家庭・地域の連携の促進⇒保護者や地域住民への給食試食会等を積極的に進め、学校給食に対する理解を深めるとともに正しい食生活の定着に努める。 | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は、栄養教諭が9名配置された。(平成22年度8名配置) ・栄養教諭と学校栄養職員により、家庭科や「食の学習ノート」を活用した学級活動における食に関する指導を計画的に実施した。食に関する指導回数は昨年度より大幅に増加した。 ・学校・家庭・地域と連携した取組として、親子を対象に学校給食をアレンジしたメニューの調理教室「スクールランチクッキング」を夏休みに開催した。 ・6月の「食育月間」に併せて6月13日からの1週間を「いずも給食week」と定め、一般市民を対象に試食会を開催した。(参加者は159人) ・PTA等保護者対象の試食会の回数・人数(年間)は、124回、3,279人であった。 | | |
| 平成23年度決算額 | 0 円 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教諭の配置に伴う課題として、栄養教諭がセンター配置でなく、学校配置となったことにより、センターでの細やかな給食管理ができなくなった。(学校が本務校となるため) 2. センター方式では、限られた学校栄養職員で、すべての小・中学校への「食の指導」は難しく、担任や養護教諭とのよりいっそうの連携が必要となる。 3. 栄養教諭の役割としては、全学校への食育活動普及コーディネーターの活動が期待される。 | | |
| 評価 | 2 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

(2)地産地消対策

学校給食における食育推進と安全・安心な食材確保を図るために、地産地消(出雲市産食材使用を高める)を推進していきます。特に、出雲市で採れる旬な野菜や果物など地元特産食材を優先的に献立に取り入れていきます。

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|---|---|-------|
| 重点施策名 | 学校給食の充実 | | |
| 事業名 | 地産地消対策 | 担当課 | 学校給食課 |
| 事業の目的 | 学校給食における食育推進と安全・安心な食材確保を図るために、地産地消(出雲市産食材使用を高める)を推進する。 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食に使用する食材の選定において、出雲市産食材を優先的に使用する。 ・特に、市内7センターが共通して、出雲市産の旬な食材・特産品を使用する「おいしい出雲の一日」献立を設け、地産地消の促進を図る。 | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・米は100%地元産コシヒカリを使用した。(JAいずもから購入・市から良質米消費促進補助金を受けている) ・21年度から、全市同一食材による「おいしい出雲の一日」献立を毎月実施とし、地元産食材(特産品)の使用促進を図った。 ・具体的な「おいしい出雲の一日」献立としては、5月「めのは」、6月「島根ぶどう」、7月「アムスメロン」、9月「出雲ブルー・赤梨」、10月「西浜いも」、11月「富有柿」、12月「出雲そば」、1月「ふるさとカレー」、2月「しじみ汁」、3月「あすっこ」の献立を実施した。 ・学校給食食材仕入れ状況調査(県調査:食材数ベース)による地元産食材使用割合は35.1%、県内産を含めると41.5%となった。また、野菜類では、地元産54.6%、県内産を含めると60.6%となった。 | | |
| 平成23年度決算額 | 学校給食費(食材)会計で対応 | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用食材の数量確保とコスト面の課題がある。特に10,000食の出雲センターでの食材仕入れにあたっては、使用できる食材は限定されているのが実態である。 2. 地元産食材は一般的に仕入れ価格が高く、給食費(保護者負担)の値上げに繋がる。 | | |
| 評価 | 3 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

(3) アレルギー対応給食推進事業

食物アレルギーをもつ児童生徒が年々増加傾向にあり、学校給食での対応を望む声が多くなっています。

出雲学校給食センターでは平成16年3月に「出雲市食物アレルギー対応給食検討委員会」を設置し、アレルギー対応給食のあり方について、検討を重ね、平成18年度には「アレルギー診断基準検討会」からの提言をうけ、統一した問診票・意見書や「対応給食判定会」など「アレルギー対応マニュアル」を策定し、使用頻度が高く5大アレルゲンの筆頭である卵については、代替食によるアレルギー対応給食を提供しています。

また、他のセンターにおいても保護者からの申請により医師の診断書をもとに複数のアレルゲン品目について除去食の提供を行っています。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 学校給食の充実 | | |
| 事業名 | アレルギー対応給食推進事業 | 担当課 | 学校給食課 |
| 事業の目的 | 食物アレルギーを持つ児童生徒の健康な生活と健やかな成長を図るため、個別対応給食(アレルギー対応給食)を実施する。 | | |
| 事業内容 | ・食物アレルギー症状を有する児童生徒に対し、原因となるアレルゲン食品の除去及び代替給食を提供する。 | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応給食人数は、年々増加傾向にあり、本年度は93人と昨年度より28人増加した(内斐川センター:21名)。 ・出雲センターでは、「食物アレルギー診断基準検討会」で作成された統一の問診票・意見書と栄養士による保護者面談等の実態調査などに基づき、「アレルギー対応給食判定会」を経て、卵アレルギー対応給食(代替食)を提供した。また、他のアレルゲンについては、「アレルゲンチェック献立表」を作成し、対象家庭に配付した。 ・他センターについては、原則、保護者申請と医師の診断書をもとに、複数アレルゲン食品の除去食を中心とした対応給食を提供した。 ・牛乳アレルギーに対しては、飲用中止対応を図った。 ・平成23年度、新入学生対象とした全センターでの実態調査を行った。 | | |
| 平成23年度 決算額 | 126千円 (アレルギー対応給食判定会等経費) | | |
| 事業の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各センターでアレルギー対応給食の対象者決定や対応アレルゲン品目が異なっていることから、統一した実施方法が求められている。 2. 児童生徒へのアレルギー実態調査の実施や統一した問診・意見診断書、家庭・保護者からの聞き取り方法及び「アレルギー対応判定会」など対応基準・手続きの統一が求められている。また、アレルギー対応給食について給食センター施設規模等に依じた対応(複数のアレルゲン、除去食か栄養価を備えた代替食かなど)の検討が必要である。 | | |
| 評価 | 3 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

(4)給食センター再編整備事業

出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町及び大社町の2市4町が平成17年3月22日に合併し、それぞれの旧市町で設置された学校給食センター施設及びその運営を、新市にそのまま引き継ぎ給食事業の展開を図っています。

そうした中、老朽化している平田と大社センターの統廃合や各学校給食センターにおける給食費の違い、給食会のあり方など、新市として解決すべき課題があることから、平成19年10月に「出雲市学校給食センター再編整備検討委員会」を設置し、①給食センターの再編と新センター建設のあり方、②学校給食費の統一、③学校給食会のあり方について鋭意検討を行い、特に新センター建設事業(平成24年2学期稼働)を進めています。

【点検・評価シート】

| | | | |
|-----------|--|---|-------|
| 重点施策名 | 学校給食の充実 | | |
| 事業名 | 給食センター再編整備事業 | 担当課 | 学校給食課 |
| 事業の目的 | 老朽化した大社・平田給食センターを統廃合し、新しい給食センター(以下「(新)平田給食センター」という。)を建設する。併せて、現在のセンター別給食対象校の再編を図る。 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・(新)平田給食センター建設事業の年次計画推進と給食費の統一、給食会統合の検討。 ◆建設スケジュール 平成22年度 造成工事(2期:水路、整地工等)、実施設計 平成23年～平成24年 建築工事・厨房設備工事(竣工予定 平成24年6月) 平成24年2学期～ 稼働(7月～8月試運転) | | |
| 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・(新)平田給食センター建設事業としては、平成21年から建設用地の造成工事(1期:地盤改良)に着手し、平成22年度に排水路、調整池、整地工などの造成工事を終えた。 ・平成22年2月に(新)平田給食センターの建設基本計画書を作成し、これに従って実施設計業務を進めた。 ・平成23年7月に建物本体と設備工事に着手した。【平成24年度までの継続事業】 ・給食費の統一を図るための準備として、給食食材の購入価格の平準化のため「出雲市給食献立方針」を作成した。 | | |
| 平成23年度決算額 | 525,224千円 ((新)平田給食センター建築主体工事、給排水衛生設備工事など) | | |
| 事業の課題 | 1. 平田・大社センター統廃合による(新)平田給食センター建設では、建物ばかりでなく、新たな給食運営体制や、配送業務体制及び食材購入体制を構築する必要がある。 | | |
| 評価 | 4 | 4達成できた 3ほぼ達成できた 2改善を要する部分がある 1大いに改善を要する | |

8. 社会教育の充実

(1) 公民館事業

出雲市では地区の拠点施設として、コミュニティセンターを設置していますが、合併前の斐川町では公民館を設置しているため、合併後、コミュニティセンターへ移行するまで公民館を管理運営します。

【点検・評価シート】

| | | | |
|---------------|---|---|---------|
| 重点施策名 | 公民館活動の充実 | | |
| 事業名 | 公民館管理運営事業 | 担当課 | 斐川教育事務所 |
| 事業の目的 | 出雲市では地区の拠点施設として、コミュニティセンターを設置しているが、合併前の斐川町では公民館を設置していたことから、合併後、コミュニティセンターへ移行するまでの間、公民館を管理運営し、社会教育の推進、生涯学習の振興、社会福祉の増進等を図る。 | | |
| 事業内容 | 生涯学習やボランティア活動の推進をととして、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の向上、社会福祉の増進に寄与することをめざして、各種の事業を実施した。 また、地区住民が利用しやすいような管理、運営に努め、館長(非常勤)、主事(常勤)、主事補(非常勤)、警備員(非常勤)を配置し、地区内のボランティアの協力を得ながら行った。 | | |
| 達成状況 | 地区の拠点施設として、下記の活動に取り組み、目的を達成した。 1. 各種教室・講座・クラブ活動の開催 2. 花いっぱい運動(公民館周辺の美化活動)の推進 3. 女性部活動(文化・福祉・環境など)の実施 4. リサイクル活動の推進(リサイクルステーションの活用) 5. ボランティア活動の普及・定着(健康づくり活動・ミニディサービス事業等) 6. 青少年の健全育成活動の実施(安全パトロール等) 上記活動を含む利用者数 7地区の公民館の平均利用者数 年間 7,315人(最多11,988人、最少3,043人) | | |
| 平成23年度 決算額 | 7,565千円 ※決算額は、合併後(10月1日以降)の金額 | | |
| 事業の課題 | 1. 建築後30年を経過した公民館が多く、施設の老朽化が進んでいる。 | | |
| 評価 | 3 | 4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 改善を要する部分がある 1 大いに改善を要する | |

平成23年度 小中学校の児童生徒数及び学級数一覧表

(平成23年5月1日時点)

| 学校名 | 区分 | 通常の学級 | | | | | | | 特別支援学級 | | | | | | | | | | 合計 | | |
|--------------|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|--------|----|---|---|---|---|---|--------|----|-----------|-----|-----------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 児童 生徒数 | 学級数 | 知 | 肢 | 病 | 弱 | 難 | 言 | 自 情 | 院 | 児童 生徒数 | 学級数 | 児童 生徒数 | 学級数 |
| 今市小 | 人数 | 87 | 73 | 86 | 94 | 71 | 70 | 481 | | 4 | | | | | | 6 | | 10 | | 491 | |
| | 編制 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | | 16 | 1 | | | | | | 1 | | | | 2 | 18 |
| 大津小 | 人数 | 92 | 84 | 93 | 95 | 107 | 111 | 582 | | 5 | | | | | 3 | | 8 | | 590 | | |
| | 編制 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | 18 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | 20 | |
| 上津小 | 人数 | 7 | 9 | 7 | 11 | 12 | 12 | 58 | | 1 | | | | | | | 1 | | 59 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | | | | | 1 | 7 | |
| 塩冶小 | 人数 | 144 | 125 | 135 | 168 | 141 | 158 | 871 | | 4 | 1 | | | | 4 | 3 | 12 | | 883 | | |
| | 編制 | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4 | | 27 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 4 | 31 | |
| 神戸川小 | 人数 | 87 | 91 | 99 | 92 | 98 | 96 | 563 | | 3 | 1 | | | | 3 | | 7 | | 570 | | |
| | 編制 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | | 19 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 3 | 22 | |
| 神戸川小 若松分校 | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | 3 | | 3 | | 3 | | |
| | 編制 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | |
| 高松小 | 人数 | 107 | 119 | 116 | 103 | 111 | 101 | 657 | | 3 | 1 | | | | 2 | | 6 | | 663 | | |
| | 編制 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | | 20 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 3 | 23 | |
| 長浜小 | 人数 | 47 | 50 | 53 | 47 | 53 | 53 | 303 | | 2 | | | | | 1 | | 3 | | 306 | | |
| | 編制 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 12 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | 14 | |
| 四絡小 | 人数 | 106 | 115 | 115 | 98 | 125 | 116 | 675 | | 6 | 1 | | | | 3 | 1 | 11 | | 686 | | |
| | 編制 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | | 19 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 4 | 23 | |
| 高浜小 | 人数 | 44 | 31 | 39 | 40 | 37 | 35 | 226 | | 3 | | | | | | | 3 | | 229 | | |
| | 編制 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 7 | 1 | | | | | | | | | 1 | 8 | |
| 北陽小 | 人数 | 123 | 91 | 100 | 103 | 79 | 99 | 595 | | 3 | 1 | | | | 1 | | 5 | | 600 | | |
| | 編制 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | | 18 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 3 | 21 | |
| 朝山小 | 人数 | 24 | 14 | 7 | 18 | 17 | 25 | 105 | | | 1 | 1 | | | 1 | | 3 | | 108 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | | 1 | 1 | | | 1 | | | | 3 | 9 | |
| 乙立小 | 人数 | 7 | 5 | 5 | 9 | 6 | 7 | 39 | | | | | | | 1 | | 1 | | 40 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 4 | | | | | | 1 | | | | 1 | 5 | |
| 稗原小 | 人数 | 7 | 16 | 12 | 15 | 12 | 13 | 75 | | | | | | | 1 | | 1 | | 76 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | | | | | | 1 | | | | 1 | 7 | |
| 神西小 | 人数 | 28 | 40 | 31 | 42 | 46 | 30 | 217 | | 3 | | | | | | | 3 | | 220 | | |
| | 編制 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | | 9 | 1 | | | | | | | | | 1 | 10 | |
| 出雲計 | 人数 | 910 | 863 | 898 | 935 | 915 | 926 | 5447 | | 37 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 29 | 4 | 77 | | 5524 | |
| | 編制 | 34 | 34 | 30 | 31 | 30 | 28 | | 187 | 11 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 | 2 | | | 32 | 219 |
| 平田小 | 人数 | 62 | 69 | 72 | 73 | 67 | 67 | 410 | | 4 | | | | 1 | 1 | | 6 | | 416 | | |
| | 編制 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 14 | 1 | | | | | 1 | | | | 3 | 17 | |
| 灘分小 | 人数 | 54 | 29 | 39 | 43 | 41 | 40 | 246 | | 2 | | | | | 1 | | 3 | | 249 | | |
| | 編制 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | | 9 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | 11 | |
| 国富小 | 人数 | 23 | 32 | 36 | 32 | 35 | 27 | 185 | | | | | | | 1 | | 1 | | 186 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | | | | | | 1 | | | | 1 | 7 | |
| 西田小 | 人数 | 13 | 10 | 14 | 14 | 14 | 10 | 75 | | | | | | | | | 0 | | 75 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | | | | | | | | | | 0 | 6 | |
| 鰐淵小 | 人数 | 8 | 3 | 8 | 3 | 5 | 2 | 29 | | | | | | | | | 0 | | 29 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 4 | | | | | | | | | | 0 | 4 | |
| 鰐淵小 猪目分校 | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | 0 | | 0 | | |
| | 編制 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| 久多美小 | 人数 | 28 | 25 | 25 | 18 | 22 | 20 | 138 | | 4 | | | | | 2 | | 6 | | 144 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | 8 | |
| 檜山小 | 人数 | 6 | 11 | 15 | 6 | 15 | 9 | 62 | | 2 | | | | | | | 2 | | 64 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | | | | | 1 | 7 | |
| 東小 | 人数 | 19 | 21 | 15 | 31 | 19 | 17 | 122 | | 5 | | | | | | | 5 | | 127 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | | | | | 1 | 7 | |
| 北浜小 | 人数 | 6 | 4 | 8 | 8 | 8 | 10 | 44 | | | | | | | | | 0 | | 44 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 5 | | | | | | | | | | 0 | 5 | |
| 塩津小 | 人数 | 2 | 3 | 1 | 3 | 2 | 1 | 12 | | 2 | | | | | | | 2 | | 14 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 3 | 1 | | | | | | | | | 1 | 4 | |
| 佐香小 | 人数 | 11 | 4 | 9 | 6 | 11 | 9 | 50 | | | | | | | 1 | | 1 | | 51 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 5 | | | | | | 1 | | | | 1 | 6 | |
| 伊野小 | 人数 | 6 | 14 | 11 | 13 | 17 | 13 | 74 | | | | | 1 | | | | 1 | | 75 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | | | | | 1 | | | | | 1 | 7 | |
| 平田計 | 人数 | 238 | 225 | 253 | 250 | 256 | 225 | 1447 | | 19 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 6 | 0 | 27 | | 1474 | |
| | 編制 | 15 | 13 | 13 | 10 | 14 | 11 | | 76 | 6 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 | | | 13 | 89 |
| 窪田小 | 人数 | 7 | 10 | 16 | 5 | 15 | 11 | 64 | | 1 | | | | | | | 1 | | 65 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | | | | | 1 | 7 | |
| 須佐小 | 人数 | 15 | 15 | 23 | 19 | 19 | 15 | 106 | | 2 | | | | | 1 | | 3 | | 109 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | 8 | |
| 佐田計 | 人数 | 22 | 25 | 39 | 24 | 34 | 26 | 170 | | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | | 174 | |
| | 編制 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 12 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | | | 3 | 15 |
| 岐久小 | 人数 | 18 | 17 | 24 | 25 | 22 | 21 | 127 | | 1 | | | | | | | 1 | | 128 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | | | | | 1 | 7 | |
| 田儀小 | 人数 | 9 | 8 | 6 | 9 | 10 | 10 | 52 | | | | | | | | | 0 | | 52 | | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 5 | | | | | | | | | | 0 | 5 | |

| 学校名 | 区分 | 通常の学級 | | | | | | | 特別支援学級 | | | | | | | | | | 合計 | | |
|-------------|----|-------|------|------|------|------|------|-----------|--------|----|---|---|---|---|---|--------|---|-----------|-----|-----------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 児童 生徒数 | 学級数 | 知 | 肢 | 病 | 弱 | 難 | 言 | 自 情 | 院 | 児童 生徒数 | 学級数 | 児童 生徒数 | 学級数 |
| 多伎計 | 人数 | 27 | 25 | 30 | 34 | 32 | 31 | 179 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | 180 | |
| | 編制 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 11 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | | 12 |
| 湖陵小 | 人数 | 38 | 45 | 54 | 58 | 49 | 46 | 290 | | 3 | | 1 | | 1 | | 3 | | 8 | | 298 | |
| | 編制 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 12 | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 4 | | 16 | |
| 湖陵計 | 人数 | 38 | 45 | 54 | 58 | 49 | 46 | 290 | | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 8 | | 298 | |
| | 編制 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 12 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | | 16 | |
| 大社小 | 人数 | 46 | 43 | 43 | 42 | 48 | 62 | 284 | | 3 | | | | | | 1 | | 4 | | 288 | |
| | 編制 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 12 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 14 | | |
| 荒木小 | 人数 | 65 | 55 | 62 | 44 | 50 | 56 | 332 | | 1 | | | | | | 3 | | 4 | | 336 | |
| | 編制 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 13 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 15 | | |
| 遙堪小 | 人数 | 15 | 18 | 21 | 25 | 24 | 17 | 120 | | 1 | | | | | | 1 | | 2 | | 122 | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 8 | | |
| 鶴鷺小 | 人数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 | | | | | | | | | | 0 | | 7 | |
| | 編制 | 1 | | 1 | | 1 | | | 3 | | | | | | | | | 0 | | 3 | |
| 日御碕小 | 人数 | 0 | 4 | 3 | 3 | 4 | 5 | 19 | | | | | | | | | | 0 | | 19 | |
| | 編制 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 3 | | | | | | | | | 0 | | 3 | |
| 大社計 | 人数 | 127 | 121 | 130 | 116 | 127 | 141 | 762 | | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 10 | | 772 | |
| | 編制 | 7 | 6 | 7 | 5 | 7 | 5 | | 37 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 6 | | 43 | |
| 荘原小 | 人数 | 49 | 70 | 77 | 59 | 76 | 73 | 404 | | 2 | | | | 1 | | 3 | | 6 | | 410 | |
| | 編制 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 13 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 3 | | 16 | |
| 出東小 | 人数 | 32 | 31 | 27 | 41 | 29 | 36 | 196 | | 5 | | | 1 | | | 2 | | 8 | | 204 | |
| | 編制 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 8 | 1 | | | 1 | | 1 | | 3 | | 11 | | |
| 西野小 | 人数 | 107 | 111 | 109 | 112 | 114 | 122 | 675 | | 6 | | | | | | 4 | | 10 | | 685 | |
| | 編制 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | | 19 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 21 | | |
| 中部小 | 人数 | 66 | 64 | 64 | 84 | 78 | 59 | 415 | | 6 | | | | | | 3 | | 9 | | 424 | |
| | 編制 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | | 15 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 17 | | |
| 斐川計 | 人数 | 254 | 276 | 277 | 296 | 297 | 290 | 1690 | | 19 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 12 | 0 | 33 | 0 | 1723 | |
| | 編制 | 9 | 11 | 8 | 10 | 8 | 9 | | 55 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 10 | 0 | 65 | |
| 小学校計 | 人数 | 1616 | 1580 | 1681 | 1713 | 1710 | 1685 | 9985 | | 87 | 6 | 2 | 1 | 4 | 0 | 56 | 4 | 160 | 0 | 10145 | |
| | 編制 | 71 | 70 | 64 | 61 | 65 | 59 | | 390 | 28 | 6 | 2 | 1 | 4 | 0 | 26 | 2 | 0 | 69 | 459 | |
| 第一中 | 人数 | 186 | 201 | 189 | | | | 576 | | 5 | | | 1 | | | 5 | | 11 | | 587 | |
| | 編制 | 5 | 6 | 5 | | | | | 16 | 1 | | | 1 | | | 1 | | 3 | | 19 | |
| 第二中 | 人数 | 157 | 192 | 163 | | | | 512 | | 9 | | 1 | | | | 4 | 2 | 16 | | 528 | |
| | 編制 | 4 | 5 | 5 | | | | | 14 | 2 | | 1 | | | 1 | 1 | | 5 | | 19 | |
| 第三中 | 人数 | 212 | 187 | 230 | | | | 629 | | 6 | | | | | | 3 | | 9 | | 638 | |
| | 編制 | 6 | 5 | 6 | | | | | 17 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 19 | | |
| 河南中 | 人数 | 101 | 116 | 124 | | | | 341 | | 5 | | | | | | 3 | | 8 | | 349 | |
| | 編制 | 3 | 3 | 4 | | | | | 10 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 12 | | |
| 河南中 若松分校 | 人数 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 | | | | | | | | 8 | | 8 | | 8 | |
| | 編制 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | |
| 浜山中 | 人数 | 123 | 138 | 140 | | | | 401 | | 2 | | | | | | 5 | | 7 | | 408 | |
| | 編制 | 4 | 4 | 4 | | | | | 12 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 14 | | |
| 南 中 | 人数 | 39 | 55 | 45 | | | | 139 | | 3 | | | | | | 3 | | 6 | | 145 | |
| | 編制 | 1 | 2 | 2 | | | | | 5 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 7 | | |
| 出雲計 | 人数 | 818 | 889 | 891 | | | | 2598 | | 30 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 31 | 2 | 65 | | 2663 | |
| | 編制 | 23 | 25 | 26 | | | | | 74 | 7 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 | 1 | 17 | | 91 | |
| 平田中 | 人数 | 181 | 189 | 196 | | | | 566 | | 3 | | | | | | 7 | | 10 | | 576 | |
| | 編制 | 5 | 5 | 5 | | | | | 15 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 17 | | |
| 旭丘中 | 人数 | 48 | 38 | 40 | | | | 126 | | 3 | | | | | | 2 | | 5 | | 131 | |
| | 編制 | 2 | 1 | 1 | | | | | 4 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 6 | | |
| 光中 | 人数 | 20 | 21 | 19 | | | | 60 | | | | | | | | | | 0 | | 60 | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | | | | | 3 | | | | | | | | | 0 | | 3 | |
| 平田計 | 人数 | 249 | 248 | 255 | | | | 752 | | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 15 | | 767 | |
| | 編制 | 8 | 7 | 7 | | | | | 22 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | | 26 | |
| 佐田中 | 人数 | 25 | 32 | 31 | | | | 88 | | 1 | | | | | | 1 | | 2 | | 90 | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | | | | | 3 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 5 | | |
| 多伎中 | 人数 | 37 | 27 | 29 | | | | 93 | | 1 | | | | | | 3 | | 4 | | 97 | |
| | 編制 | 1 | 1 | 1 | | | | | 3 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 5 | | |
| 湖陵中 | 人数 | 59 | 36 | 44 | | | | 139 | | 2 | | | 1 | | | 2 | | 5 | | 144 | |
| | 編制 | 2 | 1 | 2 | | | | | 5 | 1 | | | 1 | | 1 | | 3 | | 8 | | |
| 大社中 | 人数 | 128 | 117 | 136 | | | | 381 | | 7 | 1 | | | | | 2 | | 10 | | 391 | |
| | 編制 | 4 | 3 | 4 | | | | | 11 | 1 | 1 | | | | 1 | | 3 | | 14 | | |
| 斐川東中 | 人数 | 125 | 113 | 118 | | | | 356 | | 1 | | | | | | 3 | | 4 | | 360 | |
| | 編制 | 4 | 3 | 3 | | | | | 10 | 1 | | | | | 1 | | 2 | | 12 | | |
| 斐川西中 | 人数 | 179 | 175 | 166 | | | | 520 | | 3 | | 1 | | | | 7 | | 11 | | 531 | |
| | 編制 | 5 | 5 | 5 | | | | | 15 | 1 | | 1 | | | 1 | | 3 | | 18 | | |
| 斐川計 | 人数 | 304 | 288 | 284 | | | | 876 | | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 15 | | 891 | |
| | 編制 | 9 | 8 | 8 | | | | | 25 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 | | 30 | |
| 中学校計 | 人数 | 1620 | 1637 | 1670 | | | | 4927 | | 51 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 58 | 2 | 116 | | 5043 | |
| | 編制 | 48 | 46 | 49 | | | | | 143 | 15 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 15 | 1 | 36 | | 179 | |

平成23年度 幼稚園の園児数及び学級数一覧表

【公立】

(平成23年5月1日現在)

| 地域 | 幼稚園名 | 園児数 | | | | | 学級数 | | | | |
|-------|------|-----|-----|------|------------|-------|-----|-----|-----|----|----|
| | | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 混合 (内数) | 合計 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 混合 | 合計 |
| 出雲 | 今市 | 30 | 34 | 30 | | 94 | 2 | 1 | 1 | | 4 |
| | 大津 | 24 | 21 | 21 | | 66 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 上津 | 2 | 2 | 4 | (8) | 8 | | | | 1 | 1 |
| | 塩冶 | 31 | 40 | 35 | | 106 | 2 | 2 | 1 | | 5 |
| | 古志 | 7 | 6 | 9 | (15) | 22 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 高松 | 21 | 32 | 29 | | 82 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 長浜 | 11 | 5 | 10 | (15) | 26 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 四絡 | 38 | 49 | 49 | | 136 | 2 | 2 | 2 | | 6 |
| | 高浜 | 12 | 9 | 10 | (19) | 31 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 川跡 | 28 | 38 | 29 | | 95 | 2 | 2 | 1 | | 5 |
| | 鳶巣 | 8 | 8 | 11 | (19) | 27 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 朝山 | 11 | 9 | 9 | (18) | 29 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 乙立 | 0 | 2 | 3 | (5) | 5 | | | | 1 | 1 |
| | 稗原 | 9 | 11 | 7 | (18) | 27 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 神門 | 18 | 31 | 19 | | 68 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 神西 | 7 | 12 | 17 | | 36 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| 中央(※) | 21 | 32 | 32 | | 85 | 1 | 1 | 1 | | 3 | |
| 計 | | 278 | 341 | 324 | (117) | 943 | 19 | 12 | 10 | 8 | 49 |
| 平田 | 平田 | 28 | 41 | 32 | | 101 | 2 | 2 | 1 | | 5 |
| | 東 | 21 | 29 | 31 | | 81 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 計 | 49 | 70 | 63 | | 182 | 3 | 3 | 2 | | 8 |
| 多伎 | 15 | 15 | 19 | | 49 | 1 | 1 | 1 | | 3 | |
| 湖陵 | 11 | 22 | 21 | | 54 | 1 | 1 | 1 | | 3 | |
| 大社 | 大社 | 12 | 19 | 9 | | 40 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 荒木 | 14 | 20 | 32 | | 66 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 遙堪 | 7 | 9 | 4 | (13) | 20 | 1 | | | 1 | 2 |
| | 日御碕 | 0 | 1 | 2 | (3) | 3 | | | | 1 | 1 |
| | 鵜鷺 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | | | 0 |
| 計 | 33 | 49 | 47 | (16) | 129 | 3 | 2 | 2 | 2 | 9 | |
| 斐川 | 莊原 | 21 | 27 | 18 | | 66 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 西野 | 26 | 35 | 39 | | 100 | 1 | 2 | 2 | | 5 |
| | 中部 | 15 | 19 | 22 | | 56 | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 出東 | — | 8 | 4 | | 12 | | 1 | 1 | | 2 |
| 計 | 62 | 89 | 83 | (0) | 234 | 3 | 5 | 5 | 0 | 13 | |
| 合計 | | 448 | 586 | 557 | (133) | 1,591 | 30 | 24 | 21 | 10 | 85 |

小学校施設等一覧表

()内はクラブハウス・格技場等

H23. 5. 1現在

| 小学校名 | 校地面積(㎡) | | | | 建物面積(㎡) | | | | 多目的室 | プール 建築年度 | |
|------|---------|---------|----------|--------|--------------|------------|---------|---------|-------------------|-------------|---------------|
| | 保有 | | | 借用 | 校舎 | | 屋内運動場 | | | | |
| | 建物敷地 | 運動場 | 実験実習地その他 | | 合計 (借用含む) | 建築年度 | 面積 | 建築年度 | | | 面積 |
| 今市小 | 12,110 | 10,338 | | | 22,448 | S31,S53 | 6,530 | H18 | 1,233 (255) | 無 | H18 FRP |
| 大津小 | 7,902 | 12,042 | | 326 | 20,270 | S48,H9 | 5,575 | S54 | 846 | 有 | S46 コンクリート |
| 上津小 | 4,594 | 7,077 | | | 11,671 | S40,H10 | 2,134 | H8 | 913 (211) | 有 | H8 FRP |
| 塩冶小 | 9,745 | 10,092 | 1,620 | | 21,457 | S46 S63 | 6,689 | S62,H11 | 1,660 (179) | 有 | H21 FRP |
| 神戸川小 | 11,538 | 13,993 | 42 | | 25,573 | S43,H17 | 7,002 | H15 | 1,220 (201) | 有 | H17 FRP |
| 若松分校 | | | | | | | | | | | |
| 高松小 | 7,891 | 10,691 | | | 18,582 | S57 | 5,748 | H8 | 1,266 (221) | 無 | H8 FRP |
| 長浜小 | 7,844 | 10,359 | | | 18,203 | S33,S63 | 3,461 | S63 | 920 | 有 | S47 コンクリート |
| 四絡小 | 12,252 | 15,267 | | | 27,519 | S49,H19 | 7,215 | S50 | 709 | 無 | S49 コンクリート |
| 高浜小 | 7,948 | 9,552 | | | 17,500 | H5 | 2,857 | H5 | 840 (200) | 有 | H5 コンクリート |
| 北陽小 | 8,255 | 15,519 | | | 23,774 | S51,H10 | 4,782 | S52 | 735 | 有 | S51 コンクリート |
| 朝山小 | 3,796 | 5,943 | 1,989 | | 11,728 | S42 | 1,897 | S55 | 684 | 無 | S48 コンクリート |
| 乙立小 | 2,752 | 5,476 | | | 8,228 | S59 | 1,983 | S53 | 574 | 有 | S49 コンクリート |
| 稗原小 | 4,617 | 6,972 | 445 | | 12,034 | H4 | 2,314 | H4 | 844 (198) | 有 | S45 コンクリート |
| 神西小 | 4,405 | 7,996 | | 2,313 | 14,714 | S44,S45 | 2,923 | H11 | 942 (196) | 無 | H11 FRP |
| 平田小 | 11,634 | 20,102 | | | 31,736 | S41,S42 | 4,291 | S45 | 811 | 無 | S54 FRP |
| 灘分小 | 5,571 | 16,351 | | | 21,922 | S43,S54 | 2,492 | S53 | 713 | 無 | S52 鋼製 |
| 国富小 | 9,241 | 6,674 | 2,976 | | 18,891 | S43 | 1,581 | S56 | 778 | 無 | S51 コンクリート |
| 西田小 | 3,375 | 6,951 | 3,200 | | 13,526 | S48 | 1,328 | S49 | 463 | 無 | S56 コンクリート |
| 鰐淵小 | 1,772 | 4,611 | 237 | | 6,620 | S39 | 1,609 | S50 | 504 | 無 | S59 コンクリート |
| 猪目分校 | 764 | 965 | | | 1,729 | S26,S37 | 246 | S37 | 136 | 無 | |
| 久多美小 | 12,134 | 12,035 | 2,250 | | 26,419 | S57 | 3,381 | S58 | 704 (187) | 無 | S57 コンクリート |
| 檜山小 | 4,972 | 12,463 | 358 | | 17,793 | S40 | 1,355 | S55 | 738 | 無 | S53 コンクリート |
| 東小 | 17,143 | 8,649 | 7,286 | | 33,078 | S44,S59 | 2,698 | S60 | 920 | 有 | S53 コンクリート |
| 北浜小 | 4,534 | 6,798 | | | 11,332 | S63 | 1,812 | H1 | 805 (131) | 有 | |
| 塩津小 | 658 | 926 | 131 | | 1,715 | S29 | 510 | S29 | 225 | 無 | |
| 佐香小 | 3,301 | 4,482 | 7,434 | | 15,217 | S38,H2 | 1,708 | S44 | 473 | 無 | |
| 伊野小 | 3,514 | 8,581 | 940 | | 13,035 | S54 | 1,842 | H3 | 797 (135) | 無 | S55 FRP |
| 窪田小 | 5,453 | 6,687 | | | 12,140 | S49,S57 | 2,045 | H2 | 809 (110) | 無 | S52 コンクリート |
| 須佐小 | 4,928 | 8,793 | 1,728 | 525 | 15,974 | S58 | 3,125 | S58 | 974 (200) | 無 | S58 FRP |
| 岐久小 | 8,019 | 10,117 | | | 18,136 | H18 | 3,082 | H19 | 1,184 | 無 | H19 FRP |
| 田儀小 | 6,391 | 8,913 | 1,290 | | 16,594 | S57 | 1,956 | S58 | 792 (182) | 無 | S55 ステンレス |
| 湖陵小 | 9,975 | 10,468 | 8,992 | | 29,435 | S48 | 3,250 | S48 | 1,182 | 無 | S50 アルミ |
| 大社小 | 15,869 | 6,705 | | | 22,574 | H16 | 4,290 | H15 | 1,131 (150) | 有 | H15 FRP |
| 荒木小 | 10,914 | 10,175 | | 99 | 21,188 | S53 | 4,481 | S54 | 1,096 | 無 | H2 FRP |
| 遙堪小 | 5,067 | 8,758 | | | 13,825 | S50 | 1,661 | S51 | 697 | 無 | H3 FRP |
| 鶺鴒小 | 5,178 | 2,400 | 3,400 | | 10,978 | S35 | 1,057 | S52 | 422 | 無 | |
| 日御碕小 | 2,968 | 2,619 | 780 | | 6,367 | H1 | 2,124 | H1 | 679 | 有 | |
| 莊原小 | 9,526 | 10,841 | | 7,567 | 27,934 | S50 | 4,421 | S43 | 843 | 無 | S37 コンクリート |
| 西野小 | 9,120 | 18,041 | | | 27,161 | S46 | 4,676 | S47 | 688 | 無 | S50 コンクリート |
| 中部小 | 9,310 | 13,856 | 4,417 | | 27,583 | S45 | 5,038 | S46 | 679 | 有 | S50 コンクリート |
| 出東小 | 7,317 | 12,039 | 1,224 | 1,502 | 22,082 | S42 | 3,607 | S53 | 609 | 有 | H12 FRP |
| 計 | 294,297 | 381,317 | 50,739 | 12,332 | 738,685 | | 130,776 | | 33,238 (2,756) | | |

中学校施設等一覧表

()内はクラブハウス・格技場等

H23. 5. 1現在

| 中学校名 | 校地面積(m ²) | | | | 建物面積(m ²) | | | | 多目的室 | プール 建築年度 | |
|------|-----------------------|---------|----------|-------|-----------------------|---------|--------|-------|-------------------|-------------|---------------|
| | 保有 | | | 借用 | 合計 (借用含む) | 校舎 | | 屋内運動場 | | | |
| | 建物敷地 | 運動場 | 実験実習地その他 | | | 建築年度 | 面積 | 建築年度 | | | 面積 |
| 第一中 | 14,274 | 17,469 | | 743 | 32,486 | S33,S61 | 6,995 | H11 | 1,797 (200) | 有 | H11 FRP |
| 第二中 | 9,512 | 15,674 | | | 25,186 | S32,S52 | 6,790 | H16 | 1,525 (207) | 有 | H15 FRP |
| 第三中 | 8,636 | 22,401 | 2,461 | | 33,498 | S38,S58 | 6,023 | S56 | 1,120 | 無 | H18 FRP |
| 河南中 | 8,088 | 14,500 | | | 22,588 | H2 | 4,337 | H2 | 1,017 (225) | 有 | H2 コンクリート |
| 若松分校 | | | | 2,226 | 2,226 | | | | | | |
| 浜山中 | 10,920 | 18,896 | | | 29,816 | S62 | 5,757 | S62 | 1,230 (417) | 有 | S62 コンクリート |
| 南中 | 7,265 | 12,360 | | | 19,625 | S63 | 3,447 | S63 | 986 (203) | 有 | S63 コンクリート |
| 平田中 | 12,287 | 13,590 | | | 25,877 | H10 | 8,338 | H10 | 2,365 (254) | 有 | H7 ステンレス |
| 旭丘中 | 5,812 | 6,647 | 3,428 | | 15,887 | S31,S40 | 2,998 | S36 | 624 | 無 | |
| 光中 | 8,757 | 11,767 | 1,208 | | 21,732 | S53 | 2,085 | S54 | 794 | 無 | |
| 佐田中 | 7,748 | 17,301 | | | 25,049 | S37 | 3,051 | S37 | 957 | 無 | H6 FRP |
| 多伎中 | 5,035 | 9,794 | | | 14,829 | S59 | 2,776 | S60 | 910 (200) | 有 | |
| 湖陵中 | 8,618 | 14,358 | | | 22,976 | S58 | 3,788 | S62 | 1,071 (222) | 無 | |
| 大社中 | 18,711 | 22,923 | | | 41,634 | S58 | 7,172 | S59 | 1,325 (328) | 無 | S43 コンクリート |
| 斐川東 | 13,789 | 26,212 | 2,570 | 8 | 42,579 | S62 | 5,611 | S63 | 1,502 (481) | 有 | S63 FRP |
| 斐川西 | 27,884 | 33,379 | 4,902 | | 66,165 | H9 | 6,810 | H9 | 1,756 (750) | 有 | |
| 計 | 167,336 | 257,271 | 14,569 | 2,977 | 442,153 | | 75,978 | | 18,979 (3,487) | | |

幼稚園施設等一覧表

H23. 5. 1現在

| 幼稚園名 | 園地面積(㎡) | | | | 建物面積(㎡) | | |
|------|---------|--------|----------|-----|--------------|---------|--------|
| | 保有 | | | 借用 | 合計 (借用含む) | 園舎 | |
| | 建物敷地 | 運動場 | 実験実習地その他 | | | 建築年度 | 面積 |
| 今市 | 2,728 | 1,050 | | 450 | 4,228 | S44 | 1,332 |
| 大津 | 2,169 | 1,284 | | | 3,453 | H5 | 918 |
| 上津 | 850 | 450 | | | 1,300 | H8 | 412 |
| 塩治 | 2,983 | 2,240 | 1,620 | | 6,843 | S57 | 1,563 |
| 古志 | 1,528 | 789 | | | 2,317 | H18 | 530 |
| 高松 | 1,518 | 1,506 | | | 3,024 | S34,S52 | 941 |
| 長浜 | 1,464 | 1,062 | | | 2,526 | H17 | 552 |
| 四絡 | 2,294 | 2,026 | | | 4,320 | H13 | 1,195 |
| 高浜 | 1,515 | 1,100 | | | 2,615 | S53 | 642 |
| 川跡 | 2,330 | 1,759 | | | 4,089 | H21 | 908 |
| 鳶巣 | 670 | 841 | 89 | | 1,600 | H18 | 418 |
| 朝山 | 1,115 | 485 | | | 1,600 | H9 | 413 |
| 乙立 | | | | | 0 | S59 | 204 |
| 稗原 | | | | | 0 | H4 | 376 |
| 神門 | 1,843 | 1,557 | | | 3,400 | H11 | 883 |
| 神西 | 1,377 | 1,423 | | | 2,800 | H15 | 516 |
| 中央 | | | | | 0 | H4 | 234 |
| 平田 | 4,911 | 2,400 | | | 7,311 | S45 | 1,083 |
| 東 | 3,736 | 1,945 | | | 5,681 | H18 | 1,050 |
| 多伎 | 2,088 | 1,484 | | | 3,572 | H15 | 831 |
| 湖陵 | 2,086 | 1,469 | | | 3,555 | H16 | 817 |
| 大社 | 2,700 | 1,610 | 82 | | 4,392 | S56 | 1,804 |
| 荒木 | 2,049 | 1,599 | | | 3,648 | S53 | 1,426 |
| 遙堪 | 1,511 | 665 | | | 2,176 | S54 | 675 |
| 日御碕 | 1,988 | 159 | | | 2,147 | S44 | 366 |
| 鵜鷺 | | | | | 0 | S35 | 68 |
| 莊原 | 1,668 | 904 | | | 2,572 | S35 | 573 |
| 西野 | 1,930 | 1,904 | 4,611 | | 8,445 | H15 | 1,070 |
| 中部 | 913 | 800 | | | 1,713 | S47 | 510 |
| 出東 | 558 | 364 | | | 922 | S39 | 409 |
| 計 | 50,522 | 32,875 | 6,402 | 450 | 90,249 | | 22,719 |

平成23年度児童クラブ実施状況一覧表

(入会児童数は平成23年4月1日現在)

| 児童クラブ名 | 入会児童数 | 開設日数 | 委託金(実績) |
|--------------|-------|------|--------------------------|
| 今市第1児童クラブ | 37 | 251 | 7,044,000 |
| 今市第2児童クラブ | 23 | 251 | 5,637,000 |
| 大津第1児童クラブ | 45 | 289 | 8,223,000 |
| 大津第2児童クラブ | 53 | 289 | 8,688,000 |
| 塩冶第1学童クラブ | 40 | 291 | 8,112,000 |
| 塩冶第2学童クラブ | 45 | 291 | 8,412,000 |
| 塩冶第3学童クラブ | 25 | 291 | 6,385,000 |
| 塩冶第4学童クラブ | 31 | 291 | 6,705,000 |
| 高松第1児童クラブ | 69 | 289 | 10,216,000 |
| 高松第2児童クラブ | 62 | 295 | 9,530,000 |
| 四絡第1児童クラブ | 24 | 280 | 6,123,000 |
| 四絡第2児童クラブ | 41 | 280 | 8,000,000 |
| 四絡第3児童クラブ | 33 | 280 | 6,793,000 |
| 高浜児童クラブ | 27 | 292 | 6,465,000 |
| 北陽こどもクラブ | 57 | 287 | 7,344,000 |
| 上津児童クラブ | 7 | 261 | 3,018,232 |
| 朝山児童クラブ | 23 | 263 | 4,333,000 |
| 乙立子どもクラブ | 11 | 267 | 3,224,081 |
| 古志児童クラブ | 23 | 256 | 4,252,000 |
| 神戸川第1児童クラブ | 25 | 256 | 4,207,000 |
| 神戸川第2児童クラブ | 39 | 256 | 7,289,000 |
| 神西児童クラブ | 25 | 260 | 5,817,000 |
| 長浜児童クラブ | 25 | 253 | 3,484,496 |
| 平田コスモス児童クラブ | 62 | 291 | 9,394,000 |
| 灘分いなほ児童クラブ | 31 | 290 | 5,277,000 |
| 国富あおぞら児童クラブ | 23 | 292 | 4,855,000 |
| ひかり児童クラブ | 29 | 289 | 6,724,000 |
| 久多美ひまわり児童クラブ | 31 | 291 | 6,672,000 |
| 檜山ひのき児童クラブ | 12 | 289 | 3,825,000 |
| 東みずうみ児童クラブ | 23 | 290 | 6,339,000 |
| 須佐小児童クラブ | 19 | 266 | 3,429,000 |
| 窪田小児童クラブ | 20 | 266 | 4,387,000 |
| 多伎児童クラブ | 27 | 254 | 4,168,000 |
| 湖陵児童クラブ | 32 | 287 | 6,594,000 |
| 杵築児童クラブ | 35 | 266 | 6,020,842 |
| 荒木児童クラブ | 50 | 270 | 8,408,000 |
| 荘原小学童クラブ | 39 | 294 | 2,386,200 (7,651,200) |
| 西野小第1学童クラブ | 62 | 294 | |
| 西野小第2学童クラブ | 21 | 294 | |
| 中部小学童クラブ | 49 | 294 | |
| 出東小学童クラブ | 21 | 294 | |
| 出雲市児童クラブ事業小計 | 1,377 | | 227,780,851 |
| わらべのうち学童クラブ | 16 | 294 | 260,000 (1,300,000) |
| 児童クラブ事業 合計 | 1,393 | | 228,040,851 |

放課後子ども教室実施状況

| 小学校区 | 教室名 | 開催回数 | 延参加者数 | 委託料 |
|-------|---------------|-------|--------|------------|
| 今市 | いまいちフレンドリータイム | 24 | 505 | 349,100 |
| 大津 | 弥生の森子ども広場 | 91 | 1,412 | 276,628 |
| 塩冶 | 塩冶地域子ども教室 | 288 | 1,268 | 1,637,920 |
| 四絡 | よつがね子どもスクール | 39 | 693 | 365,600 |
| 高浜 | 高浜子ども教室 | 7 | 154 | 91,089 |
| 北陽 | かわとチャレンジ広場 | 118 | 4,138 | 898,500 |
| 北陽 | 北陽わんぱくクラブ | 243 | 6,595 | 1,640,000 |
| 上津 | 上津っ子みちくさ教室 | 28 | 898 | 377,574 |
| 平田 | はすだっ子子ども教室 | 62 | 2,065 | 1,354,500 |
| 久多美 | 久多美っ子ジャンプ教室 | 111 | 4,021 | 1,258,320 |
| 檜山 | 檜山なかよし教室 | 50 | 315 | 125,060 |
| 北浜 | 浜っ子ベースターズ | 36 | 175 | 90,000 |
| 伊野 | いのっ子教室 | 50 | 785 | 273,340 |
| 岐久・田儀 | 多伎っ子クラブ | 36 | 576 | 282,780 |
| 湖陵 | KIDS・STATION | 73 | 995 | 328,000 |
| 平田 | VIVA子ども教室 | 5 | 133 | 130,700 |
| 荒木 | 荒木こどもクラブ | 37 | 534 | 578,215 |
| 大社 | きずきっこクラブ | 11 | 400 | 397,433 |
| 荘原 | 斐川の居場所（荘原） | 42 | 340 | 50,000 |
| 西野 | 斐川の居場所（出西） | 30 | 553 | 55,000 |
| 西野 | 斐川の居場所（阿宮） | 15 | 146 | 55,000 |
| 西野 | 斐川の居場所（伊波野） | 11 | 403 | 50,000 |
| 中部 | 斐川の居場所（直江） | 28 | 364 | 55,000 |
| 中部 | 斐川の居場所（久木） | 30 | 159 | 55,000 |
| 出東 | 斐川の居場所（出東） | 3 | 70 | 30,000 |
| 計 | | 1,468 | 27,697 | 10,804,759 |

子ども会数と支援状況

| 地区名 | 子ども会数 | 補助金額 | 地区名 | 子ども会数 | 補助金額 |
|-----|-------|---------|-----|-------|---------|
| 今市 | 15 | 290,100 | 国富 | 11 | 230,400 |
| 大津 | 18 | 293,453 | 西田 | 8 | 145,800 |
| 塩冶 | 27 | 565,500 | 鱒淵 | 4 | 95,400 |
| 古志 | 11 | 178,900 | 久多美 | 11 | 183,088 |
| 高松 | 37 | 512,261 | 檜山 | 6 | 116,300 |
| 四絡 | 14 | 240,334 | 東 | 15 | 194,800 |
| 高浜 | 12 | 214,009 | 北浜 | 4 | 106,800 |
| 川跡 | 14 | 274,849 | 佐香 | 3 | 98,800 |
| 鳶巣 | 12 | 164,200 | 伊野 | 11 | 156,700 |
| 上津 | 8 | 149,600 | 佐田 | 6 | 193,036 |

| 地区名 | 子ども会数 | 補助金額 | 地区名 | 子ども会数 | 補助金額 |
|-----|-------|---------|-----|-------|-----------|
| 稗原 | 9 | 148,700 | 多伎 | 2 | 136,500 |
| 朝山 | 7 | 144,500 | 湖陵 | 14 | 265,300 |
| 乙立 | 5 | 112,100 | 杵築 | 10 | 224,700 |
| 神門 | 12 | 366,300 | 荒木 | 19 | 373,900 |
| 神西 | 9 | 189,650 | 遙堪 | 6 | 146,000 |
| 長浜 | 16 | 243,510 | 日御碕 | 3 | 92,200 |
| 平田 | 13 | 226,634 | 鵜鷺 | 1 | 68,700 |
| 灘分 | 20 | 270,800 | 合計 | 393 | 7,413,824 |





出雲科学館の施設概要

- 1 所在地 出雲市今市町1900番地2
- 2 建設事業費 42億9,400万円
(本館33億8,700万円、新館9億700万円)
- 3 工期 本館 平成12年12月～平成14年4月
新館 平成18年10月～平成19年6月
- 4 面積 敷地15,684.2m²
建物6,824.4m²
(本館4,841.2m²、新館1,983.2m²)
- 5 構造 鉄骨造(本館2階建・新館3階建)
- 6 各部屋の特徴

| 名称 | 特徴 |
|--|---|
| サイエンスホール | 1階電動式移動観覧席104席、中2階67席(1階にイスを加えると約300人収容可能)。高精細DLPプロジェクター(170インチスクリーン)など大型観察実験装置を配置し、電子顕微鏡や軟X線装置などによる映像を使った学習や各種映像資料(DVD、CD、ビデオ、インターネット等)を使った学習を展開できる。 |
| 実験室1、2 実習室1、2 | 豊富な観察・実験機材を設備し、実験からものづくり、パソコン教室まで様々な理科学習、生涯学習が展開できる。実習室1には直径4mの簡易型デジタルプラネタリウムを設備し、観覧人数20～40人の天体学習に対応している。 |
| 創作工房(工作室、木工室、金工室) | 木工・金工品の加工・製作のほか、ロボット工作、電子工作、手工芸などあらゆるものづくりを行うことができる。 |
| 展示体験プラザ | 手で触れたり、動かしたりしながら、科学の基本原理や楽しさ、不思議さなどを体感できる。展示装置：約40種類 |
| 情報ステーション 先端情報コーナー バーチャルサイエンスワールド | 科学に関する様々な情報を、映像や図書等により提供する。また、高精細の50インチタッチパネルを使用したバーチャルリアリティの世界を体験するコーナーを配置している。 |
| 実験室3、4 実習室3、4 【新館】 | 豊富な観察・実験機材を設備するとともに、65インチプラズマディスプレイ及びハイビジョンカメラなどによる映像やインターネットを活用して、楽しく効率の高い学習を展開できる。 |
| 多目的室1、2、3 【新館】 | 多目的室1には直径6mの簡易型デジタルプラネタリウムを設備し、観覧人数50人までの天体学習に対応している。多目的室3には前面に170インチスクリーン、高精細DLPプロジェクター、実物投影機等を配置し、映像資料(DVD、CD、ビデオ、インターネット等)を使った学習及び各種会議を展開できる。 |

学校給食センター概要一覧

参考資料

| 区分 | 出雲学校給食センター | 平田学校給食センター | 佐田学校給食センター | 多伎学校給食センター | 湖陵学校給食センター | 大社学校給食センター | 斐川学校給食センター |
|--------------------------------|---|--|---|---|---|---|---|
| センター概観 |  |  |  |  |  |  |  |
| 所在地 | 出雲市長浜町516-55 | 出雲市西平田町1 | 出雲市佐田町八幡原200 | 出雲市多伎町小田35-2 | 出雲市湖陵町二部1100 | 出雲市大社町杵築南900-1 | 出雲市斐川町富村1792 |
| 運営方法 | 直営 | 直営 | 委託:学校給食会 | 直営 | 委託:学校給食会 | 委託:学校給食会 | 直営 |
| 調理員等体制 (H23. 4. 1現在) | ○栄養教諭3名、栄養士2名(県費:加配1名、給食会嘱託1名) 5名 ○調理員 午前49名(午後37名) 正規 9名 嘱託 17名 パート 午前 23名、午後11名 | ○栄養教諭 1名、栄養士1名(県費加配) ○調理員 21名 正規 5名 嘱託 4名 パート 12名(登録者17名) | ○栄養教諭(県費) 1名 ○調理員 5名(給食会雇用) 正規 1名 嘱託 1名 臨時 3名 | ○栄養教諭(県費) 1名 ○調理員 5名 嘱託 4名 パート 1名 | 栄養教諭(県費) 1名 調理員 5名(給食会雇用) 正規 2名 嘱託 1名 臨時 2名(登録者4名) | ○栄養教諭(県費) 1名 ○調理員 15名(給食会雇用) 嘱託 4名 臨時 9名 パート 2名※米飯(月・火・金)時雇用(登録者4名) | ○栄養教諭(県費)1名、 栄養士(県費)2名(うち1名加配) ○調理員 米飯時 午前23名 午後21名 パン・麺時 午前21名 午後19名 正規 12名 常勤臨時 5名(給食会雇用) 非常勤臨時 登録者11名(給食会雇用) |
| 給食実施数(H23. 5. 1現在) ()はクラス数 | 9, 833食(354) | 2, 712食(123) | 313食(20) | 376食(20) | 559食(27) | 1, 440食(66) | 3, 125食(98) |
| 内訳 | 幼稚園(園数) | 995食(16園) | 209食(2園) | — | 55食(1園) | 66食(1園) | 269食(4園) |
| | 小学校(校数) | 5, 973食(14校) | 1, 667食(12校) | 208食(2校) | 211食(2校) | 331食(1校) | 1, 887食(4校) |
| | 中学校(校数) | 2, 865食(6校) | 836食(3校) | 105食(1校) | 110食(1校) | 162食(1校) | 969食(2校) |
| 建物施設 | 竣工年月 | 平成14年6月 | 昭和42年11月 | 平成4年4月 | 平成元年12月 (平成9年9月増築改修) | 平成8年9月 | 昭和44年12月 |
| | 築後経過年数 (H23. 4. 1現在) | 8年 | 43年 | 19年 | 21年 | 14年 | 41年 |
| | 構造 | 鉄骨造一部2階建 | 鉄骨造一部2階建 | 鉄骨造平屋 | 鉄骨造平屋 | 鉄骨造平屋 | 鉄骨造平屋 |
| | 調理場厨房方式 | ドライ方式 | ウェット方式 | ドライ方式 | ウェット方式 | ドライ方式(洗浄室はウェット) | ウェット方式 |
| | 建物面積 | 3,456.00㎡ | 763.00㎡ | 428.96㎡ | 223.00㎡ | 485.00㎡ | 526.00㎡ |
| | 敷地面積 | 10,001.43㎡ | 2,448.00㎡ | 1,031.05㎡ | 1,009.16㎡ | 湖陵小学校敷地 | 1,610.00㎡ |
| 業務委託 | ご飯、パン(加工、配送) 輸送:11台 ※幼稚園調理はH15年から直営 | ご飯、パン(加工、配送) 輸送:4台(公用車) | パン(加工、配送) ご飯、調理:学校給食会 輸送:1台(公用車) | パン(加工、配送) 輸送:1台(公用車) ご飯業務は直営 | パン(加工、配送) ご飯、調理:学校給食会 輸送:1台(公用車) | ご飯、パン(加工、配送) 調理:学校給食会 輸送:3台 | ご飯(おにぎりのみ 加工、配送) パン(加工、配送) 輸送:3台 |
| 献立 | ○米飯:月・水・木曜日(3日) ○パン:金曜日(1日) ○麺類:火曜日 主食は米飯又はパン | ○米飯:火・木・金曜日(3日) ○パン:月曜日(1日) ○麺類:水曜日 主食はパン | ○米飯:月・水・金曜日(3日) ○パン:火曜日(1日) ○麺類:木曜日(主食) | ○米飯:月・火・木曜日(3日) ○パン:金曜日(1日) ○麺類:水曜日(主食) | ○米飯:月・水・金曜日(3日) ○パン:火曜日(1日) ○麺類:木曜日 主食は米飯又はパン | ○米飯:月・火・金曜日(3日) ○パン:水曜日(1日) ○麺類:木曜日 主食は米飯又はパン | ○米飯:月・水・金曜日 ○パン:木曜日 ○麺類+パン:火曜日 |
| 給食輸送 | ・全面委託 11台11コース ・委託先 ㈱日本通運 6台 ㈱東陽運送 5台 | ・部分委託 公用車4台4コース ・委託先 ㈱三協貨物平田支店 4台 | ・部分委託 公用車1台1コース ・委託先 給食会(再委託先 ㈱ササノオ観光) | ・部分委託 公用車1台1コース ・委託先 ㈱やくも観光 | ・部分委託 公用車1台1コース ・委託先 学校給食会(事務担当者が配送を兼務) | ・全面委託 3台3コース ・委託先 石波運送 2台 ㈱協和組 1台 | ・部分委託 公用車3台3コース ・委託先 西尾食配 |
| 学校給食会 | 任意団体 会長:教育部長 役員:副会長2名、理事16名、常務理事1名、監事2名 評議員72名 業務:給食費調定、食材購入 | 任意団体 会長:平田支所長 役員:副会長2名、理事8名、監事2名 評議員21名 業務:給食費調定、食材購入 | 任意団体 会長:佐田支所長 役員:副会長2名、理事9名、監事2名 業務:調理業務、給食費調定、食材購入 | 任意団体 会長:多伎支所長 役員:副会長2名、理事12名、監事2名 業務:給食費調定、食材購入 | 任意団体 会長:湖陵支所長 役員:副会長2名、理事7名、監事2名 業務:調理業務、給食費調定、食材購入 | 任意団体 会長:大社支所長 役員:副会長2名、理事21名、監事2名 業務:調理業務、給食費調定、食材購入 | 任意団体 会長:斐川支所長 役員:副会長2名、理事13名、評議員10名、監事2名 業務:調理、給食費調定・徴収、食材購入 |
| 給食費 (平成23年4月1日現在) | ○小学校 245円/食 ○中学校 297円/食 ○幼稚園 221円/食 | ○小学校 273円/食 ○中学校 330円/食 ○幼稚園 240円/食 ※光人塾 273円/食 | ○小学校 244円/食 ○中学校 299円/食 ○幼稚園 なし | ○小学校 247円/食 ○中学校 303円/食 ○幼稚園 211円/食 | ○小学校 249円/食 ○中学校 305円/食 ○幼稚園 217円/食 | ○小学校 278円/食 ○中学校 337円/食 ○幼稚園 235円/食 | ○小学校 278円/食 ○中学校 343円/食 ○幼稚園 224円/食 |

公民館概要一覧

| 区 分 | 出雲市荘原公民館 | 出雲市出西公民館 | 出雲市阿宮公民館 | 出雲市伊波野公民館 | 出雲市直江公民館 | 出雲市久木公民館 | 出雲市出東公民館 | |
|----------------------|---|--|---|---|---|---|---|-----------|
| 外 観 |  |  |  |  |  |  |  | |
| 所 在 地 | 出雲市斐川町荘原3835 | 出雲市斐川町求院965 | 出雲市斐川町阿宮2323-2 | 出雲市斐川町富村748他 | 出雲市斐川町直江4865-1他 | 出雲市斐川町福富2-13 | 出雲市斐川町三分市2060-1 | |
| 職員数 (H23.10.1 現在) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | 4名 館長(非常勤) 主事(常勤) 主事補(非常勤) 警備員(非常勤) | |
| 建物施設 | 竣工年月 | 昭和53年3月 | 昭和57年2月 | 昭和47年3月 | 昭和59年3月 | 昭和55年12月 | 昭和53年9月 | 昭和55年12月 |
| | 築後経過年数 (H23. 10. 1 現在) | 33年 | 29年 | 39年 | 27年 | 30年 | 33年 | 30年 |
| | 構造 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 鉄骨造平屋建 | 鉄筋コンクリート造2階建 | 鉄骨造平屋建 | 鉄骨造2階建 | 鉄骨造2階建 | 鉄骨造平屋建 |
| | 建物面積(延床) | 483.03㎡ | 447.57㎡ | 369.94㎡ | 427.23㎡ | 424.55㎡ | 342.12㎡ | 435.67㎡ |
| | 敷地面積 | 3,581.91㎡ | 6,243.95㎡ | 1,742.13㎡ | 4,586.75㎡ | 2,232.79㎡ | 1,308.50㎡ | 6,901.00㎡ |
| 関連施設 | リサイクルステーション | リサイクルステーション | リサイクルステーション | リサイクルステーション | 別館(敷地面積:965.7㎡、建物面積(延床):955.76㎡) | リサイクルステーション | リサイクルステーション | |
| | おいでませ館(ミニデイサービス集会所) 114.45㎡ | ミニデイサービス集会所 39.32㎡ | ミニデイサービス集会所 52.53㎡ | ミニデイサービス集会所 70.04㎡ | | ふれあいプラザ(ミニデイサービス集会所) 212.45㎡ | ミニデイサービス集会所 54㎡ | |
| | | 多目的広場 (求院1018-1、9,999㎡) | 多目的広場(阿香里のひろば) 8,115㎡ | | | 多目的広場(久木健康広場) 9,708㎡ | | |